

令和5年度

野田市教育要覧

野田市教育委員会

野田市民憲章

- 1 郷土の自然を愛し、平和で安全な環境を守ります。
- 2 たがいに助け合い、すべての市民の幸福を願います。
- 3 からだをきたえ、仕事に励み、楽しい家庭をつくります。
- 4 きまりを守り、信頼と愛情を深め、心豊かな社会を築きます。
- 5 教養と文化を高め、自由と希望に満ちた郷土をめざします。

(昭和 55 年 5 月 3 日告示)

個性豊かなまちづくりを行う人権・平和尊重都市宣言

わたしたち野田市民は、日本国憲法、地方自治法の基本理念に則り、地域の個性を生かしながら、基本的人権を尊重し、平和を尊ぶ野田らしいまちづくりに懸命に努力を続けている。

日本国憲法、地方自治法施行 50 周年の節目の年にあたり、わたしたちは、両法の重要性を再認識するとともに、市民憲章の精神、平和祈念碑の碑文の精神を育みつつ、豊かな自然と歴史を生かした健康な文化都市を目指すために、ここに野田市を「個性豊かなまちづくりを行う人権・平和尊重都市」とすることを宣言する。

(平成 9 年 5 月 5 日)

健康スポーツ文化都市宣言

令和5年4月1日

健康は、わたしたち野田市民すべての願いであり、まちの活力の源です。生涯にわたり豊かに生き生きと健やかな生活を送るため、心身ともに健康を維持します。さらに、先人が培ってきた歴史や文化、豊かな自然に誇りを持ち、障がいのある人もない人も、子どもから大人まで、すべての人々がスポーツや文化活動を通じて、人と人との交流を深め、豊かな心とからだを育み、「夢のある住みよいまち」、「元気で明るい家庭を築けるまち」を目指し、ここに『健康スポーツ文化都市』を宣言します。

- 1 健康への関心を持ち、スポーツに親しみ、豊かな心とからだをつくります。
- 1 郷土の歴史や伝統を学び、恵まれた文化や豊かな自然に誇りを持ち、次世代に繋いでいきます。
- 1 健康を維持し、スポーツや文化活動を通じて、人間力の向上を図り、人づくり、まちづくりに繋げ、明るく生き生きとした地域の輪を広げます。

野 田 市

目 次

- 野田市民憲章（昭和55年5月3日告示）
- 個性豊かなまちづくりを行う人権・平和尊重都市宣言（平成9年5月5日）
- 野田健康スポーツ文化都市宣言（令和5年4月1日）
- 野田市の概要
- 野田市歌
- 令和5年度野田市教育委員会教育施策

教育行財政

I 教育長及び教育委員	1
II 教育委員会会議	2
III 教育委員会行政組織図	3
IV 分掌事務	4
V 職員配置	5
VI 令和5年度教育委員会関係予算	7
VII 校舎等保有面積及び校地面積	8
VIII 教育委員会沿革	9

教育委員会

I 令和5年度野田市教育委員会重点施策	17
---------------------	----

生涯学習

I 令和4年度事業報告・施設等利用状況	32
---------------------	----

学校教育

I 令和4年度事業報告	47
II 幼児・児童及び生徒の状況等	58

資料編

I 歴代教育委員名簿	61
II 市議会文教福祉委員	64
III 附属機関委員	64
IV 学校教育関係名簿	67
V 生涯学習関係名簿	69
VI 文化財一覧	72
VII 学校施設一覧	76

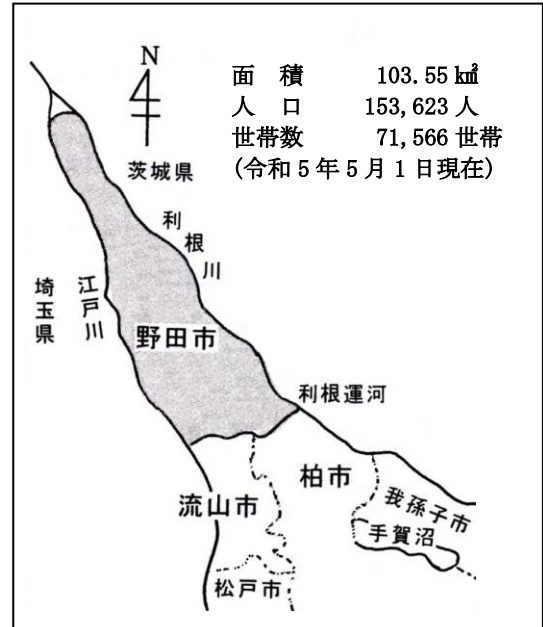
VIII	生涯学習施設一覧	78
IX	市立教育施設位置図	79

野 田 市 の 概 要

位置及び地勢

千葉県の北部に位置する醤油のまち野田市は、南は利根運河を隔てて、柏・流山の两市、北東は利根川を隔てて茨城県に、西は江戸川を境に埼玉県にそれぞれ対する、台地と緑と水のまちです。

平成15年6月に隣接していた東葛飾郡関宿町との市町村合併により市域も広がり、豊かな自然と歴史的遺産を継承しました。また、三方を河川に囲まれ、この堤防上を一周すると約60キロメートルあり、サイクリングコースとして散歩やジョキングなどにも最適の自然環境です。



市の木



けやき

(昭和45年10月17日指定)

市の花



つつじ

(昭和60年5月3日指定)

市の鳥



ひばり

(昭和60年5月3日指定)

野 田 市 歌

野田市選定
古関裕而作曲

あさかぜは ころにかおーりて
まちなみは みどりにはれ ゆく お！
野田市 へいわの ふるさと けんせ つーの
かねさえたか なり はつらつと あすへはばたく
そのち かーら つばさと つよーし

1

朝風はころに香りて
街並はみどりに晴れゆく
お、野田市平和のふるさと
建設の鐘さえ高鳴り
はつらつとあすへはばたく
その力つばさとつよし

2

むらさきの歴史はかがやき
醸造のこだまはひびこつ
お、野田市希望のふるさと
貿易の歌さえ弾みて
隆々とあすへ伸びゆく
その誇りみそらとたかし

3

江戸川の流もさやかに
新文化泉とあふるる
お、野田市民主のふるさと
人の和の花さえ微笑み
絢爛とあすへ栄える
その姿ひかりとすがし



学校

家庭・地域

1 確かな学力の向上

- ・サポートティーチャー等を配置します。
- ・小中学校教職員の適正な人事異動と配置を行います。
- ・ユニバーサルデザインの視点を持った授業を展開します。
- ・個に対応した特別支援教育を推進します。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ります。
- ・家庭学習を含めた学習習慣の定着を目指します。
- ・幼保こ小及び小・中学校の連携を推進します。
- ・土曜授業の在り方について検討し、土曜日の効果的活用を促進します
- ・読書・学習・情報センターとしての学校図書館の積極的活用と興風図書館等との連携を図ります。
- ・野田市英語教育推進プロジェクトを充実させます。
- ・学習指導要領の深化を目指します。

2 豊かな心の育成

- ・道徳科の授業を要とした道徳教育を推進します。
- ・国や郷土の伝統や文化、生物多様性を学ぶ機会の充実を目指します。
- ・学校支援地域本部事業の機能を活かした、郷土の偉人に関する資料の充実を図ります。
- ・豊かな人間関係づくりを核とした学級経営の充実を図ります。
- ・学校人権教育の推進を図ります。

4 ICT活用の推進

- ・ICTの有効活用に向けた環境整備を推進します。
- ・一人一台端末を有効に活用した授業改善に取り組みます。
- ・ICTの活用による教職員の業務改善に取り組みます。
- ・ICTを活用した小中連携、学校支援地域本部事業の推進を図ります。

6 安全安心な学校(園)づくり

- ・教職員による不祥事根絶に取り組みます。
- ・いじめ・虐待防止に向けた教職員の研修等の充実を図ります。
- ・特別支援学級・通級指導教室の充実を図ります。
- ・児童生徒支援員(特別支援学級、通級学級)の配置事業に取り組みます。
- ・要・準要保護及び特別支援学級児童生徒への就学援助等事業の充実を図ります。
- ・野田幼稚園の3年保育の実施インクルーシブ教育の導入、又は統廃合を含めた公立幼稚園の在り方を検討します。

3 健やかな体の育成

- ・体育科授業を核とした体力の向上と健康の保持増進を図ります。
- ・規則正しい生活習慣の確立に努めます。
- ・学校保健教育の指導・支援を行います。
- ・生活習慣病検診事業を行います。
- ・薬物乱用防止教育の充実を図ります。
- ・食育を推進します。
- ・安全安心な給食を提供します。
- ・給食費滞納の解消に努めます。
- ・給食費の保護者負担軽減を拡充します。
- ・学校給食施設の老朽化対策を図ります。

5 業務改善

- ・学級事務支援員を配置します。
- ・労働安全衛生管理体制の充実を図ります。
- ・学校組織の時間管理に取り組みます。

7 学校施設・設備の充実

- ・学校施設のトイレ改修工事を実施します。
- ・学校施設改修工事等を実施します。

教育委員会の活性化

- ・研修会への参加、教育機関の視察を行います。

連携・協力

地域に学び、地域で育つ！！
地域の教育財産を生かす教育環境づくり

8 地域との連携の推進(学校・家庭・地域連携協力推進事業を含む)

- ・学校支援地域本部事業、東京理科大学とのパートナーシップ協定事業を推進します。
- ・キャリア教育を推進します。
- ・地域人材・地域資源の活用を図ります。
- ・生物多様性自然再生などの環境教育の充実を目指します。
- ・コミュニティ・スクール導入に向けた準備を進めます。
- ・関係課と連携した訪問型も含めた家庭教育支援事業を実施します。
- ・子ども未来教室を開設します。
- ・オープンサタデークラブの充実を図ります。
- ・地域における健全育成活動を推進します。
- ・いじめ・虐待を見逃さない地域社会づくりを推進します。

9 いじめ・虐待防止対策の推進

- (学校)
- ・子ども家庭総合支援課との連携を強化します。
- ・児童虐待防止対応マニュアルの見直しと研修の促進に努めます。
- ・教育委員会アドバイザー、スクールロイヤー、スクールアドバイザーを活用し法的な視点で子どもたちを守ります。
- (家庭・地域)
- ・公民館長と地域の方々との懇談会を開催します。
- ・公民館講座等において虐待防止を啓発します。

10 生物多様性自然再生の取組

- ・公民館及び生涯学習センターにおける環境教育学習を推進します。
- ・図書館ホームページ内の生物多様性 ころのとりライブラリの充実を図ります。
- ・興風図書館内の生物多様性コーナーの充実を図ります。
- ・学校給食における黒酢米の啓発事業を実施します。

11 生涯学習の充実

- ・生涯学習相談への対応や学校支援ボランティア養成講座の開設、高齢者向けスマホの使い方講座の開催、市民提案による中央公民館事業を実施します。

13 史跡や文化財の保存と活用

- ・文化財出前授業を実施します。
- ・文化財保存活用地域計画を作成します。

15 文化の発信と振興

- ・文化祭などの事業の実施を推進します。
- ・絵画展示事業を実施します。

17 生涯学習施設・設備の充実

- ・野田市社会教育施設等長寿命化計画に基づく施設の機能維持等を実施します。

18 青少年の健全育成活動の推進

- ・青少年育成活動の継続実施及び市民への周知を図ります。
- ・青少年健全育成団体との連携・支援を行います。
- ・青少年健全育成団体間での情報交換の促進を図ります。

20 青少年の非行・被害防止

- ・街頭補導を実施します。
- ・子ども安全情報のメール配信及び登録者の加入促進を図ります。
- ・情報モラルに関する啓発活動を強化します。

12 鈴木貫太郎記念館の再建への取組

- ・鈴木貫太郎記念館の再建に向けた検討をします。
- ・現鈴木貫太郎記念館の所蔵資料を修復します。

14 伝統文化の継承

- ・民俗芸能のついでを開催します。

16 図書館機能の充実

- ・図書館資料及び設備の充実を図ります。
- ・情報提供機能の充実を図ります。
- ・読書普及活動を推進します。
- ・学校(図書館)と連携した読書活動を推進します。
- ・民間活力を生かした図書館サービスの充実を図ります。
- ・閑宿地域の小中学校の図書館機能の充実を図ります
- ・児童センターと連携した読書活動を推進します。



19 家庭教育学級の充実

- ・公民館における連続講座や学校での出前講座を開催します。

身近なところから取り組みませんか！！

- ・家族団らんの時間をつくりましょう
- ・明るいあいさつができるようにしましょう
- ・物事の善し悪しをきちんと教えましょう
- ・家庭学習の時間をつくりましょう
- ・生活のリズムをつくりましょう(早寝 早起き 朝ごはん)

教育行財政

I 教育長及び教育委員 (令和5年5月1日現在)



教育長
染谷 篤



教育長職務代理者
伊藤 稔



委員
飯田 芳彦



委員
高橋 保



委員
永瀬 大

職名	氏名	任期	就任年月日
教育長	染谷 篤	令和 3年 4月 1日から 令和 6年 3月 31日まで	令和 3年 4月 1日
教育長職務代理者	伊藤 稔	令和 5年 3月 9日から 令和 9年 3月 8日まで	平成 19年 3月 9日
委員	飯田 芳彦	令和 2年 10月 1日から 令和 6年 9月 30日まで	平成 20年 10月 1日
委員	高橋 保	令和 3年 4月 1日から 令和 7年 3月 31日まで	平成 21年 4月 1日
委員	永瀬 大	令和 4年 12月 26日から 令和 8年 12月 25日まで	平成 26年 4月 1日

II 教育委員会会議

教育委員会会議は、毎月1回を定例とし、必要に応じて臨時会を開催しています。

なお、令和4年1月から令和4年12月までの会議開催と議案は次のとおりです。

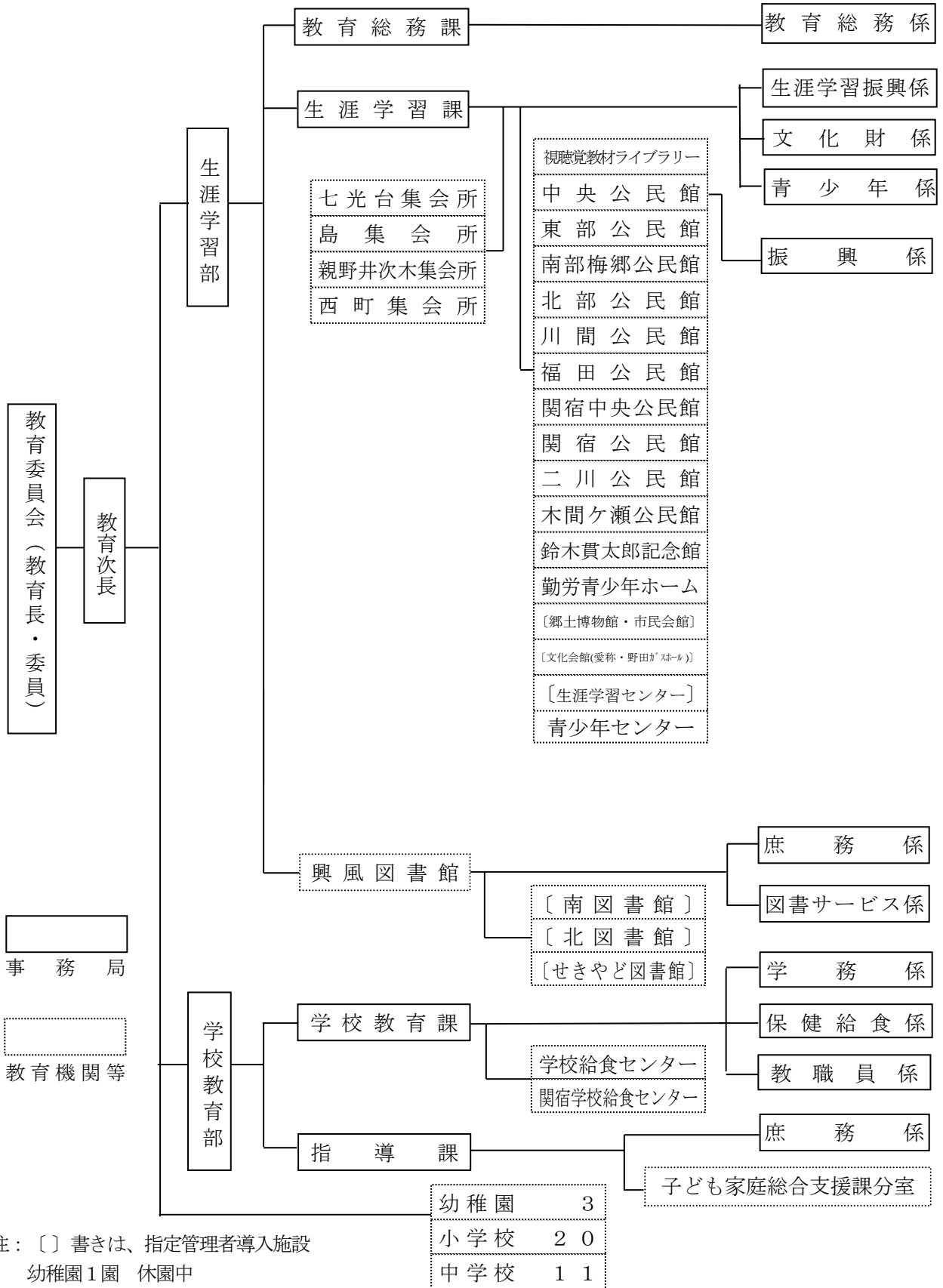
1 会議開催回数及び案件数

区 分	定 例 会	臨 時 会	計
回 数 (回)	12	12	24
議案数 (件)	30	16	46
報告数 (件)	81	0	81

2 議決された案件

案 件	件数
・教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。	2
・教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。	10
・教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。	2
・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。	1
・教育に関する予算その他市議会の議決を経るべき議案に意見を申し出ること。	14
・附属機関の委員及び青少年補導員の任命又は委嘱に関すること。	14
・教育委員会表彰に関すること。	1
・その他	2

III 教育委員会行政組織図



IV 分掌事務

課 等	係	分 掌 事 務
教育総務課	教育総務係	教育委員会の会議、委員及び教育長の秘書事務、教育委員会の規則の制定又は改廃、教育委員会の基本的計画の総括、職員の任免、給与の支給その他人事、文書の受発及び保存、公印の管守、事務局及び教育機関等の調整及び庶務、学校施設の維持管理、学校施設の補助金及び起債、教育委員会の所掌にかかわる予算、教育財産にかかわる台帳、図面等の整備保管
生涯学習課	生涯学習振興係 文化財係 青少年係	生涯学習推進、生涯学習関連施設連携の促進、社会教育方針・重点施策策定、社会教育関係団体育成援助、子ども未来教室、芸術文化関係団体育成援助、奨励金、文化財保護・埋蔵文化財保護・調査・指導相談、社会人権教育推進、埋蔵文化財整理室管理運営、集会所、指定管理者監理、青少年健全育成対策、青少年相談員、青年館、青少年育成団体の育成指導、施設管理
視聴覚教材ライブラリー		視聴覚教材ライブラリー事業運営
中央公民館	振興係	全公民館統括、学級・講座・講習会・講演会等開催、施設・設備の利用
東部・南部梅郷 ・北部・川間・ 福田・関宿中央 ・関宿・二川・ 木間ヶ瀬公民館		学級・講座・講習会・講演会等開催、施設・設備の利用
鈴木貫太郎記念館		資料収集・保管展示
勤労青少年ホーム		教養講座等開催、施設管理
青少年センター		青少年相談、有害図書、青少年非行防止・補導、施設管理運営
興風図書館	庶務係 図書サービス係	文書、予算、施設維持管理、図書館統計、広報、協議会、奉仕全体計画、資料選択発注保存、資料整備、貸出返却事務、指定管理者監理
学校教育課	学務係 保健給食係 教職員係	学校の組織編制・管理運営、就学、通学区域、教職員の任免・福利厚生、要保護・準要保護児童生徒援助費、育英資金、学校保健・学校安全、学校医、学校の環境衛生、学校給食の管理・指導・設備、栄養士・給食調理員の研修、学校給食費の収納等
学校給食センター 関宿学校給食センター		施設の維持管理、学校給食用物資購入、調理・運搬、各センターの運営業務、学校給食費の収納等
指導課	庶務係	学校教育方針・重点施策策定、教育課程・学習指導・生徒指導、学校経営・学校体育・学校人権教育の指導助言、教職員の研修、教育研究団体の育成、学校教育の統計・調査、児童生徒の健全育成に向けた学校等と警察との連携、心身障がい児の適正就学、教育支援委員会
子ども家庭総合 支援課分室		児童等の虐待等に関する情報収集、児童相談所等との連携、虐待対応にかかる学校等への指導助言、スクールソーシャルワーク等

V 職員配置

1 事務局

(令和5年5月1日現在 単位：人)

職名 部・課名	教育 次長	部 長	次 長	課 長・ 主幹	補 佐・ 副主幹	指 導 主事	管 理 主事	係 長・ 主任主査	主 査	社 会 教 育 主 事	主 任 技 師	主 任 主 事	主 事	学 芸 員	技 師	主 事 補	計
生涯学習部	1	(1)	1														2 (1)
教育総務課				1(1)	1(1)			2	3				1		(1)		8 (3)
生涯学習課				1	2			1(2)	2	(1)		5	2	(3)			13(6)
学校教育部		1		2													3
学校教育課				2	1	1	3	1(2)			1	3	1①		1		14 (2)①
指導課				3	1(1)	8(1)		(1)	2				2				16 (3)
計	1	1 (1)	1	9 (1)	5 (2)	9 (1)	3	4 (5)	7	(1)	1	8	6 ①	(3)	1 (1)		56(15)①

2 教育機関（学校、幼稚園除く）

職名 機関名	館 長・ 所長	補 佐・ 副主幹	公 民 館 長	係 長・ 主任主査	主 査	社 会 教 育 主 事	主 任 技 師	主 任 主 事	主 事	司 書	主 事 補	用 務 員	事 務 補 助	計
興風図書館	1	1		2 (1)	6			5		(9)			①	15 ① (10)
学校給食センター	(1)													(1)
関宿学校給食センター	(1)						1							1(1)
視聴覚教材ライブラリー	(1)													(1)
勤労青少年ホーム	(1)	(1)												(2)
中央公民館			1		1	(1)		1						3 (1)
東部公民館			①		1									1 ①
南部梅郷公民館			①		1	(1)								1 ① (1)
北部公民館			①		1							1		2 ①
川間公民館			1		1									2
福田公民館			①					1						1 ①
関宿中央公民館			①		1							1		2 ①
関宿公民館			1					1						2
二川公民館			①		1									1 ①
木間ヶ瀬公民館			①		1							1		2 ①
鈴木貫太郎記念館	(1)													(1)
青少年センター	(1)							(2)				1		1 (3)
計	1 (6)	1 (1)	3 ⑦	2 (1)	14	(2)	1	8 (2)		(9)		4	①	34 ⑧ (21)

※ () 兼務 ○会計年度任用職員

3 学校職員数

区分 学校名	県費教職員									市費職員			合計
	校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養士	事務職員	小計	栄養士	用務員	小計	
中央小学校	1	1		31	1			2	36				36
宮崎小学校	1	1		24	1	1		1	29				29
東部小学校	1	1		12	1			1	16	1		1	17
南部小学校	1	1		37	1	1		1	42				42
北部小学校	1	1	1	14	1		1	1	20				20
川間小学校	1	1		12	1			1	16	1		1	17
福田第一小学校	1	1		6	1			1	10	1		1	11
福田第二小学校	1	1		9	1			1	13	1		1	14
清水台小学校	1	1		38	1			2	43				43
柳沢小学校	1	1	1	18	1			1	23				23
山崎小学校	1	1		23	1	1		1	28				28
岩木小学校	1	1	1	35	1			1	40	1		1	41
尾崎小学校	1	1	1	17	1			1	22	1		1	23
七光台小学校	1	1		20	1			1	24	1		1	25
二ツ塚小学校	1	1	1	9	1			1	14	1		1	15
みずき小学校	1	1		29	1			1	33	1		1	34
木間ヶ瀬小学校	1	1		12	1			1	16		1	1	17
二川小学校	1	1	1	20	1			1	25	1		1	26
関宿小学校	1	1		9	1			1	13				13
関宿中央小学校	1	1	1	18	1			1	23				23
小学校計	20	20	7	393	20	3	1	22	486	10	1	11	497
第一中学校	1	1		38	1			2	43				43
第二中学校	1	1		21	1		1	1	26				26
東部中学校	1	1	1	10	1	1		1	16				16
南部中学校	1	2		44	2	1		2	52				52
北部中学校	1	1		25	1	1		1	30				30
川間中学校	1	1		18	1			1	22	1		1	23
福田中学校	1	1	1	12	1			1	17	1		1	18
岩名中学校	1	1	1	24	1	1		1	30				30
木間ヶ瀬中学校	1	1		14	1			1	18				18
二川中学校	1	1		16	1	1		1	21				21
関宿中学校	1	1		9	1			1	13				13
中学校計	11	12	3	231	12	5	1	13	288	2		2	290

区分 園名	園長	教頭	教諭	計
野田幼稚園	1	1	7	9
関宿南部幼稚園	0	0	0	0
関宿中部幼稚園	1	1	2	4
計	2	2	9	13

※ 会計年度任用職員は除く。

※ 関宿南部幼稚園は令和5年度より休園

VI 令和5年度教育委員会関係予算

1 教育費

項 目		当初予算額 (千円)	構成比 (%)	項 目		当初予算額 (千円)	構成比 (%)
教育総務費	教育委員会費	3,039	0.06	保健体育費	学校保健費	57,008	1.15
	事務局費	879,312	17.77		学校給食費	1,053,242	21.28
	人権教育費	267	0.01		学校給食センター費	293,699	5.93
	育英事業費	547	0.01		関宿あおぞら広場費	1,786	0.04
	国際理解教育推進事業費	55,425	1.12		小 計	1,405,735	28.40
	小 計	938,590	18.97	合 計	4,949,031	100	
小学校費	学校管理費	660,613	13.35	2 総務費			
	教育振興費	249,965	5.05	項 目		当初予算額 (千円)	
	小 計	910,578	18.40	総務管理費	コミュニティセンター費	77,091	
中学校費	学校管理費	277,777	5.61		市民会館費	3,502	
	教育振興費	187,496	3.79		小 計	80,593	
	小 計	465,273	9.40	3 労働費			
幼稚園費	公立幼稚園費	120,147	2.43	項 目		当初予算額 (千円)	
	私立幼稚園費	21,058	0.42	労働費	勤労青少年ホーム費	19,778	
	小 計	141,205	2.85		小 計	19,778	
社会教育費	社会教育総務費	122,462	2.47	4 災害復旧費			
	集会所費	2,509	0.05	項 目		当初予算額 (千円)	
	文化振興費	1,205	0.02	災害復旧費	公立学校施設災害復旧費	1	
	青少年育成費	13,214	0.27		小 計	1	
	青少年センター費	22,697	0.46	合 計			
	公民館費	250,005	5.05	当初予算額 (千円)		5,049,403	
	図書館費	298,726	6.04				
	文化センター費	113,822	2.30				
	檜のホール費	124,972	2.53				
	文化財保護費	7,189	0.15				
	博物館費	65,534	1.32				
	重要文化財管理費	2,695	0.05				
	発掘調査費	6,447	0.13				
	史跡整備費	2,397	0.05				
	民俗文化財費	279	0.01				
	生涯学習センター費	53,497	1.08				
	小 計	1,087,650	21.98				

※教育委員会所管の予算であり、教育費総額とは異なります。

Ⅶ 校舎等保有面積及び校地面積

(令和5年5月1日現在 単位：㎡)

区分 学校名	校舎 保有面積	左の内訳			体育館 保有面積	校地 総面積	左の内訳		
		鉄筋	鉄骨 その他	木造			建物 敷地	運動場等 敷地	
小 学 校	中央小学校	9,343	8,670	516	157	1,516	25,347	16,174	9,173
	宮崎小学校	4,305	4,107	198	0	796	19,308	11,459	7,849
	東部小学校	4,567	4,392	139	36	608	17,217	8,668	8,549
	南部小学校	5,889	5,301	553	35	765	15,455	8,613	6,842
	北部小学校	2,474	2,407	49	18	751	12,488	7,214	5,274
	川間小学校	3,898	3,797	51	50	882	26,562	12,878	13,684
	福田第一小学校	3,766	3,692	33	41	952	17,639	10,208	7,431
	福田第二小学校	2,647	2,512	125	10	493	15,073	5,046	10,027
	清水台小学校	5,551	5,476	31	44	946	39,071	16,354	22,717
	柳沢小学校	3,738	3,673	4	61	948	31,381	19,760	11,621
	山崎小学校	4,860	4,778	67	15	1,006	28,588	10,800	17,788
	岩木小学校	6,731	6,648	73	10	1,006	21,164	12,040	9,124
	尾崎小学校	4,515	4,443	5	67	1,065	26,557	11,531	15,026
	七光台小学校	4,882	4,800	15	67	965	23,286	10,132	13,154
	二ツ塚小学校	5,046	4,967	7	72	947	27,083	11,829	15,254
	みずき小学校	4,826	4,826	0	0	1,247	15,983	9,423	6,560
	木間ヶ瀬小学校	4,264	4,007	195	62	1,054	17,922	11,095	6,827
	二川小学校	4,427	3,752	9	666	1,052	19,064	10,743	8,321
	関宿小学校	3,499	3,472	27	0	1,060	15,129	7,461	7,668
	関宿中央小学校	4,007	3,699	252	56	795	18,215	8,339	9,876
小計	93,235	89,419	2,349	1,467	18,854	432,532	219,767	212,765	
中 学 校	第一中学校	5,456	5,160	186	110	1,557	36,662	15,362	21,300
	第二中学校	5,308	5,255	3	50	1,206	27,548	11,495	16,053
	東部中学校	4,364	4,279	17	68	751	23,648	8,244	15,404
	南部中学校	7,121	7,060	3	58	1,495	27,834	6,107	21,727
	北部中学校	6,116	6,065	36	15	1,225	27,616	13,420	14,196
	川間中学校	5,669	5,611	17	41	1,126	29,470	9,860	19,610
	福田中学校	5,768	5,732	17	19	1,221	26,350	11,006	15,344
	岩名中学校	5,399	5,326	4	69	1,004	28,730	9,375	19,355
	木間ヶ瀬中学校	5,675	5,479	119	77	748	24,518	12,988	11,530
	二川中学校	4,381	4,001	330	50	750	30,937	7,915	23,022
	関宿中学校	2,334	2,204	77	53	798	16,113	6,488	9,625
小計	57,591	56,172	809	610	11,881	299,426	112,260	187,166	
幼 稚 園	野田幼稚園	1,383	1,359	5	19	0	3,895	2,694	1,201
	関宿南部幼稚園	698	0	17	681	0	3,744	2,484	1,260
	関宿中部幼稚園	738	728	0	10	0	2,340	1,131	1,209
	小計	2,819	2,087	22	710	0	9,979	6,309	3,670
合計	153,645	147,678	3,180	2,787	30,735	741,937	338,336	403,601	

※数値は、令和5年度施設台帳より転記

VIII 教育委員会沿革

昭和25年	5月	野田町・旭村・梅郷村・七福村（1町3村）を合併、5月3日市制施行
	7月	野田市教育委員会設置
26年	4月	中央中学校を分割し、第一中学校及び第二中学校を設置
	5月	中根八幡前弥生式住居発見
28年	6月	福田村公民館落成 北部公民館創設
	7月	東部・南部・北部中学校竣工
30年	5月	市営野球場開場
32年	1月	宮崎小学校開校
	3月	北部公民館新築落成
32年	4月	川間村・福田村野田市に編入合併（村立学校は市立となる。）
34年	4月	郷土博物館新築開館 東部小学校新校舎竣工
	7月	市営プール完成（宮崎地先）
35年	2月	南部小学校改築竣工
35年	10月	市庁舎完成（中野台168）
36年	6月	視聴覚教材ライブラリー設置
37年	5月	市営陸上競技場開場
	7月	東部公民館新築落成
38年	1月	第一中学校新校舎完成 鈴木貫太郎記念館開館
39年	4月	南部公民館開館 県立野田実業高等学校を県立清水高等学校に名称変更
41年	4月	東京理科大学野田校舎開校
42年	3月	関宿学校給食センター竣工
43年	2月	川間小学校新校舎完成
44年	3月	東部小学校新校舎完成
45年	3月	福田第二小学校新校舎完成
46年	3月	川間公民館新築落成
46年	12月	重要文化財「旧花野井家住宅」移築復元
47年	3月	勤労青少年ホーム完成

昭和47年 6月	第一中学校校舎改築完成
10月	野田学校給食センター竣工
11月	福田運動場野球場開場
48年 5月	市立野田幼稚園新築落成
49年 3月	北部小学校新校舎完成
49年 4月	清水台小学校開校
5月	関宿町公民館開館
8月	文化会館・中央公民館開館
50年 4月	関宿南部幼稚園開園
51年 3月	福田第一小学校新校舎竣工
51年 4月	関宿北部幼稚園開園
12月	山崎貝塚 国指定史跡とされる。
52年 2月	二川小学校新校舎完成
52年 4月	柳沢小学校開校・県立野田北高等学校開校 関宿中部幼稚園開園
53年 2月	木間ヶ瀬小学校新校舎完成
53年 5月	南部小学校・南部中学校新校舎完成
8月	移動図書館「そよかぜ号」巡回開始
54年 2月	福田中学校新校舎完成
54年 4月	市立興風図書館開館
55年 3月	第二中学校新校舎完成
55年 4月	岩木小学校・山崎小学校開校
8月	総合公園水泳場開場 勤労者体育センター（福田公民館併設）開館
56年 4月	総合公園庭球場・福田運動場庭球場開場
57年 3月	北部中学校新校舎完成 二川中学校新校舎完成
57年 6月	東部中学校新校舎完成
9月	川間中学校新校舎完成
58年 3月	木間ヶ瀬中学校新校舎完成
58年 4月	青少年センター・補導センター開館 北部コミュニティセンター開館
59年 2月	関宿中学校新校舎完成
3月	関宿中央小学校新校舎完成

昭和59年	4月	尾崎小学校開校	
60年	4月	学校教育課内の指導室廃止、指導課新設 同和教育課新設、保健体育課を社会体育課に名称変更 七光台小学校開設・同和対策七光台集会所開設	
61年	4月	二ツ塚小学校開校、私立西武台千葉高等学校開校	
	7月	教育委員会鶴奉分庁舎に移転	
62年	3月	新関宿学校給食センター竣工	
62年	4月	青少年課を新設、岩名中学校開校 県立関宿高等学校開校	
	5月	中部コミュニティセンター開館	
	6月	総合公園体育館開館	
平成	元年	4月	部制組織となる。 ・教育総務部 教育総務課（総務課を名称変更） ・学校教育部 学校教育課・指導課・同和教育課 ・社会教育部 社会教育課・社会体育課・婦人青少年課(青少年課を名称変更) 同和対策島集会所を開設 県立野田養護学校開校
		5月	南図書館開館（南コミュニティセンター内）
	2年	3月	北部公民館改築
	2年	4月	北図書館開館（北コミュニティセンター内）
		5月	南部コミュニティセンター開館
	3年	3月	総合公園野球場に夜間照明設備完成
	3年	5月	東部公民館改築
	4年	7月	生涯スポーツ北広場開場
	5年	4月	婦人青少年課を青少年課に名称変更
		5月	新庁舎（鶴奉7-1）に教育委員会事務局移転
		11月	文化振興事業郷土の芸術家シリーズ実施
	6年	3月	南部中学校給食棟改築
	6年	4月	社会教育部を生涯学習部に名称変更 地区公民館長に嘱託制度導入
	7年	3月	南部中学校体育館改築 生涯学習振興大会（第1回）開催
	7年	10月	川間中学校コンピュータールーム改修
	8年	1月	第一中学校コンピュータールーム改修

平成 8年 1 1月	福田第二小学校校庭拡張 東部中学校コンピュータールーム改修
9年 2月	第一中学校武道場竣工
9年 1 0月	福田中学校コンピュータールーム改修
1 0年 1 0月	興風図書館、櫛のホールに移転 野田公民館、櫛のホールに開館 福田第二小学校校舎・給食棟改築
1 1年 2月	南部中学校コンピュータールーム改修
1 1年 7月	関宿小学校新校舎完成
1 1月	第二中学校コンピュータールーム改修
1 2年 4月	岩木小学校余裕教室を活用した老人デイサービスセンター開設
1 3年 3月	南部公民館改築
1 3年 4月	南部公民館を南部梅郷公民館に名称変更
8月	高梨氏庭園 国指定名勝とされる。
1 4年 4月	北部中学校体育館改築 教育環境改善事業の実施
1 5年 4月	みずき小学校開校
6月	同和教育課を廃止 野田市・関宿町合併 関宿町公民館を関宿中央公民館、北部コミュニティセンターを関宿北部公民館、中部コミュニティセンターを関宿中部公民館、南部コミュニティセンターを関宿南部公民館に名称変更
1 6年 4月	せきやど図書館開館（いちいのホール内） 小中学校二学期制導入 岩名古墳公園開園 千葉県立関宿高等学校と3中学校（木間ヶ瀬、二川、関宿）による連携型中高一貫教育開始
1 7年 3月	関宿北部幼稚園廃園
1 7年 4月	関宿総合公園体育館開館
5月	総合公園陸上競技場開場
8月	全国高等学校総合体育大会（バドミントン競技）開催
1 8年 4月	総合公園、せきやど図書館指定管理者制度導入
1 0月	南部地区スポーツ広場開場
1 1月	野田市教育委員会がキャリア優良実践地域として文部科学大臣表彰を受ける。

平成19年 4月	郷土博物館、市民会館、関宿総合公園、関宿少年野球場、南図書館、北図書館、南コミュニティ会館、北コミュニティ会館及び関宿コミュニティ会館指定管理者制度導入 関宿あおぞら広場開場 『のだ教育の日』制定（11月第1土曜日）
10月	中央公民館が優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）を受ける。 榊田家住宅主屋、戸邊五右衛門家住宅主屋・土蔵・倉庫・米蔵 国登録有形文化財とされる。
20年 3月	懐石あた后店舗(旧茂木房五郎家住宅居住棟)・土蔵(旧茂木房五郎家住宅土蔵) 国登録有形文化財とされる。
20年 4月	総合公園にスケートボードパーク開場
7月	野田市市民会館（旧茂木佐平治氏）庭園 国登録記念物とされる。
9月	木間ヶ瀬中学校校庭拡張
21年 2月	北部小学校第一プレハブ校舎（特別教室棟）完成
3月	清泰寺刺繍釈迦涅槃図 県指定有形文化財とされる。
22年 1月	茂木本家住宅主屋・北蔵・南蔵・旧仕込倉・旧漬物倉・旧米倉・旧門番棟・正門・板塀・庭門及び竹木賦張塀・稲荷神社・稲荷神社水屋・煉瓦塀 国登録有形文化財とされる。
2月	北部小学校第二プレハブ校舎（特別教室棟）完成
3月	野田市春風館道場(柔剣道場)改修
22年 4月	教育総務部が廃止され、生涯学習部、学校教育部の2部制になる。 ・生涯学習部 教育総務課・社会教育課・社会体育課・青少年課・文化センター・興風図書館 ・学校教育部 学校教育課・指導課
5月	文化会館空調設備改修
6月	野田市春風館道場(柔剣道場)開場、同施設に指定管理者制度導入
23年 2月	北部小学校第三プレハブ校舎（普通教室棟）完成
23年 4月	野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館指定管理者制度導入 野田市春風館道場(弓道場)開場
24年 3月	文化会館女子トイレ増設及び多目的トイレ設置
24年12月	特別天然記念物コウノトリ2羽が江川地区の飼育施設に移送される。
25年 2月	特別天然記念物コウノトリの飼育施設が一般公開開始となる。
3月	南部中学校武道場(剣道場)新築
25年 6月	文化会館客席改修工事完了 榊田家住宅不動尊祠・土蔵・脇門・煉瓦塀 国登録有形文化財とされる。

平成26年	4月	<p>関宿北部公民館を関宿公民館、関宿中部公民館を二川公民館、関宿南部公民館を木間ヶ瀬公民館に名称変更</p> <p>土曜授業の実施</p> <p>興風図書館が子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）として文部科学大臣表彰を受ける。</p>
	8月	第1回野田かぶき開催
	10月	中央小校舎、清水台小校舎、岩木小校舎、福田中校舎4棟耐震改修
	11月	福田第二小体育館耐震改修
27年	1月	川間小校舎及び体育館、山崎小校舎、第一中学校体育館耐震改修
	3月	特別天然記念物コウノトリ3羽が誕生
27年	4月	教育委員会制度改革により総合教育会議設置
	7月	特別天然記念物コウノトリ3羽放鳥
	8月	<p>戦後70周年記念事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画「日本のいちばん長い日」試写会 ・鈴木貫太郎記念館特別展 ・平和講演会
	9月	二川小学校校舎耐震改修
	10月	野田市教育大綱策定
	11月	岩木小学校体育館、関宿中学校格技場耐震改修
	12月	清水台小学校、柳沢小学校体育館及び木間ヶ瀬小学校校舎耐震改修
28年	3月	<p>宅送サービスにおいて視覚障がい者等で希望する方に郵送（無料）によるサービス開始</p> <p>特別天然記念物コウノトリ2羽が誕生</p> <p>宮崎小学校校舎一部改築工事完了により供用開始</p> <p>中央小学校記念館耐震改修</p>
28年	4月	<p>野田市文化会館指定管理者制度導入</p> <p>視覚障がい者又は活字による読書が困難な方に対し、サピエ図書館の利用を開始</p> <p>読書手帳（小学校低学年用、一般用）を、利用登録者で希望する方に配布開始</p>
	6月	特別天然記念物コウノトリ2羽放鳥
29年	1月	川間公民館改築、移転
	3月	中学校11校の普通教室、特別教室、管理諸室等に空調設備設置
29年	4月	<p>青少年課 青少年センターへ移転</p> <p>興風図書館の奉仕係を図書サービス係に名称変更</p> <p>市内公立中学校の生徒を対象に子ども未来教室を開始（※児童家庭課所管）</p> <p>特別天然記念物コウノトリ3羽が誕生</p>
	5月	適応指導学級関宿分室開設

平成29年 6月 10月 30年 3月	<p>特別天然記念物コウノトリ1羽放鳥</p> <p>中央小学校に学校ビオトープを設置</p> <p>小学校20校の普通教室、特別教室、管理諸室等に空調設備設置 幼稚園3園の保育室、管理諸室等に空調設備設置</p> <p>茂木七郎右衛門家住宅主屋、書院、新座敷、本蔵、新蔵、向蔵、奥文庫蔵、穀物蔵、正門、内門、煉瓦塀、書院北・東側土塀、書院南側板塀、琴平神社本殿、琴平神社神楽殿、琴平神社額殿（絵馬殿）、琴平神社手水舎、琴平蔵 国登録有形文化財とされる。</p> <p>野田市小中学校部活動ガイドラインを策定</p> <p>特別天然記念物コウノトリ3羽が誕生</p>
30年 4月 5月 6月 31年 3月	<p>社会体育課にスポーツ推進係を新設 指導課に庶務係を新設</p> <p>野田市いじめ防止基本方針を策定</p> <p>子ども未来教室の対象者に市内公立小学校の3年生児童を追加（社会教育課に移管）</p> <p>いじめ早期発見・早期解決のための匿名相談アプリ「STOP it」を導入（市内公立の全中学生が対象）</p> <p>特別天然記念物コウノトリ3羽放鳥</p> <p>三ツ堀のどろ祭 県指定無形民俗文化財解除とされる。 三ツ堀のどろ祭用具及び関連資料 県指定有形民俗文化財とされる。</p>
31年 4月 令和 元年 7月 8月 9月 10月	<p>社会教育課を生涯学習課に名称変更 社会体育課をスポーツ推進課に名称変更し、市長部局に移管 指導課に虐待担当を新設</p> <p>特別天然記念物コウノトリ2羽が誕生</p> <p>関宿地区において読書推進事業を開始</p> <p>特別天然記念物コウノトリ2羽放鳥</p> <p>野田市教育委員会アドバイザー1名、野田市スクールロイヤー4名を配置</p> <p>上原家住宅書院・土蔵・石蔵・表門 国登録有形文化財とされる。</p> <p>指導課内の虐待担当を子ども家庭総合支援課分室へ名称変更 野田公民館と中央コミュニティ会館を併せて生涯学習センターに改称</p>
令和 2年 4月 7月 8月 3年 1月 2月	<p>野田幼稚園において給食の提供を開始</p> <p>特別天然記念物コウノトリ3羽が誕生</p> <p>特別天然記念物コウノトリ1羽放鳥</p> <p>キノエネ醤油事務所兼主屋・旧火入場及び変電室 国登録有形文化財とされる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、成人式をオンライン開催</p> <p>野田市郷土博物館 国登録有形文化財とされる。</p>

3年 5月	特別天然記念物コウノトリ 2羽が誕生
8月	特別天然記念物コウノトリ 2羽放鳥
10月	中央小学校3年館・7年館・旧正門 国登録有形文化財とされる。
4年 3月	新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、全小中学校及び全幼稚園のトイレ 手洗い場等を自動水栓化
4年 4月	教育総務課の庶務係と施設管理係を統合し、教育総務係に名称変更
5月	特別天然記念物コウノトリ 1羽が誕生
8月	特別天然記念物コウノトリ 1羽放鳥
5年 1月	民法の一部改正により 18歳で成人となったが、従来どおり 20歳となる方を対象に野 田市成人式～二十歳の集い～を開催
5年 4月	健康スポーツ文化都市宣言 鈴木貫太郎記念館建設に向けた準備体制の強化を図るため、建設に係る業務を市長部 局に移管 青少年課を生涯学習課に統合し、青少年係に名称変更 学校教育課に教職員係を新設 関宿南部幼稚園休園

教育委員会

I 令和5年度野田市教育委員会重点施策

◎教育総務課

重点目標

- (1) 教育委員会の活性化
- (2) 学校施設・設備の充実

具体的施策

- (1) 教育委員会の活性化
 - ①教育委員会会議活性化の検討
 - ・教育委員会会議を活性化するための取組を行う。
 - ②勉強会の開催、研修会への参加
 - ・テーマに沿った勉強会を開催し、また各種研修会へ参加することにより、教育委員としての見識を高める。
 - ③教育機関の視察
 - ・教育機関の視察を行い、学校現場の様子や課題等を把握することにより、教育委員としての見聞を広める。
- (2) 学校施設・設備の充実
 - ①学校施設のトイレ改修工事の実施
 - ・小中学校のトイレの様式化については、児童生徒用トイレの様式化率100%を目指し、計画的に行う。
【令和6年度までに全小学校、令和8年度までに全中学校終了予定】
 - ②学校施設改修工事等の実施
 - ・学校からの要望、保守点検の結果等を受け、早急な対応が必要な学校施設や設備の改修工事を行い、長寿命化を図る。
 - ・障がいのある児童生徒に対応するため各小中学校と個別に協議を行い、学校生活に支障がないよう改修を行う。

◎生涯学習課

重点目標

- (1) 生涯学習の充実
- (2) 鈴木貫太郎記念館の再建への取組
- (3) 史跡や文化財の保存と活用
- (4) 伝統文化の継承
- (5) 文化の発信と振興
- (6) 生物多様性自然再生の取組
- (7) 家庭教育学級の充実
- (8) 学校・家庭・地域連携協力推進事業の取組
- (9) いじめ・虐待防止対策の推進
- (10) 生涯学習施設・設備の充実
- (11) 青少年の健全育成活動の推進
- (12) 青少年の非行・被害防止
- (13) 地域との連携の推進

具体的施策

- (1) 生涯学習の充実
 - ①生涯学習相談への対応
 - ・多様化する市民の学習意欲に応えるため、生涯学習課及び各公民館で学習情報やグループサークル情報を提供し、市民の学習機会の充実を図るとともに、生涯学習を推進する。
 - ②学校支援ボランティア養成講座の開設
 - ・生涯学習振興の一環として、また、学校支援地域本部事業推進のため、地域の人材が持つ知識や技術を学校・地域に還元してもらえようボランティア養成講座を開設し、地域活動への参加を促す。
 - ③高齢者向けスマホの使い方講座の開催
 - ・高齢者のスマートフォンを利用した情報の収集及び伝達の手段の拡充を図るため、十分に使い方がわからない、65歳以上の市民に対し、スマートフォンの使い方の講座を開催する。
 - ④市民提案による中央公民館事業の実施
 - ・個人が持つ知識や経験を生かし、その知識等に興味を示す市民への還元のため、公民館で実施する講座や催しに対しての企画を提案していただき、公民館とともに地域の活性化と地域で活動する団体の育成を図る。
- (2) 鈴木貫太郎記念館の再建への取組
 - ①鈴木貫太郎記念館の再建に向けた取組
 - ・臨時休館中の鈴木貫太郎記念館の再建について、建設業務を移管した市長部局と緊密に連携するとともに、公民館講座や文化財出前授業等で鈴木貫太郎翁の功績を広く周知し、早期の実現を図る。
 - ②現鈴木貫太郎記念館の所蔵資料の修復
 - ・鈴木貫太郎記念館の資料は、長年の展示などにより経年劣化が見られることから、記念館再建に向けた取組の一環として所蔵資料の修復業務を移管した市長部局と緊密に連携し、計画的に修復を実施する。
- (3) 史跡や文化財の保存と活用
 - ①文化財出前授業の実施
 - ・小学生を対象に、野田市の歴史について講義と体験を通して学ぶ機会として

の出前授業を実施し、文化財についての正しい理解を深めるとともに、文化財への興味・関心を高める。

②文化財保存活用地域計画の作成

- ・文化財保護法の改正（H31年4月）に伴い、地域における文化財の計画的な保存・活用の推進等の指針とするため、「野田市文化財保存活用地域計画」を作成する。

(4) 伝統文化の継承

①民俗芸能のつどいの開催

- ・市内に伝わる民俗芸能の保存、後継者の育成及び公開のため、「野田市民俗芸能のつどい」を開催する。

(5) 文化の発信と振興

①文化祭などの事業実施の推進

- ・野田市、野田市教育委員会及び野田市文化団体協議会の共催とし、実行委員会を組織して文化祭を開催することにより、市民の文化・芸術活動を奨励するとともに生涯学習の推進を図る。

②絵画展示事業の実施

- ・市民が芸術に触れ合い情操を豊かにすることを目的に、野田美術会会員の優れた作品を市役所エレベータホール及び展望ロビーに展示する。また、市内小中学生のこども県展優秀作品を「子ども美術展」として中央公民館等に展示する。

(6) 生物多様性自然再生の取組

①公民館及び生涯学習センターにおける環境教育学習の推進

- ・公民館及び生涯学習センターにおいて、児童生徒が自然と関わり、生き物とのつながりを意識し、生き物に積極的に関わっていくことができるようになることを目指し、江川地区でのフィールドワークや環境教育講座を実施する。

(7) 家庭教育学級の充実

①公民館における連続講座の開設

- ・保護者が、子供の心身の発達や子供たちを取り巻く様々な問題を理解し、家庭教育の必要性和親子の関わり方を学ぶ機会として、公民館において連続講座を実施する。

②学校での出前講座の開催

- ・家庭教育学級参加の機会を拡大するため、就学時健康診断や入学説明会などの機会をとらえ、学校会場で講座を実施する。

(8) 学校・家庭・地域連携協力推進事業の取組

①関係課と連携した訪問型も含めた家庭教育支援事業の実施

- ・県の補助事業「家庭教育支援チーム設置推進事業」を導入し、子育て中の親子の居場所づくりを提供する「みんなのすくすくひろば」や、児童と保護者を対象とした事業で親子参加型講座を開設し、親子のふれあいや絆を深め、他の親子と交流を図る。

また、家庭教育の充実を目的に、公民館における連続講座及び学校での出前講座として家庭教育学級を実施するとともに、福祉や学校教育の関係機関と協力しながら、孤立しがちな親や困難を抱える親とつながり、家庭教育支援事業の情報を提供していく家庭教育相談を実施する。

②子ども未来教室の開設

- ・基礎学力の向上や学習習慣の定着、学習に対する興味関心を高めるため、市

内公立中学生に英語と数学を中心に学習支援を行う。さらに、授業への理解の差が目立ってくる小学校3年生も対象に国語と算数の学習支援を行う。

(9) いじめ・虐待防止対策の推進

①公民館長と地域の方々との懇談会の開催

・児童虐待事件に係る再発防止策の一つとして、虐待情報を積極的に収集するため、各地区の公民館長が地域の自治会長等と懇談会を開催する。

②公民館講座等における虐待防止の啓発

・子育て中の孤独感を払拭し、子育ての悩みや疑問、不安の解消を図るとともに、家庭教育の必要性和親子の関わり方を学ぶ機会として、家庭教育学級の公民館における連続講座及び学校での出前講座を実施するほか、子育て中の親子の居場所づくりを提供する「みんなのすくすくひろば」を公民館で開設する。

(10) 生涯学習施設・設備の充実

①野田市社会教育施設等長寿命化計画に基づく施設の機能維持等の実施

・野田市社会教育施設等長寿命化計画に基づき、施設の機能維持等を行うため、文化会館、樺のホール及び公民館等を長期間の使用ができるよう、施設や設備の法定点検、定期点検、日常点検を徹底し、修繕が必要なものについては、迅速に対応する。

(11) 青少年の健全育成活動の推進

①青少年育成活動の継続実施及び市民への周知

・次世代を担う子供たちが健やかに成長するよう、青少年健全育成団体と協力しながら、各種イベントを実施するとともに、市民への周知を図る。

②青少年健全育成団体との連携及び支援

・青少年の健全育成に携わる団体が、その活動をスムーズに展開できるよう補助金を交付するほか、活動場所の提供、活動支援を行う。

③青少年健全育成団体間での情報交換の促進

・中学校区内の育成団体等が情報交換や各団体の事業調整、連携が図られるよう地区別懇談会を開催する。

(12) 青少年の非行・被害防止

①街頭補導の実施

・安全・安心な社会環境実現のため、青少年センターの社会教育指導員及び青少年補導員らにより、子供たちの見守りパトロールを行う。合同街頭補導を始め市内で実施されるイベントや県下一斉に実施する街頭補導において、「愛のひとこえ」を掛けながら、非行防止・健全育成や不審者対策等に努める。

②子ども安全情報のメール配信及び登録者の加入促進

・不審者から子供たちを守るため、学校や保護者からの不審者情報をメール配信して共有し、家庭・地域・学校が連携して児童生徒を犯罪から守る。

③情報モラルに関する啓発活動の強化

・子供たちがインターネットやスマートフォンを安全に正しく使うための講習会を開催し、フィルタリング等による監視・制限を行うことでネット利用環境を整え、安全に利用するための危機管理意識を高める。

(13) 地域との連携の推進

①オープンサタデークラブの充実

- ・学校が休業日となる第1、第3土曜日に地域の教育力を活用した課外活動を行うことにより、子供たちに体験を通じて「豊かな人間性の育成とともに規範意識を育む」場を創出する。

②地域における健全育成活動の推進

- ・挨拶を地域全体に広め、明るく健全な地域社会になるよう、地区別懇談会やあおいそら運動との協働により、地域住民の絆を深め、地域全体で子供たちの成長を支える。

③いじめ・虐待を見過ごさない地域社会づくりの推進

- ・児童虐待を見過ごさず、地域全体で子供を見守る社会環境を整え、早期発見、早期対処につなげる。

◎興風図書館

重点目標

- (1) 図書館機能の充実
- (2) 生物多様性自然再生の取組

具体的施策

- (1) 図書館機能の充実

- ①図書館資料及び設備の充実

- ・生涯にわたる学習意欲を高めるための礎となるよう、図書館資料及び設備の充実を図る。

- ②情報提供機能の充実

- ・レファレンスサービスやインターネットを利用したパソコンや携帯電話からの図書館資料の検索や予約サービスの充実を図る。

- ③読書普及活動の推進

- ・図書館講座やブックスタート事業等の読書普及活動を実施して図書館利用の促進を図る。

- ④学校（図書館）と連携した読書活動の推進

- ・学校からの要請に基づいて興風図書館の司書が学校へ出向き、学校職員や学校図書館のボランティアへの指導・助言を行うほか、要請の有無に関わらず、指導課と協力して学校現場の状況を確認し、読書推進の前提となる適切な蔵書管理への助言などの支援を行う。

また、学校を対象とした団体貸出しにおいて、学校の要望を受けて、授業等で必要な図書館資料を職員が選択し貸出しを行い、学校図書館の運営支援を行う。

さらに、図書館と学校が連携し、子供たちの「情報を活用する力」を育てるとともに、図書館の利用促進を図る取組を実施する。

- ⑤民間活力を生かした図書館サービスの充実

- ・民間活力を生かし図書館サービスの充実に努める。

- ⑥閑宿地域の小中学校の図書館機能の充実

- ・閑宿地域の小中学校の児童生徒等への読書を推進するため、興風図書館と指導課との協働により、閑宿地域の小中学校児童生徒等への読書推進業務を実施する。

- ⑦児童センターと連携した読書活動の推進

- ・野田市立児童センターの図書コーナーに、興風図書館の司書が専門的知見に基づき選書した本を配架し、児童センターと興風図書館が密に連絡を取りながら児童センターの図書の利用促進を図り、子供たちのニーズに合わせた読書活動を推進する。

- (2) 生物多様性自然再生の取組

- ①図書館ホームページ内の生物多様性 こうのとりライブラリーの充実

- ・図書館ホームページの生物多様性 こうのとりライブラリーにおいて、野田市の生物多様性の取組について紹介し、また、より深く知っていただくため、図書館の生物多様性に係る蔵書資料を紹介する。

- ②興風図書館内の生物多様性コーナーの充実

- ・興風図書館内に生物多様性コーナーを開設し、野田市が行っている生物多様性の取組について紹介し、あわせて、生物多様性に関する資料を展示、配架する。

◎学校教育課

重点目標

- (1) 確かな学力の向上
- (2) 健やかな体の育成
- (3) 安全安心な学校（園）づくり
- (4) 業務改善
- (5) 生物多様性自然再生の取組

具体的施策

(1) 確かな学力の向上

①サポートティーチャー等の配置事業

- ・小中学校に、サポートティーチャーを配置することにより、担任や教科担任を含めて複数で指導に当たり、個々に応じたきめの細かい指導を行うことで、学力の向上を図る。

②小中学校教職員の適正な人事異動と配置

- ・組織の活性化、人材の育成、特色ある教育の実現に向け、全体のバランスを考えながら、本人の意向も尊重しつつ適材適所の配置を行う。

(2) 健やかな体の育成

①学校保健教育の指導・支援

- ・健康な歯や口腔保健推進のため、野田市歯科医師会の協力を得て、「歯と口の健康週間」を実施する。また、啓発のための標語や絵画、ポスターの作成・掲示、市内各校の歯の健康優秀者に対し表彰を行う。
- ・歯科検診を前期と後期に実施し、後期は、前期で要観察歯又は歯周疾患要観察者と診断された児童生徒を対象に後期歯科検診を実施する。

②生活習慣病検診事業

- ・小児期における次の生活習慣病対策を実施する。
 - (ア) 定期健康診断の結果から肥満度を測定し、軽中高度の肥満児童生徒希望者に「すこやかノート」を使用して保健指導を行う。
 - (イ) 小4から小6までの希望者で7月下旬にサマースクールを実施する。生活習慣病予防対策として、食事指導、栄養指導、保健指導、運動指導、健康相談を行う。
 - (ウ) 小4児童で希望者を対象とした、生活習慣病健診を実施する。判定結果がⅠ 要医学的管理、Ⅱ 要経過観察、Ⅲ 要生活指導のいずれかであった児童で保健指導を行っていない児童には、改めて保健指導の希望の有無を確認し、希望があれば、保健指導を行う。
 - (エ) 市内幼稚園・保育所等に在園児の肥満度調査を行い、市内における経年の肥満状況を把握し、予防対策等を検討する。

③薬物乱用防止教育の充実

- ・国の第五次薬物乱用防止五か年戦略の中で、全ての中学校で年1回以上薬物乱用防止教室を開催する。
- ・薬物乱用防止のための啓発活動として、薬物乱用防止標語を市内小中学校の児童生徒が出品することで、薬物について考える機会をつくる。

④食育の推進

- ・学校給食を活用した食育の推進を図る。6月19日の食育の日及び11月のちばの食育月間の11月19日を「のだの恵みを味わう給食の日」として、市内統一で野田市の特産物を利用した献立の日に指定し、地産地消及び食

育推進について広く市民に周知する。

- ・全小中学校が「食に関する指導の全体計画・年間計画」を作成し、職員の共通理解を図る。
 - ・各小中学校の保健体育の授業において、栄養教諭・学校栄養職員が参加した食に関する学習や授業を行う。
 - ・各校の養護教諭と栄養教諭（学校栄養職員）が連携し、身体測定結果から、現在の給食の給与栄養目標量について検討し、児童生徒の喫食状況を確認しながら前期のご飯の量を調整する。
- ⑤安全安心な給食の提供（食物アレルギー対応及び学校給食施設における衛生管理の指導）
- ・令和4年度に改訂した野田市学校給食食物アレルギー対応マニュアルにより、安全に関する市内統一の対応を行う。オンラインで説明会を開催し全教職員に周知するとともに、ホームページに公開し保護者が閲覧できるようにする。
 - ・衛生管理研究会を市内学校で実施し、衛生管理面の改善を行う。また、納品食材の細菌検査を実施し、業者の衛生管理状況を確認するとともに、給食調理作業の注意喚起を行う。
 - ・令和4年度に改訂した野田市学校給食異物混入防止マニュアルを遵守し、全教職員及び調理従事者で異物混入防止に努めるとともに、異物混入が確認された場合の対応と連絡体制を整える。
- ⑥給食費滞納の解消（児童手当の活用等）
- ・安全安心な給食の提供と給食費を納入することを相互に約束し、給食費徴収の公平性を保護者に周知する。
 - ・未納者への督促として、各学校等と連携しながら、督促文書の発送及び臨戸徴収等により未納者の実態把握に努め、納入を依頼している。
 - ・保護者から児童手当申出書の提出を受け、市で支給する児童手当から、直接、給食費として徴収する。
 - ・滞納抑止効果及び未収金の回収を効率的に行うため、高額滞納者の一部の督促を法律事務所に委託する。
- ⑦給食費の保護者負担軽減策（第3子以降の学校給食費無償化事業及び野田産米補助事業）
- ・学校給食費の食材に係る費用は保護者負担を原則としつつも、多子世帯の子育てに対する経済的負担の軽減を図るため、第3子以降の義務教育期間における学校給食費について、千葉県が創設した公立学校給食費無償化支援事業を活用し、市立小中学校の学校給食費を無償化する。
 - ・地産地消の推進と子供たちの郷土意識の育成や地元の農業振興にもつなげるため、学校給食に野田産米を使用し、平成13年度からその購入費の一部を市が補助することで保護者負担を軽減してきたが、野田産米購入費を市が全額負担することで、更なる保護者負担の軽減と食材の安定的な確保と給食水準の維持向上を図る。
- ⑧学校給食施設の老朽化対策
- ・経年による老朽化の進行が特に著しい野田市学校給食センター、南部小学校及び東部小学校の3施設について、順次整備を進める。
- (ア) 野田市学校給食センターは、給食提供が停止することの無いよう、新たな用地を確保し整備する。令和5年度及び6年度に建替え用地の取得を

進める。

(イ) 東部小学校は、東部中学校を親校、東部小学校を子校とする親子方式を整備する。令和5年度は東部小学校、東部中学校の改修設計を行う。

(3) 安全安心な学校(園)づくり

①教職員による不祥事根絶への取組

- ・モラールアップ代表者会議の開催

校長会代表2名、教頭会代表2名、教務主任部会代表1名、生徒指導連絡協議会代表1名、各校から選出されたモラールアップ委員会の代表者により、各校の不祥事根絶及びモラールアップ研修についての実践報告を行い、研修が一層充実するよう情報交換を行う。また、モラールアップ代表者会議の委員から1名が市の代表として東葛飾地区モラールアッププロジェクト委員会の会議に参加し、他市の活動等と比較、検討、情報交換を行う。

- ・不祥事根絶研修への積極的な参加

学校教育課による不祥事の原因分析及び防止対策を基に、映像を含む研修資料を各校に配付し、管理主事を講師として不祥事根絶研修を実施する。

- ・校長会(臨時校長会を含む)、教頭会での指導

学校教育部長及び学校教育課長から校長会・教頭会で、不祥事根絶のための注意喚起を行う。

②いじめ・虐待防止に向けた教職員の研修等の充実

- ・校長会及び教頭会、小中合同研修会において、いじめや虐待案件に対する対応についての研修の充実を図る。

③特別支援学級・通級指導教室の充実

- ・児童生徒のニーズに合わせた対応が可能となるよう、特別支援学級及び通級指導教室を開設する。

④児童生徒支援員(特別支援学級)の配置事業

- ・特別支援学級に就学している児童生徒一人一人の状況に合わせ、きめ細かな指導を行うため、学級担任の補助を行う児童生徒支援員(特別支援学級)を配置する。特に、一部の教科の授業を通常学級で受ける際(通常学級との交流)など、担任だけでは対応できない場面で効果的に活用する。

⑤児童生徒支援員(通常学級)の配置事業

- ・通常学級に在籍している特に配慮の必要な児童生徒への支援を学習・生活面できめ細かく行う。また、要配慮児童生徒への対応を学級担任一人で対応すると、授業の遅れが生じたり、他の児童生徒への危険が生じたりすることがあり、学級生活、授業規律の確保及び他の児童生徒の安全確保の点からも、児童生徒支援員(通常学級)の配置を効果的に活用する。

⑥要・準要保護及び特別支援学級児童生徒への就学援助等事業

- ・経済的な理由により学用品費や給食費等の支払が困難な家庭に援助を実施する。

⑦野田幼稚園の3年保育の実施、インクルーシブ教育の導入、又は統廃合を含めた公立幼稚園の在り方の検討

- ・学校教育課が所管している幼稚園の事務の一部を子ども保育課に移管し、施設利用や補助制度の窓口を一本化することで市民の手続等に係る利便性向上を図る。

(4) 業務改善

①学級事務支援員の配置事業

- ・授業時間数の増加や保護者のニーズの多様化により、学校の教員の多忙化は年々厳しい状況にあり、教員の時間外勤務時間の増加が問題視されている。そのような状況を受け、教員の事務負担の軽減と、教員が子供と向き合う時間を確保するため、教員が行う事務を補助する「学級事務支援員」を配置する。

②労働安全衛生管理体制の充実

- ・年2回、労働安全衛生委員会を開催し、労働安全衛生に関する研修や各学校で取り組んでいる労働安全衛生に関する内容について情報交換を行っている。また、ストレスチェック結果の集団分析について、集団分析の見方や活用方法等の研修を行う。
- ・メンタルヘルスの不調を未然に防ぐ一次予防を目的として県費職員に対するストレスチェックを実施する。

③学校組織の時間管理の取組

- ・教育委員会は、各学校に出退勤ソフトを配布し、教職員の勤務時間の管理を指導する。
- ・学校は、時間外勤務の状況を把握し、時間外超過の職員が出ないように取り組む。また、時間外超過の職員の状況や指導の内容等を教育委員会に報告させる。
- ・11月を多忙化解消月間として、市内学校で時間外勤務の縮減に取り組む。
- ・夏季休業中における閉庁日を設定する。
- ・部活動ガイドラインに基づいて、部活動を実施する。
- ・打刻アプリによる出退勤システムを実施する。

(5) 生物多様性自然再生の取組

①学校給食における黒酢米（減農薬・減化学肥料）の啓発事業

- ・保護者対象の試食会を開催する市内全小学校（一部の中学校）の全体説明会において、黒酢米・江川米に関するクイズ大会を実施し、参加人数に応じて黒酢米の試食品をプレゼントするとともに、参加者全員に玄米黒酢農法のパンフレット及びゆめめぐり野田の案内チラシを配付する。また、各校の献立表や食育便り等で、学校給食に黒酢米・江川を使用していることについて周知する。

◎指導課

重点目標

- (1) 確かな学力の向上
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) ICT 活用の推進
- (5) いじめ・虐待防止対策の推進
- (6) 安全安心な学校づくり
- (7) 地域との連携の推進

具体的施策

- (1) 確かな学力の向上
 - ①ユニバーサルデザインの視点を持った授業展開
 - ・授業の中で、ユニバーサルデザインの視点である情報提示、環境整備、学級集団づくりを基に、個に応じた支援の手立てが学級全体に効果のあるものとして保障されることを目指し、全ての児童生徒にとって分かる授業づくりを進める。
 - ②個に応じた特別支援教育の推進
 - ・必要に応じて個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成と活用を図る。切れ目のない支援体制づくり、多様な学びの場の提供、特別な教育的ニーズに応じた丁寧な就学相談を行うとともに交流及び共同学習の推進を図る。
 - ③主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善に向け、教職員の指導力向上と授業改善を図るために研究指定校を中心に主体的研究・研修を推進する。
 - ④家庭学習を含めた学習習慣の定着
 - ・自ら課題を発見し、その課題を主体的に追求することができる児童生徒の育成を目指す。
 - ⑤幼保こ小及び小・中学校連携の推進
 - ・幼稚園・保育所・認定こども園・小学校・中学校の連携の具体化を図るとともに、小・中学校の異校種間交流を通じた、より一貫した指導の充実に努める。
 - ⑥土曜授業の在り方についての検討と土曜日の効果的活用の促進
 - ・今後の土曜授業の在り方について、土曜授業検討委員会による検討を行う。
 - ・市内全ての児童生徒に、ゆとりのある教育活動の中で、きめ細かな指導を伴う学習機会を提供する。土曜授業を創意工夫することにより、特色ある学校づくりを目指すとともに、有意義で規則正しい学校生活を通じて、児童生徒の生活改善を行う。
 - ⑦読書・学習・情報センターとしての学校図書館の積極的活用と興風図書館等との連携
 - ・興風図書館、学校図書館支援員及び地域教育コーディネーター等との連携の下に、学校図書館の環境面における充実化を図る。様々な教科において調べたり、知識理解を深めたりする場として学校図書館の活用を推進する。
また、興風図書館等と団体貸出しや図書館を使った調べる学習コンクール等における利用に基づく連携により、児童生徒の読書活動の推進を図る。
 - ⑧野田市英語教育推進プロジェクトの充実

- ・小中合同研修事業－学習指導要領に対応した小学校教員・中学校教員向けの研修を実施し、教員の外国語教育指導力の向上を図る。
- ・中学校教員研修事業－学習指導要領に対応した中学校英語科教員向けの研修を実施し、教員の外国語教育指導力の向上を図る。
- ・小学校異国文化体験事業－外部の外国語指導助手（ALT）による出身国の文化の紹介や児童との交流を通して、児童が外国と日本の共通点や違いを認識し、異文化理解を深める。市内3校で実施。

⑨学習指導要領の深化

- ・小学校で必修となるプログラミング教育の授業に対応するために、活用できる教材について教職員に周知する。
- ・GIGA スクール構想の実現に向けて、教職員に向けて Chromebook の使用方法ならびに活用方法の研修を進める。

(2) 豊かな心の育成

①道徳科の授業を要とした道徳教育の推進

- ・「特別の教科 道徳」の実施－週1回行われている道徳の授業の中で、「命の尊さ」「公正、公平、社会正義」「個性の伸長」「国際理解、国際親善」など小学校19から22、中学校22の内容項目に関わる授業を実施する。
- ・道徳教育の推進－学校教育全般において、自分を大切にすることや他人を尊重することを繰り返し指導し、差別や偏見がなく、思いやりをもった児童生徒を育成する。

②国や郷土の伝統や文化、生物多様性を学ぶ機会の充実

- ・道徳科の内容項目の一つとして、あるいは社会科や生活科、総合的な学習の時間の伝統行事や郷土芸能に関する学習において、伝統や文化を尊重する態度を養う。

主に理科や生活科の生物の単元において、生物多様性について学ぶ機会を設ける。

③学校支援地域本部事業の機能を活かした、郷土の偉人に関する資料の充実

- ・地域教育コーディネーターを活用し、郷土の偉人に関する資料等の情報収集を行う。

④豊かな人間関係づくりを核にした学級経営の充実

- ・特別活動の年間計画に位置付け、豊かな人間関係づくり実践プログラムの実践を通して、発達段階に応じた人間関係づくりに必要な基本的な力を身に付けさせ、周りの立場になって考察する「思いやり」の心を育むことを推進する。
- ・毎日の帰りの会等での話し合い活動を通して、一人一人に自己存在感を感じさせつながりのある人間関係を形成する。

⑤学校人権教育の推進

- ・児童生徒の発達段階に応じて人権尊重の教育を多面的・多角的に行う。
- ・いじめや不登校などの解決を図るための相談体制を充実させる。
- ・教職員の人権意識を高揚させ、人権教育における指導者を育成する。

(3) 健やかな体の育成

①体育科授業を核にした体力向上と健康の保持増進

- ・校内研修会での指導助言を通して、体力向上につながる授業の改善を図る。小中学校体育連盟の研修会において、より効果的な指導方法を学び、指導力の向上に努める。

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査のデータを基に、野田市の児童生徒の実態を把握し、野田市教育研究会・体育主任研修会を通して、体力向上及び生活習慣の育成について、周知を図る。

②規則正しい生活習慣の確立

- ・望ましい生活習慣について、運動、食事、睡眠から考え、基本的な生活習慣が身に付くように、学校・家庭で「早寝早起き朝ごはん」を推奨する。

③食育の推進

- ・栄養教諭・学校栄養職員による食に関する授業の推進を図る。
- ・学校便りや給食便り等の活用を推進し、家庭への啓発を促す。
- ・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」や、「学校給食実施状況調査」「食生活アンケート」による朝食摂取の分析を行う。

(4) ICT 活用の推進

①ICT の有効活用に向けた環境整備の推進

- ・1人1台端末の整備や通信ネットワークの強化・改善、遠隔学習用周辺機器の配置、充電保管庫の設置などを実施し、GIGA スクール構想の実現に向けて環境整備を行う。

②1人1台端末を有効に活用した授業改善

- ・GIGA スクール構想の実現に向けて、本市が独自で取り組んでいる NICT（ニクティ）プロジェクトを中心に、教職員の ICT 活用能力育成と児童生徒の活用を進める。

③ICT の活用による教職員の業務改善

- ・校務支援システムの活用や GIGA スクール構想により使用できるようになった機能を積極的に活用することで、業務改善を図る。

④ICT を活用した小中連携、学校支援地域本部事業の推進

- ・NICT（ニクティ）プロジェクトの一環として、小中学校や東京理科大学等と連携をして、情報交換や研修、授業支援を行う。

(5) いじめ・虐待防止対策の推進

①子ども家庭総合支援課との連携強化

- ・学校や保護者、地域等から虐待やいじめ等の情報に対して、指導課と子ども家庭総合支援課と連携をし、未然防止及び早期発見・早期解決につなげる。

②児童虐待防止対応マニュアルの見直しと研修の促進

- ・子供をあらゆる虐待から守るために、本市の学校における児童虐待への対応力と関係機関との連携力を強化する。

③教育委員会アドバイザー、スクールロイヤー、スクールアドバイザーを活用した法的マインドの醸成

- ・教育委員会アドバイザー及びスクールロイヤー、スクールアドバイザーを設置し、保護者に対する法的マインドでの対応を目的とする。

(6) 安全安心な学校づくり

①各種マニュアルの見直し

- ・学校安全計画、危機管理マニュアル、安全マップの見直しと防災教育の充実及び児童生徒を交通事故から守るために、関係機関、団体等が連携した通学時の安全対策を総合的に推進するなど、交通事故の防止を図り、安全安心な学校づくりを進める。

②相談しやすい各種教育相談体制の構築

- ・切れ目のない支援体制作り、多様な学びの場の提供—特別支援学級と通常学級や小・中学校と特別支援学校との交流及び共同学習の推進を図る。スクールカウンセラーやひばり教育相談、子どもの発達相談室、福祉・医療関係機関等との連携や協力による望ましい教育的支援を実施する。幼稚園・保育所・認定こども園・小学校・中学校の連携、小・中学校の異校種間交流を通じたより一貫した指導の充実に努める。
- ・特別な教育的ニーズに応じた丁寧な就学相談—子供たちの就学に関し、一人一人の発達や心身の状態に応じて、もっている力を十分に伸ばすための配慮や支援、適切な教育の場について、丁寧に相談を行う。

③長欠・不登校児童生徒への組織的な支援

- ・個々の児童生徒の成長や発達を支援する観点を持ち、担任一人が抱え込むことがないように、校内では校長のリーダーシップの下、教頭、長欠担当者、教育相談担当者、学級担任、生徒指導主任、学年主任、養護教諭がチームとして対応していく。ケース会議を開き、校内だけでは対応が難しい場合、その対応にひばり教育相談、訪問相談担当教員等の外部機関や、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等につなぎ、協働体制をとって支援する。
- ・ひばり教育相談において、児童生徒・保護者・教員を対象に教育相談や学校への入口の支援を行い、市内小中学校の長欠・不登校児童生徒へ働きかける。

ひばり教育相談と小中学校教職員、県スクールカウンセラーが連携し、不登校児童生徒が社会的自立に向かうよう支援を行う。小中学校教職員が、研修や市カウンセラーの助言を通して、長欠・不登校児童生徒に対する適切な支援方法を身に付け、実践することにより、長欠・不登校の未然防止や解決を図る。教育支援センターひばりにおいて、学習支援や集団活動を通して不登校児童生徒の自信の回復を図り、学校復帰や社会的自立に向かうよう支援を行う。

④ガイドラインに則った効果的な部活動指導

- ・運用状況調査をおこない、部活動ガイドラインの活用状況を把握し、児童生徒にとって喜びを味わわせ、豊かな人間関係を築き上げるとともに、顧問教員が一層のやりがいを感じ、家庭や地域社会から信頼される指導を展開していけるよう改善を図る。

(7) 地域との連携の推進

①学校支援地域本部事業、東京理科大学とのパートナーシップ協定事業の推進

- ・学校支援地域本部事業—市内 11 中学校区ごとに設置した学校支援地域本部を中心に、学校のニーズに応じ、学校とボランティアとの連絡調整をする地域教育コーディネーターを配置するとともに、中学校区全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する。
- ・東京理科大学とのパートナーシップ協定事業—野田市の子供たちの「確かな学力」の基礎となる興味関心の向上及びそのための教員の資質・能力の向上を図る。

②キャリア教育の推進

- ・児童生徒が働くことの喜びや大切さを学ぶことを通して、望ましい勤労観、職業観を身に付けさせるとともに、社会の規律やマナーを学ぶ。

③地域人材・地域資源の活用

- ・地域の優れた人材の持つ教育力を積極的に活用し、特色ある教育活動を展開する。また、武道指導を通して、より安全で充実した授業を展開する中で伝統的な活動や礼儀作法等を身に付けさせ、人間性豊かな生徒の育成を図る。さらに、小学校外国語活動を通して、児童の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、外国の文化や習慣を学ぶ機会を設ける。

④生物多様性自然再生などの環境教育の推進

- ・環境教育の推進－児童生徒が自然と関わり、生き物とのつながりを意識し、生き物に積極的に関わっていくことができるようになることを目指して、野田市を身近なものとして紹介する。
- ・小中学校理科副教本の活用－自然観察学習等において「しらべてみよう野田の自然」を積極的に活用し、野田の自然について実感を伴った理解の促進を図る。

⑤コミュニティ・スクール導入に向けた準備

- ・「社会に開かれた教育課程の実現」のために、「地域とともにある学校づくり」を更に推進する。

生涯學習

I 令和4年度事業報告・施設等利用状況

教 育 総 務 課

1 学校施設のトイレ改修工事等の実施

学校施設のトイレ改修は、平成15年度からトイレ1か所につき1個ずつ洋式化を進め、平成30年度をもって当初の計画は完了しました。令和元年度からは、次の洋式化計画として女子トイレの洋式化率70%を目標としていましたが、洋式化率の更なる向上を図り、児童生徒用トイレの洋式化率100%を目標に実施しています。

令和4年度は、トイレ計画に基づき、柳沢小学校、東部小学校、岩木小学校、七光台小学校、山崎小学校のトイレ改修工事を実施するとともに、木間ヶ瀬小学校、二ツ塚小学校、宮崎小学校、川間小学校のトイレ改修設計を実施しました。

なお、トイレ改修設計を実施した尾崎小学校と二ツ塚小学校、木間ヶ瀬小学校、関宿中央小学校、について、令和4年度の国の学校施設環境改善交付金が採択されたことから、令和4年度予算に前倒し計上し、令和5年度に繰り越しました。

2 学校施設改修工事等の実施

学校からの要望、保守点検の結果等を受け、早急な対応が必要な学校施設・設備の改修工事を実施しており、小学校では関宿中央小学校の屋内運動場屋根他改修工事他19件、中学校では木間ヶ瀬中学校の特別教室棟屋上防水改修工事他17件、幼稚園では野田幼稚園他1園の扇風機交換工事他2件を実施しました。

3 北部中学校施設改修事業

北部中学校の給水設備の老朽化が進み、受水槽や高架水槽に腐食や劣化が見られ、特に高架水槽の架台の腐食が激しく撤去が必要な状態であったことから、水道直結増圧給水方式に改修して既存の受水槽や高架水槽等は撤去することとしました。

令和4年度は、令和3年度に行った実施設計業務に基づき、給水設備改修工事を実施しました。

4 給食室修繕工事の実施

市内18校の自校式給食室で異物混入の恐れがある箇所について、学校教育課と現地調査を実施し、児童生徒の健康被害等を未然に防ぐために、修繕工事を実施しました。

5 立木伐採等委託業務の実施

小中学校・幼稚園の敷地内に植栽されている樹木について、一部の枯木や高木が近隣の民地や道路に越境して通行の妨げや、学校施設等に損傷を与える事故を防ぐことなど、児童生徒の安全安心を確保するため、学校と協議し事業を進めています。令和4年度は、小学校で11校、中学校で5校、幼稚園1園の枯れ枝や高木の剪定、枯木の伐採等を行いました。

6 障がいのある児童・生徒に対応するための施設改修事業

(1) 宮崎小学校段手摺端部補強修繕工事

校舎の階段に設置されている手摺の修繕を行い、機能の回復を図りました。

(2) 柳沢小学校階段手摺修繕工事

校舎の階段に設置されている手摺の修繕を行い、機能の回復を図りました。

(3) 木間ヶ瀬小学校階段手摺設置工事

校舎の階段に手摺の取付けを行い、利便性の向上を図りました。

(4) 野田第一中学校トイレ改修工事

和便器を改修し洋便器2台を設置しました。

(5) 東部中学校階段手摺修繕工事

校舎の階段に設置されている手摺の修繕を行い、機能の回復を図りました。

(6) 南部中学校トイレ手摺設置工事

トイレに手摺の取付けを行い、利便性の向上を図りました。

生 涯 学 習 課

1 人権学習講座

社会人権を広く啓発することを目的として、公民館と連携し、身近な人権問題を学習テーマとした人権学習講座を実施しました。

事業名	実施期間	会 場	延べ受講者数
市民セミナー・人権コース※	12月(3回)	川間公民館	49人

※ 公民館事業に再掲(市民セミナー「現代社会のトピックス～身近なこと、知ってみませんか～」)

2 成人式

「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」ことを目的に、例年、文化会館において成人式を開催しています。新成人による実行委員会を組織し、実行委員が式典の運営企画、進行を行っています。

民法の一部改正により成年年齢が引き下げられましたが、式典の名称を「野田市成人式～二十歳の集い～」とし、20歳となる方を対象に成人式を開催しました。

実施日	会 場	対象者数	出席者数(出席率)
1月9日	文化会館	1,548人	1,048人(67.7%)

3 生涯学習ボランティア養成講座

生涯学習の一環として、また、シニア世代の生きがいづくりや定年退職後の地域活動参加へのきっかけづくり、人づくりを目的として、自分の学んだ知識や技術を地域社会に役立てる「生涯学習ボランティア」の養成講座を実施しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から養成講座の実施は見送りました。

4 生涯学習相談

多様化した市民の学習要求に対応するため、生涯学習支援事業として、生涯学習課、各公民館及び生涯学習センターにおいて生涯学習相談窓口を開設し、年間386件の相談があり、学習機会や団体・グループ等の生涯学習情報を提供しました。

生涯学習相談の内訳

相談の形態			相談の内容※複数の項目にわたる相談あり				
面 談	電 話	メール・その他	講座・講演会	施 設	団体・グループ	人材・指導者	その他
210件	168件	0件	70件	105件	199件	11件	1件

5 生涯学習コミュニティ広報の発行

多様化した市民の学習要求に対応し、市内の生涯学習に関する様々な情報をタイムリーに市民に周知するため、生涯学習コミュニティ広報を年間9回発行しました。

6 美術展示の実施

市民が芸術に触れあう機会を作り、文化の向上を図ることを目的として、野田美術会の協力を得て、絵画の創作活動に励んでいる市民画家の優れた10作品を市役所に展示しました。

7 野田市文化祭の実施

市民の文化・芸術活動の奨励及び生涯学習の振興を目的として野田市文化祭実行委員会を組織し、野田市文化祭を開催しました。

- ・ 舞台発表の部 実施日 11月3・5・6・12・13日
会 場 文化会館大ホール、櫂のホール小ホール

- ・作品展示の部 実施日 11月4・5・6日
会 場 興風会館、中央公民館、総合福祉会館、市役所
 - ・各種行事の部 実施日 9月30日～3月20日
会 場 市役所、中央公民館、文化会館 他
- 延べ参加者数 15,500人（出演81団体、出品704点、行事17件）

8 視聴覚教材ライブラリー利用状況

貸出件数（機材）

- ・16ミリ映写機 0件
- ・スクリーン 46件
- ・プロジェクター 89件
- ・スピーカー 0件
- ・ビジュアルプレゼンター 0件

貸出件数（教材）

- ・16ミリ映画フィルム 0件
- ・VHS（社会人権教育） 2件
- ・VHS（アニメ） 3件
- ・VHS（自作教材） 3件
- ・DVD（社会人権教育） 3件
- ・DVD（アニメ） 8件
- ・DVD（社会一般） 0件
- ・Blu-ray（社会一般） 0件

9 集会所利用状況

	七光台集会所	島集会所	親野井次木集会所	西町集会所
利用回数	155回	120回	461回	75回
延べ利用者数	1,739人	1,311人	3,574人	547人

10 子ども未来教室事業

基礎学力の向上や学習習慣の定着、学習に対する興味関心を高めるため、小学校3年生及び中学生のうち希望する全児童・生徒を対象に「子ども未来教室」を開設し、学習支援を実施しました。

なお、令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、一部休講期間が生じましたが、家庭学習用のプリントを配付し、添削した後に返却する方式で実施しました。

区 分	開催回数（平均）	受講登録者数	延べ受講登録者数	延べ出席者数
小学校3年生	11回	340人	3,515人	3,325人
中学校1年生	38	144	5,524	3,096
中学校2年生	38	108	4,102	2,791
中学校3年生	38	86	3,216	1,737

※ 学校行事、新型コロナウイルス感染症対策等により、会場毎に開催回数が異なります。

※ 受講登録者数は、令和5年3月末時点の人数です。

11 公民館長との懇談会

児童虐待事件に係る再発防止策の一つとして、虐待情報を積極的に収集するため、公民館と地域の関わりが少ない公民館で公民館長が地域の自治会長等と毎月1回、懇談会を開催するものです。

なお、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため一部開催を中止しました。

12 文化会館委託文化事業

令和4年度の委託事業は、令和3年7月1日から令和4年9月30日まで文化会館を新型コロナウイルス感染症ワクチン集団接種会場として使用していましたが、10月から再開し、3件の委託文化事業を実施しました。

No	月 日	事業名	入場者数(人)
1	10月13日	よしもとお笑いライブ in 野田 2022～秋の野田市に爆笑の渦が巻き起こる！	1,064
2	2月19日	令和4年度宝くじ文化公演 AROUND40 MEMORY CONCERT ～FOREVER～ 辛島美登里 中西保志 澤田知可子 中西圭三	954

3	3月19日	ミュージックフェスタ 2023	1,144
入場者合計			3,162

利用状況

施設名	開館日数(日)	利用件数(件)	利用者数(人)
文化会館(大ホール)	153	97	59,027
櫂のホール(小ホール)	312	113	13,625
勤労青少年ホーム	293	1,586	16,886

※文化会館(大ホール)は、9月30日まで新型コロナウイルスワクチン接種会場となったため、10-3月の利用状況を記載しております。

13 文化財保護

郷土の歴史・文化的資源の適切な保護と活用を図り、市民に文化財や野田市の歴史に興味を持ってもらえるように努めました。

(1) 出土文化財の展示・公開

小学校を主とした公共性の高い施設に展示ケースを設置し、発掘調査により出土した地域の文化財を展示・公開することにより、郷土愛を育むことができました。

北部小学校 他小学校 14校・櫂のホール・南部梅郷公民館に継続設置

(2) 文化財出前授業

多くの児童に文化財や野田市の歴史に興味を持ってもらうために、学芸員が小学校に出向いて文化財についての正しい知識や野田市の歴史についての説明を行う出前授業を実施しました。令和4年度は、小学校14校の30学級で実施し、838人の児童が参加しました。

(3) 講師派遣

市民団体や公民館等からの要望に応え、講座や施設見学6件について学芸員を派遣し、市民の学習活動の援助をすることができました。

(4) 解説板及び案内板の改修

市民の文化財散策のサポートを目的として設置している市指定史跡「岩名古墳」の解説看板及び「鈴木貫太郎記念館」案内板が劣化したことから改修を行ないました。

14 発掘調査

市内で行われた開発行為等の土地の現状を変更する行為について、埋蔵文化財の保護の観点から、これらの事業との調整及び発掘調査その他の措置を講じ、保護に万全を尽くしました。

(1) 開発行為等との調整

①埋蔵文化財の取扱いについての協議

協議件数 101件 延べ面積 700,315.06㎡

②土木工事等に関わる調査一覧

遺跡名	所在地	種別
さくらだい 桜台遺跡(第9次)	野田市桜台字原ノ内191-1	確認調査
かみほなわ 上花輪貝塚(第2次)	野田市上花輪字坊山840	確認調査
どうやま 堂山貝塚(第3次)	野田市谷津字向250ほか	確認調査
むかいほらだいに 向原第2遺跡(第4次)	野田市吉春字向原204-1	確認調査
さくらだい 桜台遺跡(第10次)	野田市桜台字原ノ内191-16	確認調査
いわなかく 岩名作遺跡(第11次)	野田市清水字馬作871-1の一部	確認調査
のまごめのまどて 野馬込野馬土堤(第4次)	野田市花井新田字野馬込63-1ほか	確認調査

いわなさく 岩名作遺跡 (第 11 次)	野田市清水字馬作 871-1 の一部	本調査
しみず ぼつくり 清水馬 作 遺跡	野田市清水字沼端 826-4 ほか	確認調査
うめ だい 梅の台遺跡 (第 3 次)	野田市山崎字梅台 947-3	確認調査
のまごめ の まどて 野馬込野馬土堤 (第 5 次)	野田市堤根新田 84 番 5	確認調査
みなみ の まえ 南ノ前遺跡 (第 3 次)	野田市五木字南ノ前 45-4 ほか	確認調査
さくらだいたかさき け まえ 桜台高崎家前遺跡 (第 2 次)	野田市桜台字往還西通 41-4 ほか	確認調査
やまさきかみじゆく 山崎上宿遺跡 (第 2 次)	野田市山崎字上宿 1647-16 ほか	確認・本調査
みなみ お お わだ 南大和田遺跡 (第 25 次)	野田市山崎字南大和田 1233-1 ほか	確認調査
みなみ お お わだ 南大和田遺跡 (第 26 次)	野田市山崎字南大和田 1240-5	確認調査
こざく 小作遺跡 (第 5 次)	野田市尾崎字小作 1081 ほか	確認調査
こざく 小作遺跡 (第 6 次)	野田市尾崎字小作 1088-1 ほか	確認調査
かみ の まごめ 上野馬込遺跡 (第 16 次)	野田市花井新田字上野馬込 88	確認調査

(2) 報告書の刊行

埋蔵文化財を適切に保護し、その資料を得るための発掘調査のうち、令和 3 年度に調査を実施した 12 遺跡 14 地点及び岩名作遺跡(第 10 次)本調査について、それぞれ報告書を刊行し、記録及び成果を公開しました。

令和 4 年度 市内遺跡発掘調査報告

野田市埋蔵文化財発掘調査報告書 第 51 冊 岩名作遺跡－第 10 次調査－

15 民俗文化財

多くの人々が郷土の文化に親しみ、郷土に対する理解を深めることができるように、民俗芸能の発表の機会の確保や広報活動の推進等を行い、保持者、保持団体、後継者等の育成に努めました。

(1) 野田市民俗芸能保持団体育成事業

市内に伝わる民俗芸能の保存・継承を図ること、また、多くの人々が郷土の文化に親しみ、郷土に対する理解を深めることを目的に、野田市民俗芸能連絡協議会加盟団体と団体が指導する小中学校の児童生徒に活動成果を披露する場を提供しています。

令和 4 年度は、野田市民俗芸能協議会加盟団体の活動状況から、規模を縮小し 3 年振りとなる「野田市民俗芸能のつどい」を開催しました。

16 博物館事業等

1) 郷土博物館

郷土博物館は、市民会館と一体的に指定管理者制度を導入し、市民の文化的意識の向上を図るため、郷土や醤油に関する資料の収集、整理保管及び調査研究、常設展及び企画展の開催、講座の開催など施設の管理運営を適切に実施するとともに、市民の自主的な学習及び調査研究を支援しました。

令和 4 年度の事業概要は、次のとおりです。なお、令和 4 年度は、銅板葺屋根の改修工事に伴い令和 4 年 9 月 20 日から令和 5 年 3 月 31 日まで臨時休館し、併せて常設展示のリニューアルを実施しました。

(1) 特別展

令和 4 年度は、屋根の改修工事に伴い実施しませんでした。

(2) 企画展

展覧会名	開催期間（開催日数）	延べ入館者数（人）
市民コレクション展 「刀百姿—彩褪せぬ日本刀の燦—」	4月9日 ～ 5月29日（40日）	5,620
「見て、見て、ハッケン！野田の歴史～考古資料・鈴木貫太郎資料・新収蔵資料から～」	6月11日 ～ 9月19日（87日）	5,266

(3) 講座・教室

① 企画展関連事業

・企画展「刀百姿展」

講座・教室名	講師名	回数（回）	延べ受講者数（人）
刀剣なんでも相談会！	（案内）野田市美術 刀剣会会員	2	14
日本刀を持ってみよう！	野田市美術刀剣会会員	2	30
刀剣基礎講座	野田市美術刀剣会会員	2	29

② 子ども、親子を対象とした講座

講座・教室名	講師名	回数（回）	延べ受講者数（人）
子ども体験教室 古代のアクセサリー・勾玉をつくろう！	郷土博物館学芸員	2	13
土器の模様で自分だけのしおりをつくろう！	郷土博物館 学芸員、事務員	2	9
土器片のスケッチを体験してみよう！	—	随時	33

2) 鈴木貫太郎記念館

終戦時の内閣総理大臣として活躍した鈴木貫太郎翁に関する資料の収集、整理保管及び調査研究、企画展や常設展の展示替えなどを行い、その生涯と功績について広く紹介しています。

令和元年度の台風19号の影響により令和元年10月14日から臨時休館しており、令和2年度は、再開に向け、記念館の耐震診断を実施しました。その結果、コンクリートの強度が著しく低く、補強が困難であると診断されたため、記念館の再建に向けた準備を進めています。

令和4年度は、第1回鈴木貫太郎記念館建設準備委員会を開催し、再建に向け基本構想を策定するため、課題の整理を実施しました。同時に、鈴木貫太郎記念館の再建に向けて、令和4年度は油絵のうち、鈴木貫太郎肖像画、鈴木由哲肖像、鈴木きよ肖像の修復を実施しました。

また、郷土博物館で開催された企画展（「市民コレクション展」及び「見て、見て、ハッケン！野田の歴史」）に出張展示を実施しました。

現在の鈴木貫太郎記念館では、映像資料の放映と、敷地内の貫太郎翁関係史跡の見学、副館長による解説を行っています。

3) 利用状況

施設名	開館日数	延べ入館者数		
		一般（人）	団体（人）	合計（人）
郷土博物館	132日	10,821	42	10,863
鈴木貫太郎記念館	—	1,340	56	※ 1,396
旧花野井家住宅	198日	2,597	22	2,918

※令和4年度の入館者数は、敷地内施設の見学者数です。

17 公民館及び生涯学習センター事業

公民館は、地域の実情・ニーズに対応しながら、実際の生活に即した教育、学術及び文化に関する各種事業を実施・支援することにより、地域住民の学びを通じた人づくりの場として、コミュニティの醸成や地域の担い手づくりに大きな役割を果たしました。

また、生涯学習センターにおいても、各種事業を実施し、市民の生涯学習の推進、生活文化の向上及び福祉の増進に努めました。

それぞれの施設において実施する主催講座等では、地域住民一人一人が学習活動や地域づくりの主体であることを念頭に置き、多様な価値観や地域住民相互の学び合いを尊重する事業を展開しました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、一部講座の中止や縮小をしました。

【公民館及び生涯学習センター主催講座】

(1) 家庭教育事業

① 家庭教育学級・幼児コース

2～5歳の保護者を対象に、講話や実技を通じ、幼児の成長段階について理解を深めていただきました。

2コース 13回 延べ受講者数 190人

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、一部中止

② 家庭教育学級・小学コース

小学生の保護者を対象に、家庭教育上必要な知識と技能、心身ともに健全な子育てをするための方法を学んでいただきました。

8コース 27回 延べ受講者数 665人

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、一部中止

③ 就学时健康診断時家庭教育講演

小学校新1年生の保護者を対象に、入学前の心得や家庭と学校の役割等について学んでいただきました。

小学校 20校 延べ受講者数 1,042人

④ 出前家庭教育講演

中学生の保護者を対象に、思春期の子どもの心理や親の対応等について学んでいただきました。

中学校 11校 延べ受講者数 1,046人

⑤ すくすくひろば

子育て中の親子の居場所づくりを提供する「公民館に集まろう！みんなのすくすくひろば」を南部梅郷公民館で開設しました。

1コース 6回 延べ参加者数 45人

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、一部中止

(2) 子どもの学び舎 ―夏休み子ども自習教室―

夏休み期間中の小学生の学習習慣の維持を目的に、様々な内容で学習サポートを行いました。

公民館・生涯学習センター6館 26コース 延べ参加者数 439人

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため5館で中止

(3) 市民セミナー

① 「現代社会のトピックス～身近なこと、知ってみませんか～」

犯罪被害者とその家族（交通事故被害者）の人権、インターネットを通じた人権侵害、障がいのある人の人権（障がい者スポーツ）に焦点を当て、日々の暮らしの中で、誰もが人権侵害の被害者にも加害者にもなる可能性があることを理解し、それぞれの現状や事例を「知る」ことにより、人権意識の新たな気づきへとつなげるとともに、市民一人一人が尊重され安心して暮らせる地域社会の実現へ向け考える機会としました。

3回 延べ受講者数 49人

② 「深読み！野田市～もっと知りたいふるさとの魅力～」

野田市の近代産業遺産群を中心とした歴史的建造物、野田自然共生ファームが行う自然再生の取組、鈴木貫太郎翁の顕彰活動と記念館の建設について学び、地域の魅力について理解を深めました。

3回 延べ受講者数 22人

③ 「身近な植物の意外な素顔～植物の基礎知識を学ぼう～」

生物多様性として語られる3つのワード「生態系」、「種」、「遺伝子」の多様性について、今回は様々な植物に焦点をあて、その視点から多くの知識を修得し、生物多様性の重要性を学びました。

3回 延べ受講者数 33人

(4) 各種講座

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、一部中止や規模を縮小して開催

①青少年教育	7講座 (27回)	延べ受講者数	552人
②女性教育	8講座 (31回)	延べ受講者数	494人
③成人教育	46講座 (135回)	延べ受講者数	1,928人
④高齢者教育	14講座 (98回)	延べ受講者数	1,736人

※各種講座のうち (再掲)

生物多様性講座	10講座 (25回)	延べ受講者数	271人
市民提案講座	3講座 (11回)	延べ受講者数	182人
高齢者向けスマホの使い方講座	2講座 (51回)	延べ受講者数	322人

(5) パソコン講座

主に生涯学習センターの情報活用コーナーを会場にパソコン講座を開設し、日常生活に即したテーマにおいて、インターネットやワード、エクセル等の基本操作を学びました。

12講座 (54回) 延べ受講者数 814人

(6) その他

- ①発表会 4回 延べ参加者数 483人
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため一部中止
- ②作品展 12回 延べ参加者数 2,630人
- ③各種行事 6回 延べ参加者数 616人
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため一部中止

公民館及び生涯学習センター利用状況

施設名	主催及び共催		貸 館		計	
	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数
中央公民館	92	2,220人	2,547	57,989人	2,639	60,209人
東部公民館	40	901	1,854	20,532	1,894	21,433
南部梅郷公民館	37	1,449	2,267	23,739	2,304	25,188
北部公民館	52	1,093	1,583	14,907	1,635	16,000
川間公民館	28	882	2,147	18,294	2,175	19,176
福田公民館	39	871	1,271	13,140	1,310	14,011
関宿中央公民館	43	1,718	1,389	14,022	1,432	15,740
関宿公民館	30	458	617	4,919	647	5,377
二川公民館	31	654	904	7,052	935	7,706
木間ヶ瀬公民館	33	1,710	788	10,186	821	11,896
小計	425	11,956	15,367	184,780	15,792	196,736
生涯学習センター※	89	1,342	3,892	43,439	3,981	44,781
合計	514	13,298	19,259	228,219	19,773	241,517

※ 利用者数には、登録を必要とする利用者数及び小ホールの利用者数を含む。

※ 令和元年10月1日に、野田公民館と中央コミュニティ会館を統合して生涯学習センターに改称しています。

登録を必要とする利用状況（再掲）

	施設名	登録者数（延べ登録者数）	延べ利用者数	登録の方法
情報活用コーナー	生涯学習センター	62 (20,939) 人	7,671 人	窓口で随時受付
リフレッシュルーム	生涯学習センター	— (3,933)	—	—
ビデオ編集室	生涯学習センター	— (219)	—	窓口で随時受付

青 少 年 課（令和5年度より生涯学習課に統合）

1 オープンサタデークラブ

(1) 目 的

土曜日に地域の教育力を活用した課外活動を行うことにより、子どもたちに体験を通じて「豊かな人間性の育成と共に規範意識を育む」場を創出するもの。

(2) 実 施 日 第1・第3土曜日

(3) 実施講座

会場名 (30 会場)	講座名 (32 講座)	令和4年度年間集計		
		延べ受講者数 (人)	延べ出席者数(人)	出席率(%)
第一中	柔道	53	30	56.6
清水台小	剣道	329	213	64.7
	スナッグゴルフ	273	224	82.1
	ハワイアンフラ	294	195	66.3
中央小	こっつ子くらぶ	280	158	56.4
	囲碁	229	130	56.8
櫛のホール	茶道	84	66	78.6
柳沢小	パドルテニス	208	127	61.1
宮崎小	バドミントン	676	341	50.4
市民会館	生け花	367	301	82.0
	日本舞踊クラブ	77	58	75.3
東部小	生け花	105	80	76.2
東京理科大学	理科クラブ	—	—	—
南部小	短歌クラブ	36	34	94.4
南部梅郷公民館	茶道	190	149	78.4
みずき小	剣道	298	212	71.1
山崎小	生け花	127	108	85.0
福田第一小	剣道	98	57	58.2
福田第二小	バレーボール	—	—	—
二ツ塚小	絵画教室	530	357	67.4
二ツ塚小	柔道	52	27	51.9
北部小	バレーボール	210	142	67.6
北部公民館	日常のお作法	46	35	76.1
七光台小	テニピン	113	60	53.1
北コミュニティ会館	茶道	221	137	62.0
岩木小	剣道	252	124	49.2

川間小	バドミントン	600	248	41.3
尾崎小	ハワイアンフラ	140	108	77.1
西武台千葉高	ソフトテニス	270	133	49.3
関宿小	ミニバスケットボール	1,229	532	43.3
二川小	剣道	94	61	64.9
	そろばん	179	119	66.5
関根名人記念館	将棋	—	—	—
木間ヶ瀬小	バドミントン	739	360	48.7
関宿中央小	剣道	28	12	42.9
合 計		8,427	4,938	58.6

—は中止となった講座

2 子ども会ジュニアリーダー養成講習会

子ども会のリーダーとして活動するための理論・方法・実技の修得ができました。

期 日 令和4年4月24日から令和5年2月19日まで

会 場 青少年センター他

参加者数 延べ188人

No.	学 習 課 題	講 師
1	子ども会活動のいろいろ	野田市子ども会 育成者・指導者
2	花いっぱい運動参加	
3	共同・個人装備の使い方など（1）	
4	共同・個人装備の使い方など（2）	
5	共同・個人装備の使い方など（3）	
6	開講式、子ども会活動の進め方	
7	ニュースポーツ活動	
8	児童文化活動（1）	
9	児童文化活動（2）	
10	児童文化活動（3）、6年生閉講式準備	
11	児童文化活動（4）、6年生閉講式	

3 各種行事

行 事 名	開 催 日	会 場	対 象	参加者数
青少年柔剣道大会	4月17日	総合公園体育館	小・中学生、高校生、 青年	中 止
子ども釣大会	6月 4日	旧関宿クリーンセンター	小・中学生	
少年野球教室	11月27日	総合公園野球場	小・中学生、指導者	272人
親子映画会	3月 5日	文化会館	親子	約500人

4 補導活動

青少年の非行防止と環境浄化を目的に、通学路や大型店を中心として市内全域で街頭補導を行いました。

(1) 街頭補導実施状況

補導時間帯	回数(回)	従事者数(人)	補導(声かけ)少年数(人)		
			男	女	計
午前(9時～11時)	324	690	0	0	0
午後(2時～5時)	335	735	0	0	0
夜間(6時～9時)	49	49	0	0	0
計	708	1,670	0	0	0

(2) 青少年センター利用状況

主催及び共催		貸 館		計	
回数(回)	利用者(人)	回数(回)	利用者(人)	回数(回)	利用者(人)
389	2,488	137	2,312	526	4,800

5 関宿あおぞら広場利用状況

利用目的	件数(件)	利 用 人 数(人)			
		大 人	小学生以下	中 学 生	計
キ ャ ン プ	837	3,008	568	133	3,709
バ ー ベ キ ュ ー	65	276	86	21	383
グラウンド・ゴルフ	117	2,170	0	0	2,170
会 議	4	35	3	0	38
そ の 他	8	64	9	0	73

興風図書館

1 図書館利用状況

①貸出点数（個人） (点)

区分	令和4年度	令和3年度	対前年度比較
興風	406,562	384,294	22,268
南	220,665	209,550	11,115
北	189,394	184,536	4,858
せきやど	73,922	69,363	4,559
合計	890,543	847,743	42,800

②利用登録者数（個人） (人)

区分	令和4年度	令和3年度	対前年度比較
興風	13,755	14,280	△525
南	7,184	7,396	△212
北	7,809	8,156	△347
せきやど	4,235	4,442	△207
合計	32,983	34,274	△1,291

③予約サービス (件)

区分	件数	受付状況		処理状況（非所蔵分）		
		所蔵	非所蔵	購入	借用、他	提供不可
興風	60,479	57,218	3,261	1,415	1,794	52
南	66,906	64,489	2,417	701	1,676	40
北	65,047	62,058	2,989	886	2,080	23
せきやど	19,382	18,904	478	161	316	1
合計	211,814	202,669	9,145	3,163	5,866	116

④レファレンス（件）

区分	件数
興風	3,733
南	2,751
北	1,768
せきやど	441
合計	8,693

⑤ハンディキャップサービス

登録者	15人
宅送貸出（図書）	1,132点
（CD）	44点
（DVD）	30点
（録音図書類）	29点
郵送貸出（録音図書類）	184点
来館貸出（録音図書類）	0点

2 図書館蔵書状況

①図書資料 (点)

区分	興風	南	北	せきやど	合計
一般書	354,499	64,248	62,050	59,130	539,927
児童書	45,123	19,435	16,483	18,908	99,949
合計	399,622	83,683	78,533	78,038	639,876

②視聴覚資料 (点)

区分	興風	せきやど	合計
CD	12,281	8,565	20,846

③ハンディキャップサービス資料

区分	興風
録音図書	620巻

DVD	1,842	1,483	3,325
ビデオテープ	2,162	1,567	3,729

点字図書	373冊
デージー	226点

3 児童センター蔵書状況

① 図書資料 (点)

一般書	児童書	合計
772	760	1,532

4 読書普及事業の実施状況

事業名	実施日 (実施期間)	会場	回数	参加者数 (配布数)	
ブックスタート	4月～3月	保健センター	24回	配布数 647セット	
		関宿保健センター	12回	配布数 80セット	
		小計	36回	配布数 727セット	
図書館子どもまつり	4月17日	興風図書館	1回	206人	
		南図書館		184人	
		北図書館		137人	
		せきやど図書館		97人	
		小計	1回	624人	
おはなし会等	4月～3月	興風図書館	163回	504人	
		南図書館	100回	184人	
		北図書館	106回	422人	
		せきやど図書館	113回	234人	
		小計	482回	1,344人	
おはなしボランティア研修	中止	興風図書館	—	—	
読書普及事業 (図書館講座等)	4月～3月	興風図書館	8回	486人	
		南図書館	23回	420人	
		北図書館	19回	457人	
		せきやど図書館	15回	412人	
		小計	65回	1,775人	
関宿地区小中学校児童生徒等への読書推進事業	4月～3月	図書貸出	178回 (延訪問校数)	学級文庫支援貸出数	5,006点
				授業支援貸出数	803点
				個人貸出数	110点
		依頼		学校等からの依頼件数	99件

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の読書普及事業を中止しました。

5 コミュニティ会館利用状況

区分	南	北	関宿	合計
利用件数	3,815 件	4,413 件	993 件	9,221 件
利用人数	38,766 人	50,985 人	10,349 人	100,100 人

学校教育

I 令和4年度事業報告

学 校 教 育 課

1 教育環境整備の見直し及び推進

① 学校評議員制度の活用

学校評議員制度により小中学校に計 150 人の学校評議員を配置しました。地域に開かれた学校作りを目指し、学校運営や教育活動に関する事項及び学校と家庭や地域社会との連携に関する事項等について、ご意見をいただき、学校運営に生かしました。

② サポートティーチャー等会計年度任用職員の配置事業

ア 療休等補助教員の配置事業

小中学校の県費負担教職員が、病気・けが・その他の事由で休む場合に、県費負担教職員が補充されるまでの期間又は補充されない場合に、学校運営に支障を来さないよう、療休等補助教員を配置しました。

イ 音楽専科教員の配置事業

12 学級以下の規模の小学校において、県より音楽専科教員の配置が困難な場合に、音楽指導に優れた技能を有する講師を採用し配置しました。担任と講師とのチーム・ティーチングでの音楽指導、部活動指導及び学校行事における音楽指導等により、児童の音楽に対する興味・関心を高めることができました。

配置校	福田第一小	福田第二小	木間ヶ瀬小 川間小	東部小	二ツ塚小	関宿小	計
配置人数	1 ※兼務	1 ※兼務	1	1	1	1	5

ウ サポートティーチャーの配置事業

小中学校にサポートティーチャーを配置することにより、担任も含め複数で指導に当たり、個々に応じたきめの細かい授業を行いました。授業内容は、算数・数学を中心に担任とのチーム・ティーチングや必要に応じ習熟度別又は学習課題別等の少人数編制によるグループ学習を行いました。

配置校	中央小	宮崎小	東部小	南部小	北部小	川間小	福田第一小	福田第二小	清水台小	柳沢小	山崎小	岩木小	尾崎小	七光台小	二ツ塚小	みずき小	木間ヶ瀬小	二川小	関宿小	関宿中央小	計
配置人数	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1	2	34

配置校	第一中	第二中	東部中	南部中	北部中	川間中	福田中	岩名中	木間ヶ瀬中	二川中	関宿中	計
配置人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11

※ 配置人数は、常勤換算した人数を記載

エ 学級事務支援員の配置事業

学級担任が行う事務を補助する学級事務支援員を小学校 20 校及び中学校 11 校に 1 人ずつ、計 31 人配置（一部は、県のスクール・サポート・スタッフとして配置）しました。学級担任の事務負担を軽減することで、学級担任が児童生徒と向き合う時間を確保することができました。

③ 小中学校教職員の適正な人事異動

教育効果を高め、調和的な学校運営や学校の活性化を図るため、活発な人事交流や新規職員採用を行うことで、適材適所の人員配置を推進し、職員構成の適正化を目指した人事を行いました。

2 特別な教育的ニーズのある児童生徒の適切な就学、就学援助及び育英事業

① 特別支援学級・通級指導教室の増設と充実

特別な支援を必要とする子供たちが年々増加傾向にあることから、令和 4 年度から東部小学校、木間ヶ瀬小学校に通級指導教室、北部小学校、福田第一小学校、北部中学校に特別支援学級を新規で開設しました。

② 児童生徒支援員（特別支援学級）の配置事業

特別支援学級に就学している児童生徒の障がいが多様化しており、一人一人の状況に合わせたきめ細かな指導を行うために、児童生徒支援員（特別支援学級）の配置を行いました。

配置校	中央小	宮崎小	東部小	南部小	北部小	川間小	福田第二小	清水台小	柳沢小	山崎小	岩木小	尾崎小	七光台小	二ツ塚小	みずき小	木間ヶ瀬小	二川小	関宿小	関宿中央小	計
配置人数	5	3	2	3	1	2	1	4	3	3	4	2	2	1	2	2	2	1	2	45

配置校	第一中	第二中	東部中	南部中	北部中	川間中	岩名中	木間ヶ瀬中	二川中	計
配置人数	2	3	2	4	1	2	1	1	1	17

※ 配置人数は、常勤換算した人数を記載

③ 看護師配置事業

日常生活において、医療行為が必要な児童に対する安全の確保と適切な医療ケアを行うため、中央小学校に看護師を 2 人配置しました。

④ 児童生徒支援員（通常学級）の配置事業

通常学級に在籍し、特別な教育的配慮が必要な児童生徒に対し適切な支援を行うため児童生徒支援員（通常学級）の配置を行いました。

配置校	中央小	東部小	南部小	北部小	福田第二小	清水台小	柳沢小	岩木小	尾崎小	二ツ塚小	みずき小	木間ヶ瀬小	関宿中央小	計
配置人数	1	1	1	1	1	1	1	1	0.5	1	0.5	1	1	12

⑤ 要・準要保護及び特別支援学級の児童生徒への就学援助

経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、「要保護及び準要保護就学援助事業」として、学校教育における必要な援助を行いました。また、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、「特別支援教育就学奨励費補助金交付事業」として、特別支援学級への就学のための経済的な援助を行いました。

	認定者数	
	小学校	中学校
就学援助認定事業	819人	529人
特別支援教育就学奨励費補助金交付事業	197人	76人

⑥ 育英事業

経済上の理由により、大学又は専修学校（専門課程）に進学や就学が困難な方を対象に、育英資金の貸付けを行いました。

貸与人数	2人
貸与額	月額15,000円

※平成22年度より高校生への新規貸与は廃止

3 幼稚園教育

① 幼児教育・保育の無償化の取組

公立幼稚園に就園する幼児のうち、年収360万円未満相当世帯の幼児と第3子以降（第1子が小学校3年生まで）の幼児について、給食費のうち、副食費及び主食費を免除（減免）しました。

幼稚園	副食費及び主食費免除（減免）対象者数	
	前期（4月から8月まで）	後期（9月から3月まで）
野田市立野田幼稚園	16人	29人
野田市立関宿南部幼稚園	8人	8人
野田市立関宿中部幼稚園	8人	8人

② 公立幼稚園の在り方の検討

野田幼稚園の3年保育の実施については、これまでもプレ幼稚園「こぼとプレルーム」に通っている子供たちの中に支援が必要な子が見受けられ、一定数の家庭から要望を受けていたことから、令和4年10月から受け入れを開始しました。

また、市全体で幼児教育におけるインクルーシブ教育を推進するため、障がいのある幼児及び要配慮幼児の教育を実施する私立幼稚園の設置者に対し、幼児の受入れのために配置した教諭にかかる人件費等を補助しました。

関宿南部及び中部幼稚園両園の令和4年度の4歳児クラスの入園希望者が合計で8人となったことから、関宿南部幼稚園を令和5年度に休園し、関宿中部幼稚園を存続させる形で統合することとしました。

4 学校保健活動の推進

① 学校保健教育の指導・支援

各学校が計画に基づいて充実した学校保健活動を推進できるよう、県教育庁保健体育課や医師会、歯科医師会、薬剤師会、学校保健会、健康福祉センター（保健所）等との連絡調整を図りながら、適切な指導・支援に努めました。また、定期健康診断等においても学校医、学校歯科医及び学校と連携して円滑に実施しました。

a 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師数

学校医	学校歯科医	学校薬剤師
40人	42人	21人

b 問診票や内科健診による結核検診及び結核対策判定委員会の指導のもと精密検査受診数

小学校

項目	学年						計	被患率	
	1	2	3	4	5	6		市	千葉県
問診実施者数	1,097	1,091	1,187	1,121	1,259	1,294	7,049	—	—
・問診票から要検討とした者	31	10	11	7	5	2	66	0.9%	0.3%
内科検診実施者数	1,015	1,001	1,101	1,023	1,181	1,180	6,501	—	—
・学校医が要検討とした者	15	2	2	4	2	1	26	0.3%	0.2%
要精密検査者数	15	2	2	4	2	1	26	0.3%	0.2%
・X線直接撮影実施者数	14	1	2	4	1	1	23	0.3%	0.2%
・ツベルクリン検査実施者数	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
・その他の検査実施数	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
要予防内服の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
結核の者	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%

中学校

項目	学年				計	被患率	
	1	2	3	計		市	千葉県
問診実施者数	1,213	1,252	1,269	3,734	—	—	
・問診票から要検討とした者	1	0	1	2	0.05%	0.3%	
内科検診実施者数	1,138	1,138	1,138	3,389	—	—	
・学校医が要検討とした者	0	0	0	0	0.0%	0.1%	
要精密検査者数	0	0	0	0	0.0%	0.1%	
・X線直接撮影実施者数	0	0	0	0	0.0%	0.1%	
・ツベルクリン検査実施者数	0	0	0	0	0.0%	0.0%	
・その他の検査実施数	0	0	0	0	0.0%	0.0%	
要予防内服の者	0	0	0	0	0.0%	0.0%	
結核の者	0	0	0	0	0.0%	0.0%	

※千葉県の被患率は令和3年度のデータ

② 生活習慣病検診事業

生活様式の変化に伴い、小児期から生活習慣病の兆候が見られることから、その予防と健康な生活を管理していくため、以下のとおり生活習慣病予防検診を実施するもの。令和4年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

a 実施対象 市内の小学校4年生児童全員（希望制）及び小学校4年生の検診時に所見のあった小学校6年生の検診を希望する児童

b 検診内容 肥満度・血液検査（総コレステロール／HDLコレステロール）・血圧・尿検査

c 検診結果及び必要に応じて医師から指導を受けることを勧めた児童の割合

小学校4年生の受検者	検診における総合判定結果	医師から指導を受けることを勧めた児童の割合
	I 要医学的管理	—
	II 要経過観察	—
	III 要生活指導	—

- ・小児期における生活習慣病対策の一環として、保健指導、栄養指導、運動指導を行うサマースクールを小学4年生以上の児童とその保護者を対象に実施するもの。令和4年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

実施日	実施場所	参加児童数	参加保護者数
中止			

③ 薬物乱用防止教育の充実

薬物乱用などの行為は児童生徒本人の心身を深く傷つけ、家庭や社会にも大きな影響を与えることを理解させるために、各学校においては、学校薬剤師、健康福祉センター、警察、麻薬・覚せい剤乱用防止センター等の各関係機関との密接な連携を図りつつ、薬物乱用防止教室等を毎年計画的に開催し、薬物乱用防止教育の充実に努めるもの。令和4年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。ただし、開催可能な学校については、感染防止を徹底した上で開催しました。

	小学校	中学校	市内全体
薬物乱用防止教室実施状況(割合)	50.0%	45.5%	48.4%

④ 労働安全衛生管理体制の充実

学校教職員の安全と健康を確保するため、教育委員会は年2回、各学校の安全衛生推進者を対象に労働安全衛生連絡会議を開催し、安全衛生に関する研修を行いました。各学校では年間の衛生推進計画を作成し、計画に基づいて衛生委員会を開催しました。10月上旬には、ストレスチェックを行い、受検率は92.9%と多くの職員が受検しました。

⑤ 食育の推進

ア 食育の推進

栄養教諭・学校栄養職員の活用を図り、学校給食を通じて望ましい食事についての理解と実践への意欲向上を図りました。

6月と11月の食育の日には「のだの恵みを味わう給食の日」を市内全校で実施、さらに、1月の全国学校給食週間には、日本のアニメに登場するメニューを提供し、子供たちの食文化への興味関心を高めました。

各学校で食に関する指導の全体計画・年間計画を作成し、教育活動全体を通じて食育の推進を図りました。

食に関する指導の全体計画・年間計画作成校

小学校	20校 (100%)
中学校	11校 (100%)

イ 地産地消の推進

野田市で生産された米や野菜等（児童生徒等が農業体験した作物を含む。）を積極的に学校給食用食材として取り入れ、地場産食材への理解が深まるよう努めました。

- ・野田産特別栽培米（黒酢米・江川米）〔農協から購入〕
- ・枝豆、なす、ほうれん草、小松菜、じゃがいも、さつまいも、さといも、長ねぎ、にんじん等〔市内農家から購入〕

契約件数	10件
購入量	30,336kg

ウ 野田産米補助事業

児童生徒に郷土を理解し、興味関心を持たせるとともに農業振興を図るため野田産特別栽培米を平均週3.5回、黒酢米の発芽玄米を月2回以上使用しました。さらに、現在の給食費の中で学校給食の質と量を確保するため、学校給食米に係る費用の一部を市が補助しました。

米単価	4～10月	324円
	11～3月	400円
補助額		34,538,695円
補助割合		70.49%

⑥ 栄養価を確保した安全安心な給食の提供

ア 栄養価の確保

文部科学省の学校給食摂取基準を基に、施設ごとに児童生徒の身体状況等から定期的に給与栄養目標量を見直すとともに、学校給食としてふさわしい安全で幅広い食材を使用し、適切に組み合わせて献立内容の充実に努めました。

イ 衛生管理及び安全管理

感染症対策のため、全体での研修会は実施できませんでしたが、年度当初に、各校で栄養教諭等を中心に、野田市学校給食衛生マニュアル、野田市学校給食異物混入防止マニュアル及び野田市学校給食食物アレルギー対応マニュアルに基づく研修を開催し、調理作業の見直しを図りました。

なお、給食施設での異物混入事故が続いたことから、野田市学校給食異物混入防止マニュアルを全面的に見直し、異物が混入した場合には、原因が調理場内や学校内であるかを速やかに確認するとともに、食材納入業者に対しても製造工程で混入する可能性の有無を確認することとし、原因の究明を早期に行うこと及び各学校で年1回以上の異物混入の防止に関する訓練を実施することに改めました。

ウ 食物アレルギー対応

野田市学校給食食物アレルギー対応マニュアルにより、医師による「学校生活管理指導表」及び「食事指示書」を基に、保護者との個別面談を実施して対応を決定し、全職員の共通理解の下で安全安心な給食提供に努めました。

⑦ 給食費滞納の対策

給食を提供している全ての児童生徒の保護者に給食費を適切に負担していただくため、学校及びPTAと連携し、給食費滞納の解消に努めました。在籍中は、学校において手紙、電話、面談、家庭訪問等により督促を行いました。卒業後については、新型コロナウイルスの感染拡大による社会経済状況を鑑み、家庭訪問等による臨戸徴収は実施せず、催告書の送付のみ行いました。また、給食費納入の意識を高めるために「給食申込書」を提出していただくとともに、児童手当受給者は、申出により児童手当の一部又は全部を学校給食費等の支払に充てることができるため、滞納者については、児童手当からの徴収制度を積極的に活用しました。また、令和元年10月より、滞納抑止効果及び未収金の回収を効率的に行うため、高額滞納者の一部の督促を法律事務所に委託しています。

児童手当からの徴収

件数	50件
徴収額	1,848,364円

法律事務所からの徴収

件数	8件
徴収額	656,700円

また、賄材料費の適正かつ厳格な処理・管理を行うため、野田産特別栽培米への補助による一括精算を行い、給食運営委員会において、賄材料費の執行状況を報告し確認を受けました。

指 導 課

1 土曜授業

ゆとりのある教育活動の中で、きめ細かで質の高い指導を行い、市内全ての児童・生徒に均等な学習機会を提供することを目的として、全小中学校で月1回程度の土曜授業を実施しています。教員のほかにサポートティーチャー、児童生徒支援員を引き続き配置しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業の授業時数確保を含め、予定どおり年間11回実施しました。

2 外国籍児童・生徒、帰国児童・生徒日本語教育事業

外国籍や海外から帰国した小中学生に日本語指導を行った結果、日本語を習得し自分の意思を日本語で伝えることができるようになり、日本の生活習慣や学校生活に適用できるようになりました。

日本語指導を受けた児童生徒数

小学校	86人
中学校	32人
合計	118人

3 国際理解教育の推進

外国語を母国語とする外国人が、ALTとして各中学校の外国語科や各小学校の外国語科・外国語活動の授業や国際理解教育に関する学校行事に参加することにより、児童生徒が生きた英語に直接触れることができるとともに異文化に対する理解が進み、学習への興味・関心・意欲を高めることができました。

ALT数

小学校	10人
中学校	3人
合計	13人

4 適応指導学級

「学習の補完」「体験学習」「カウンセラー（臨床心理士）の活用」を柱に、不登校児童生徒に対して学校復帰に向けた活動を実施しました。また、平成29年度から新たに閑宿分室を開設し不登校対策の強化を図りました。

適応指導学級利用者数	34人
上記のうち閑宿分室利用者数	7人
利用者のうち登校可能となった児童生徒	26人

5 教育相談

市内の幼児・児童・生徒が健やかに成長するために、不登校・集団不適應の悩み、親子関係や子育て等の悩みに対して、ひばり教育相談、巡回教育相談などにおいて専門的な教育相談を行いました。

相談員数	ひばり教育相談員	9人
	カウンセラー	1人
	スクールカウンセラー	2人
	合計	12人

ひばり教育相談	電話	18件
	面接	2,493件
	訪問	2件
巡回教育相談	学校	20校
	訪問	254件
学校支援	学校	4校
	訪問	23回
特別支援教育連携協議会		2回
特別支援教育専門家チーム	事例検討会	5回
	巡回指導	6回

6 就学相談

スクールカウンセラーやひばり教育相談、福祉・医療関係機関等との連携や協力により、児童生徒一人一人の教育的ニーズ及び本人・保護者の意向をきめ細かく把握し、計画的かつ継続的に教育支援活動を行えるよう丁寧な就学相談を行い、令和4年度は、533件の相談を受けました。

区 分	小学校	中学校
特別支援学校	58人	26人
特別支援学級	318人	121人
通級指導教室	523人	18人

令和5年5月1日在籍数

7 長欠児童・生徒の実態 (30日以上)

①長欠者数及び長欠率

(各年3月末日現在)

学 校		年 度								
		26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
小学校	長欠者数 (人)	127	134	134	137	157	125	139	137	194
	長欠率 (%)	1.51	1.60	1.60	1.66	1.93	1.60	1.83	1.87	2.74
中学校	長欠者数 (人)	243	259	251	264	279	273	274	329	346
	長欠率 (%)	6.10	6.46	6.26	6.58	7.05	6.71	6.76	8.03	8.69
計	長欠者数 (人)	370	393	385	401	436	398	413	466	540

②令和4年度欠席理由別長欠者数

欠席理由	小学校 (人)	中学校 (人)	計 (人)	率 (%)
病 気	57	97	154	28.5
経済的理由	0	0	0	0
不 登 校	65	221	286	53.0
そ の 他	72	28	100	18.5
合 計	194	346	540	100.0

8 学校人権教育

学校人権教育指導資料等を活用し、学校、学級の中で一人一人の存在や思いが大切にされる人権尊重の視点に立ち、自他共に大切にす人権意識の向上を図り、いじめの根絶、生命を大切にす教育の実践に取り組みました。

また、毎年、市内で2校を研究指定校とし、学校人権教育公開研究会等を実施しており、令和4年度は第二中学校において公開研究会を実施しました。研究主題を「『協働的問題解決型の学級経営・教科経営の実践』—教育のユニバーサルデザインの構築により人権感覚を育む—」とし、2年間にわたる研究について授業実践等の公開を実施しました。

9 いじめ防止対策

いじめ防止対策として、市内公立中学校の全1年生の生徒を対象に「いじめ傍観者にならないための意識を高める授業」を実施するとともに、匿名で通報・相談が出来るアプリ「STANDBY (スタンバイ)」を導入し、41件の相談に対応しました。

10 体力向上と望ましい生活習慣の育成

全国体力・運動能力調査等を分析し、幼児・児童・生徒の体力向上や望ましい生活習慣の育成に取り組むとともに、部活動等では部活動ガイドラインを活用して、健康に配慮した意図的・計画的な指導を行いました。

1.1 小中学校市内陸上競技大会

野田市の陸上競技場において市内陸上競技大会を実施し、児童生徒の体力向上に取り組みました。

小学校	6月 1日 (水)
中学校	6月 8日 (水)

1.2 小中学校音楽会

野田市文化会館において10月19日(水)、20日(木)の2日間、児童生徒による合唱・吹奏楽の発表会を実施しました。

1.3 地域との連携の推進

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、規模の縮小やオンラインでの特別授業等を実施し、学校・家庭・地域の連携を図り、児童生徒の学力の向上や地域社会との交流に努めました。

(1) 学校支援地域本部事業・東京理科大学とのパートナーシップ協定事業の推進

感染対策を講じ、学校支援地域本部を活用した学校・家庭・地域の連携を図りました。また、東京理科大学パートナーシップ協定の事業を推進しました。

○パートナーシップ連携事業(規模を縮小し、対面を基本とした特別授業)

・特別授業

小学校	15校	水溶性の性質、プログラミング授業、電磁石の実験など	2年生～6年生	971人
中学生	4校	物質の状態変化、大地の変化、プログラミング授業	1年生～2年生	440人

・研究室訪問と教員研修講座

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、東京理科大学の事務局と話し合い、中止としました。

・部活動支援ではソフトボールクリニックを2回実施しました。(中学校3校参加)

○地域教育プラットフォーム事業

各中学校区において、感染状況を注視しながら、次の3点について地域のボランティアの方々が中心となり、児童生徒とともに活動しました。

①学力向上「特別授業講師派遣・図書ボランティア派遣」など。

②特色ある学校「むかし遊び体験・稲刈り」など。

③教育環境「蔵書管理・安全パトロール・植木の剪定・校舎の補修」など。

学校支援地域本部実行委員会の実施回数	2回
地域教育コーディネーター説明会及び連絡会の実施回数	5回
地域教育コーディネーターの人数	27人

1.4 キャリア教育実践プロジェクト

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業所を訪問しての小学校6年生の職業に直接関わる体験活動、中学校2年生の職場体験学習を中止にしました。

1.5 地域人材の活用

中学校における武道指導充実のために、柔道と剣道の外部人材を活用し、各中学校に配置しました。

柔道	3人(男2人、女1人)
剣道	2人(男2人)

1.6 生物多様性自然再生の取組

自然を大切にするという心を醸成する教育の中で、生物多様性や自然保護について学びました。

(1) 生物多様性学習事業

野田市内に生息する生き物について、児童生徒の生物への興味・関心を高められるようにしました。

1.7 ICT活用の推進

令和4年度は通信ネットワークの管理や、アクセスポイントの増設等を行いました。また、本市が独自で取り組んでいるNICT（ニクティ）プロジェクトを中心として、教職員のICT活用能力育成や児童生徒の活用推進に努めました。

のだ教育推進プロジェクト[学校版]

～未来を拓く子どもたちのために～

野田市教育委員会



育てたい子ども像 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をそなえた、たくましい幼児・児童・生徒

▼ 野田市では<8つの重点+NICTプロジェクト>で幼児・児童・生徒の育成を目指します

NICTプロジェクトの推進

- ①1人1台端末を有効に活用した授業改善
- ②ICTの活用による教職員の業務改善
- ③ICTの有効活用に向けた環境整備の推進

NICTプロジェクト・GIGAスクール構想で野田市がめざす子どもの姿

自己の学びをもとに、他者と協働して、よりよい未来を切り拓く



確かな学力の向上

- ①ユニバーサルデザインの視点を持った授業展開
- ②個に応じた特別支援教育の推進
- ③主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ④家庭学習を含めた学習習慣の定着
- ⑤幼保こ小及び小・中学校連携の推進
- ⑥土曜授業の在り方についての検討と土曜日の効果的活用の促進
- ⑦読書・学習・情報センターとしての学校図書館の積極的活用と興風図書館等との連携
- ⑧野田市英語教育推進プロジェクトの充実
- ⑨学習指導要領の深化

豊かな心の育成

- ①道徳科の授業を要とした道徳教育の推進
- ②国や郷土の伝統や文化、生物多様性を学ぶ機会の充実
- ③学校支援地域本部事業の機能を活かした郷土の偉人に関する資料の充実
- ④豊かな人間関係づくりを核にした学級経営の充実
- ⑤学校人権教育の推進

NICT X GIGA

健やかな体の育成

- ①体育科授業を核にした体力向上と健康の保持増進
- ②学校保健教育の指導・支援
- ③生活習慣病検診事業
- ④薬物乱用防止教育の充実
- ⑤食育の推進

いじめ・虐待防止対策の推進

- ①子ども家庭総合支援課との連携強化
- ②いじめ・虐待防止に向けた教職員の研修等の充実
- ③教育委員会アドバイザー、スクールロイヤー、スクールアドバイザーを活用した法的マインドの醸成

安心・安全な学校づくり

- ①各種マニュアルの見直し
- ②相談しやすい各種教育相談体制の構築
- ③長欠・不登校児童・生徒への組織的な支援
- ④ガイドラインに則った効果的な部活動指導
- ⑤教職員による不祥事根絶への取組
- ⑥児童生徒支援員の配置事業
- ⑦要・準要保護及び特別支援学級児童生徒への就学援助等事業
- ⑧3年保育への拡充やインクルーシブ教育の導入、又は統廃合を含めた公立幼稚園の在り方の検討

業務改善

- ①学級事務支援員の配置事業
- ②労働安全衛生管理体制の充実
- ③学校組織の時間管理の取組

学校施設・設備の充実

- ①学校施設のトイレ改修工事の実施
【令和8年度までに全小中学校終了予定】
- ②学校施設改修工事等の実施

地域との連携の推進

- ①学校支援地域本部事業、東京理科大学とのパートナーシップ協定事業の推進
- ②キャリア教育の推進
- ③地域人材・地域資源の活用
- ④生物多様性自然再生などの環境教育の推進
- ⑤コミュニティ・スクール導入に向けた準備

II 幼児・児童及び生徒の状況等

○ 児童・生徒数及び学級数

(1) 小学校

(令和5年5月1日現在)

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		前年比	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
中央小学校	4	(6) 105	3	(0) 95	3	(4) 94	3	(10) 92	3	(1) 86	3	(6) 103	(5) 19	(27) 575	(△1) 0	(△1) △28
宮崎小学校	2	(2) 63	2	(2) 64	2	(2) 68	2	(4) 69	3	(2) 84	3	(3) 88	(3) 14	(15) 436	(0) △1	(△3) △8
東部小学校	1	(1) 16	1	(1) 21	1	(3) 23	1	(0) 21	1	(2) 25	2	(0) 43	(2) 7	(7) 149	(0) 0	(△1) △16
南部小学校	4	(2) 118	4	(3) 128	3	(2) 90	4	(4) 135	4	(2) 120	4	(4) 118	(3) 23	(17) 709	(0) 0	(4) 2
北部小学校	1	(0) 31	2	(1) 38	2	(1) 42	2	(0) 66	2	(4) 58	2	(1) 62	(1) 11	(7) 297	(0) △2	(4) △78
川間小学校	1	(0) 16	1	(2) 16	1	(1) 16	1	(1) 27	1	(2) 15	1	(1) 25	(2) 6	(7) 115	(0) 0	(△1) △15
福田第一小学校	1	(1) 4	1	(0) 5	0.5 複式学級	(0) 5	0.5 複式学級	(3) 4	1	(0) 4	1	(0) 16	(1) 5	(4) 38	(0) 0	(2) △11
福田第二小学校	1	(0) 5	1	(0) 16	1	(2) 9	1	(4) 10	0.5 複式学級	(2) 2	0.5 複式学級	(1) 11	(2) 5	(9) 53	(0) 0	(0) △2
清水台小学校	4	(1) 124	4	(6) 132	4	(8) 112	4	(6) 117	3	(7) 105	4	(6) 124	(5) 23	(34) 714	(△1) 0	(1) 4
柳沢小学校	2	(3) 67	2	(2) 69	2	(2) 54	2	(2) 61	2	(4) 42	2	(4) 47	(3) 12	(17) 340	(0) 0	(△1) 25
山崎小学校	2	(2) 47	2	(3) 66	2	(5) 70	3	(3) 71	2	(4) 55	2	(2) 49	(3) 13	(19) 358	(0) 1	(0) △12
岩木小学校	3	(5) 95	3	(6) 95	3	(9) 101	3	(8) 92	4	(6) 129	4	(8) 133	(6) 20	(42) 645	(2) △1	(10) △31
尾崎小学校	2	(3) 40	2	(3) 38	1	(3) 35	2	(2) 53	2	(6) 45	2	(5) 44	(3) 11	(22) 255	(1) △1	(6) △11
七光台小学校	2	(5) 36	1	(2) 26	2	(1) 44	2	(1) 41	2	(3) 43	2	(5) 56	(3) 11	(17) 246	(1) 0	(6) △26
二ツ塚小学校	1	(1) 34	1	(1) 19	1	(2) 29	1	(1) 28	1	(1) 32	1	(0) 25	(1) 6	(6) 167	(0) 0	(1) 2
みずき小学校	4	(6) 113	4	(3) 110	4	(0) 121	3	(2) 100	3	(0) 95	3	(2) 103	(2) 21	(13) 642	(0) 1	(4) 21
木間ヶ瀬小学校	1	(0) 26	1	(6) 18	1	(6) 18	1	(2) 27	1	(0) 24	1	(2) 30	(3) 6	(16) 143	(1) 0	(4) △5
二川小学校	2	(1) 56	2	(2) 59	2	(4) 54	2	(1) 61	2	(3) 53	2	(5) 59	(2) 12	(16) 342	(0) 0	(3) 11
関宿小学校	1	(2) 8	1	(3) 12	1	(0) 17	1	(1) 16	1	(1) 16	1	(0) 16	(1) 6	(7) 85	(0) 0	(2) △18
関宿中央小学校	2	(2) 42	2	(3) 37	2	(2) 42	2	(3) 49	2	(3) 49	2	(5) 53	(3) 12	(18) 272	(0) 0	(1) △10
合計	41	(43) 1,046	40	(49) 1,064	38.5	(57) 1,044	40.5	(58) 1,140	40.5	(53) 1,082	42.5	(60) 1,205	(54) 243	(320) 6,581	(3) △3	(41) △206

※中央小、宮崎小、南部小、北部小、川間小、清水台小、柳沢小、山崎小、岩木小、尾崎小、七光台小、二ツ塚小、みずき小、二川小…通級指導教室設置 ※ () =特別支援・外書き △=減

(2) 中学校

(令和5年5月1日現在)

学年 学校名	1年		2年		3年		合計		前年比	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
第一中学校	7	(10) 253	6	(5) 226	7	(4) 255	(4) 20	(19) 734	(0) △1	(0) 12
第二中学校	3	(4) 79	4	(9) 118	3	(8) 99	(4) 10	(21) 296	(0) 0	(△1) △5
東部中学校	1	(1) 36	1	(1) 36	2	(5) 42	(1) 4	(7) 114	(△1) △1	(△3) △13
南部中学校	7	(7) 252	8	(10) 278	8	(10) 273	(5) 23	(27) 803	(0) 0	(△4) △6
北部中学校	4	(2) 151	4	(2) 144	5	(0) 172	(1) 13	(4) 467	(0) 0	(2) 9
川間中学校	3	(2) 81	3	(3) 87	3	(7) 88	(2) 9	(12) 256	(0) 0	(△2) △16
福田中学校	2	(1) 48	2	(2) 60	2	(0) 49	(1) 6	(3) 157	(0) 0	(2) △4
岩名中学校	4	(5) 138	4	(6) 158	5	(4) 172	(2) 13	(15) 468	(0) △1	(2) △23
木間ヶ瀬中学校	2	(2) 66	2	(1) 67	2	(1) 78	(1) 6	(4) 211	(0) △1	(1) △21
二川中学校	2	(0) 57	2	(3) 61	2	(4) 58	(2) 6	(7) 176	(0) △1	(△4) △28
関宿中学校	1	(2) 20	1	(0) 16	1	(0) 26	(1) 3	(2) 62	(1) 0	(2) △1
合計	36	(36) 1,181	37	(42) 1,251	40	(43) 1,312	(24) 118	(121) 3,744	(0) △5	(△5) △96

※二川中…通級指導教室設置

※() = 特別支援・外書き △ = 減

(3) 公立幼稚園

(令和5年5月1日現在)

区分 幼稚園名	学級数				在園者数(人)			
	3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計
公野田	1	2	2	5	20	19	30	69
立関宿中部	0	1	1	2	0	8	10	18

○ 児童・生徒数の推移

(各年5月1日現在)

年度 学校名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
中央小学校	792	758	757	742	731	734	728	726	694	673	649	631	602
宮崎小学校	541	542	540	545	545	547	540	531	517	503	483	462	451
東部小学校	330	317	305	283	282	277	254	259	237	212	188	173	156
南部小学校	850	841	838	812	777	768	763	755	740	739	714	720	726
北部小学校	450	489	540	544	559	542	552	526	475	467	412	378	304
川間小学校	258	250	239	227	223	196	196	184	166	159	145	138	122
福田第一小学校	129	107	90	98	92	93	89	87	75	66	58	51	42
福田第二小学校	82	81	78	72	63	65	58	59	52	56	61	64	62
清水台小学校	491	539	575	637	675	702	728	758	748	743	738	743	748
柳沢小学校	269	272	287	283	277	285	287	288	279	299	314	333	357
山崎小学校	392	383	391	388	393	412	415	415	409	420	409	389	377
岩木小学校	682	702	727	740	772	811	830	847	836	799	741	708	687
尾崎小学校	430	423	426	417	404	406	388	377	340	334	306	282	277
七光台小学校	494	510	502	463	474	452	453	428	400	361	326	283	263
二ツ塚小学校	273	263	277	265	273	283	247	238	216	206	199	170	173
みずき小学校	537	539	557	553	557	566	549	576	579	599	623	630	655
木間ヶ瀬小学校	328	321	309	285	251	208	189	178	169	172	159	160	159
二川小学校	493	497	504	519	500	466	447	422	384	357	346	344	358
関宿小学校	124	122	131	129	134	130	138	135	128	121	112	108	92
関宿中央小学校	430	413	402	396	403	398	356	351	340	318	307	299	290
小学校計	8,375	8,369	8,475	8,398	8,385	8,341	8,207	8,140	7,784	7,604	7,290	7,066	6,901
第一中学校	699	687	681	657	659	668	693	702	756	769	778	741	753
第二中学校	362	343	325	313	323	303	340	320	340	300	304	323	317
東部中学校	174	168	173	194	186	171	150	159	167	165	159	137	121
南部中学校	883	871	856	869	879	883	861	833	845	843	853	840	830
北部中学校	383	380	388	413	433	473	459	472	475	469	481	460	471
川間中学校	316	321	318	324	305	306	288	286	273	294	292	286	268
福田中学校	223	235	229	221	204	185	205	191	202	177	172	162	160
岩名中学校	313	333	346	360	385	367	369	362	404	445	491	504	483
木間ヶ瀬中学校	388	364	334	326	326	327	327	312	289	266	256	235	215
二川中学校	299	271	257	242	239	258	254	259	247	256	243	215	183
関宿中学校	65	66	63	62	59	60	57	59	61	68	67	63	64
中学校計	4,105	4,039	3,970	3,981	3,998	4,001	4,003	3,955	4,059	4,052	4,096	3,966	3,865
合計	12,480	12,408	12,445	12,379	12,383	12,342	12,210	12,095	11,843	11,656	11,386	11,032	10,766

資料編

I 歴代教育委員名簿

年度	教 育 委 員					
	委 員 長	委 員				教 育 長
昭和 25	久 本 例 見	茂 木 七 郎	藤 井 喜 代 治	渡 野 辺 和 吉	張 替 寿 満	市 原 一 郎
26	〃	〃	〃	〃	〃	〃
27	茂 木 七 郎	戸 辺 守 章	〃	〃	池 田 遷	〃
28	〃	〃	〃	〃	〃	〃
29	茂 木 邦 吉	〃	茂 木 七 郎	〃	〃	〃
30	〃	〃	〃	〃	〃	〃
31	立 沢 晋	土 田 正 道	茂 木 克 己		張 替 寿 満	〃
32	〃	〃	〃		都 部 道 三 郎	〃
33	〃	大 野 弘 英	〃		〃	〃
34	〃	〃	〃		〃	〃
35	〃	〃	〃		神 崎 邦 治	石 毛 敏 治
36	〃	〃	〃		〃	〃
37	〃	〃	〃		〃	〃
38	〃	〃	〃		〃	〃
39	〃	〃	〃		〃	〃
40	神 崎 邦 治	〃	〃		立 沢 晋	〃
41	〃	飯 田 武 雄	〃		鈴 木 博	〃
42	〃	〃	〃		〃	〃
43	〃	〃	〃		〃	〃
44	〃	〃	〃		〃	〃
45	〃	〃	〃		〃	黒 川 忠
46	〃	戸 辺 健 夫	〃		〃	〃
47	〃	〃	〃		〃	〃
48	〃	〃	〃		〃	〃
49	〃	〃	〃		〃	〃
50	〃	岡 野 米 司	〃		〃	〃
51	岡 野 米 司	神 崎 邦 治	〃		〃	〃
52	〃	〃	〃		〃	〃
53	〃	〃	〃		〃	〃
54	〃	〃	〃		〃	〃
55	〃	〃	茂 木 僖 朗		〃	〃
56	〃	〃	〃		〃	〃
57	〃	〃	〃		〃	〃
58	神 崎 邦 治	荒 川 喜 男	〃		〃	〃
59	〃	〃	〃		〃	戸 邊 慶 成
60	茂 木 僖 朗	〃	榎 田 迪 子		〃	〃
61	〃	〃	〃		〃	〃
62	〃	〃	〃		〃	〃
63	荒 川 喜 男	茂 木 僖 朗	〃		〃	〃
平成 元	〃	〃	〃		岡 田 功	〃
2	〃	〃	〃		〃	〃

年度	教 育 委 員				教 育 長
	委 員 長	委 員			
3	荒川 喜男	茂木 僖朗	榊田 廸子	岡田 功	戸邊 慶成
4	〃	〃	〃	〃	黒川 浩
5	〃	〃	〃	〃	〃
6	〃	〃	〃	〃	〃
7	倉持 治	〃	〃	〃	〃
8	〃	茂木 七郎治(襲名)	〃	〃	〃
9	〃	〃	〃	〃	〃
10	〃	〃	〃	〃	〃
11	〃	〃	〃	〃	〃
12	永瀬 好邦 佐藤 茂	〃	〃	〃	永瀬 好邦
13	〃	〃	〃	〃	〃
14	〃	〃	岡本 茂	山口 仁美	〃
15	〃	〃	〃	〃	〃
16	〃	〃	〃	〃	宮内 好雄
17	宮田 弘	〃	〃	〃	〃
18	〃	〃	〃	〃	〃
19	〃	〃	伊藤 稔	〃	〃
20	〃	飯田 芳彦	〃	〃	〃
21	高橋 保	〃	〃	〃	〃
22	〃	〃	〃	〃	〃
23	〃	〃	〃	〃	〃
24	〃	〃	〃	〃	〃
25	〃	〃	〃	〃	下岡 有希子
26	〃	〃	〃	永瀬 大	〃

年度	教 育 長	教 育 委 員			
		教育長職務代理者			
27	東條 三枝子	高橋 保	飯田 芳彦	伊藤 稔	永瀬 大
28	〃	〃	〃	〃	〃
29	〃	〃	〃	〃	〃
30	佐藤 裕	〃	〃	〃	〃
令和 元	〃	〃	〃	〃	〃
2	〃	〃	〃	〃	〃
3	染谷 篤	伊藤 稔	〃	高橋 保	〃
4	〃	〃	〃	〃	〃
5	〃	〃	〃	〃	〃

平成 27 年 4 月教育委員会制度の改革

I-2 歴代教育委員名簿（旧関宿町）

年度	教		育		委		員	
昭和 31	戸塚 静次	千久田 豊吉	須賀 又四郎	◎奥原 謹爾	遠藤 駒次			
32	知久 武雄	〃	〃	◎ 〃	〃			
33	〃	〃	〃	◎ 〃	〃			
34	〃	〃	〃	◎ 〃	〃			
35	〃	大井 武夫	〃	◎ 〃	〃			
36	〃	〃	〃	◎ 〃	〃			
37	〃	〃	〃	◎ 〃	〃			
38	〃	〃	〃	◎ 〃	〃			
39	〃	小林 一雄	〃	◎ 〃	〃			
40	〃	〃	〃	◎ 〃	〃			
41	〃	〃	〃	◎ 〃	吉澤 實			
42	〃	〃	〃	〃	◎ 〃			
43	〃	〃	〃	○ 〃	◎ 〃			
44	〃	○ 〃	〃	〃	◎ 〃			
45	〃	〃	○ 〃	〃	◎ 〃			
46	〃	〃	○ 〃	〃	◎ 〃			
47	○ 〃	〃	中澤 富寿雄	高島 嘉輔	◎ 〃			
48	○ 〃	〃	〃	〃	◎ 〃			
49	○ 〃	〃	〃	〃	◎ 〃			
50	○ 〃	〃	〃	〃	◎ 〃			
51	○ 〃	古橋 富郎	〃	大島 寛禅	◎ 〃			
52	○ 〃	岡野 松衛	〃	〃	◎ 〃			
53	○ 〃	〃	〃	〃	◎ 〃			
54	○ 〃	〃	〃	〃	◎ 〃			
55	○ 〃	糸賀 重衛	深栖 唯定	〃	◎ 〃			
56	林 保	〃	〃	○ 〃	◎ 〃			
57	〃	〃	〃	○ 〃	◎ 〃			
58	〃	〃	〃	○ 〃	◎ 〃			
59	〃	○ 〃	〃	飯塚 隆明	◎ 〃			
60	〃	◎ 〃	〃	〃	〃			
61	〃	◎ 〃	〃	〃	〃	箱森 繁夫		
62	〃	◎ 〃	〃	大野 要修	〃	〃		
63	川崎 忠夫	◎吉澤 庸之進	〃	〃	〃	〃		
平成 元	〃	◎ 〃	〃	○ 〃	〃	〃		
2	〃	◎ 〃	〃	○ 〃	〃	〃		
3	〃	◎ 〃	〃	〃	〃	○ 〃		
4	知久 浩	◎ 〃	倉持 澄江	○早川 敏弘	〃	〃		
5	〃	◎ 〃	〃	○ 〃	堀井 孝悦	〃		
6	〃	◎ 〃	〃	○ 〃	〃	〃		
7	〃	◎ 〃	〃	○ 〃	田中 経郎	〃		
8	〃	◎ 〃	〃	○ 〃	〃	〃		
9	飯塚 熙	◎ 〃	〃	○ 〃	〃	〃		
10	〃	◎ 〃	〃	○ 〃	〃	〃		
11	〃	◎ 〃	〃	○ 〃	〃	〃		
12	○ 〃	◎ 〃	荒井 文子	中村 桂一	◎ 〃	〃		
13	○ 〃	〃	〃	〃	◎ 〃	〃		
14	○ 〃	〃	〃	〃	◎ 〃	〃		
15	〃	〃	〃	〃	◎ 〃	〃		

○ 委員長 ◎ 教育長

II 市議会文教福祉委員

氏 名	備 考
椿 博文	委員長
濱田 勇次	副委員長
庄司 真生	
小林 裕子	
金木 祐輔	
平井 正一	
竹内 美穂	

III 附属機関委員

1 通学区域審議会

(令和 4. 8. 1～令和 6. 7. 31)

氏 名	備 考
山形 かつ江	地域の実情に詳しい者 (中央地区)
佐藤 信江	地域の実情に詳しい者 (東部地区)
海老原 偉夫	地域の実情に詳しい者 (南部地区)
藤井 愛子	地域の実情に詳しい者 (北部地区)
須賀 昭徳	地域の実情に詳しい者 (福田地区)
岡田 壽	地域の実情に詳しい者 (川間地区)
千葉 久美	地域の実情に詳しい者 (木間ヶ瀬地区)
飯野 きみ子	地域の実情に詳しい者 (二川地区)
佐藤 清美	地域の実情に詳しい者 (関宿地区)
亀崎 敬子	地域の実情に詳しい者 (清水台小評議員)
栗根 静江	地域の実情に詳しい者 (元みずき小 PTA 会長)
横川 清人	PTA を代表する者 (北部小 PTA)
染谷 小百合	PTA を代表する者 (川間小 PTA)
高橋 浩一郎	関係教育機関の職員 (小学校長)
杉崎 哲実	関係教育機関の職員 (中学校長)
小田川 豊	市職員 (建設局長)
生嶋 浩幸	市職員 (企画財政部長)

[学校教育課]

2 教育支援委員会

(令和 4. 10. 1～令和 6. 9. 30)

氏 名	備 考
小池 健	医師 (江戸川病院院長)

岡田 一芳	医師 (岡田小児科医院長)
永瀬 大	医師 (ながせ耳鼻咽喉科院長)
角田 敏雄	小学校長及び中学校長 (東部小学校長)
横川 徹	小学校長及び中学校長 (東部中学校長)
松本 巖	小学校長及び中学校長 (千葉県立野田特別支援学校長)
内田 光恵	小学校長及び中学校長 (野田幼稚園長)
鈴木 萌子	教諭及び養護教諭 (関宿小学校教諭)
篠塚 啓太	教諭及び養護教諭 (木間ヶ瀬中学校教諭)
中村 公子	教諭及び養護教諭 (北部中学校養護教諭)
今村 素美子	教諭及び養護教諭 (野田特別支援学校教諭)
杉原 俊行	関係行政機関の職員 (柏児童相談所診断指導課長)
金城 和子	福祉関係団体の職員 (のだネットコーディネーター)
秋鹿 弥由紀	健康子ども部の職員 (子どもの発達相談室長)
土屋 孝之	教育委員会事務局の職員 (学校教育部長)

[指導課]

3 学校給食運営委員会

(令和 5. 7. 1～令和 6. 6. 30)

氏 名	備 考
戸谷 龍丸	学校の PTA を代表する者 (中央小)
杉崎 佐都美	学校の PTA を代表する者 (宮崎小)
内海 幸子	学校の PTA を代表する者 (東部小)
近藤 康介	学校の PTA を代表する者 (南部小)
山本 絵美	学校の PTA を代表する者 (北部小)

根本 麻衣	学校の PTA を代表する者 (福一小)
関根 諭実	学校の PTA を代表する者 (福二小)
小倉 恵	学校の PTA を代表する者 (川間小)
高嶋 彩乃	学校の PTA を代表する者 (清水台小)
伴野 博美	学校の PTA を代表する者 (柳沢小)
高野 幸子	学校の PTA を代表する者 (山崎小)
戸邊 明	学校の PTA を代表する者 (岩木小)
津田 由美	学校の PTA を代表する者 (尾崎小)
柳橋 美樹	学校の PTA を代表する者 (七光台小)
大重 恵	学校の PTA を代表する者 (二ツ塚小)
横瀬 弥生	学校の PTA を代表する者 (みぎき小)
山崎 美香	学校の PTA を代表する者 (木間ヶ瀬小)
松本 めぐみ	学校の PTA を代表する者 (二川小)
玉木 美希	学校の PTA を代表する者 (関宿小)
芝田 実千代	学校の PTA を代表する者 (関宿中央小)
濱野 さやか	学校の PTA を代表する者 (第一中)
横銭 明美	学校の PTA を代表する者 (第二中)
今井 充代	学校の PTA を代表する者 (東部中)
榊原 貴子	学校の PTA を代表する者 (南部中)
松本 美子	学校の PTA を代表する者 (北部中)
久保寺 淳子	学校の PTA を代表する者 (福田中)
柏木 美帆	学校の PTA を代表する者 (川間中)
宮田 真弓	学校の PTA を代表する者 (岩名中)
古橋 さゆり	学校の PTA を代表する者 (木間ヶ瀬中)
青木 清子	学校の PTA を代表する者 (二川中)
吉田 綾実	学校の PTA を代表する者 (関宿中)
岡田 知子	学校の PTA を代表する者 (野田幼)
野本 愛美	学校の PTA を代表する者 (関中幼)
土屋 孝之	学校教育部長

[学校教育課]

4 生涯学習審議会

(令和 5. 7. 1～令和 7. 6. 30)

氏名	備考
長妻 美孝	学校教育の関係者 (小中学校長会)
河内 賀子	社会教育の関係者 (野田美術会)
長谷川 昌男	社会教育の関係者 (公益財団法人興風会)
勝田 茂	社会教育の関係者 (文化団体協議会)
横川 しげ子	社会教育の関係者 (女性団体連絡協議会)
戸張 泰	家庭教育の向上に資する活動を行う者 (子ども会育成連絡協議会)
鈴木 昭夫	学識経験のある者 (元社会教育委員委員長)

高井 千鶴	学識経験のある者 (千葉県スクールカウンセラーズ「ハッピー」)
高倉 明実	公民館長が推薦する者 (中央公民館)
石井 佐喜子	公民館長が推薦する者 (東部公民館)
松川 豊	公民館長が推薦する者 (南部梅郷公民館)
山田 喜美子	公民館長が推薦する者 (北部公民館)
染谷 渉	公民館長が推薦する者 (川間公民館)
山崎 廣司	公民館長が推薦する者 (福田公民館)
芝田 榮太郎	公民館長が推薦する者 (関宿中央公民館)
林 正子	公民館長が推薦する者 (関宿公民館)
小林 美うみ	公民館長が推薦する者 (二川公民館)
鷺尾 真由美	公民館長が推薦する者 (木間ヶ瀬公民館)
古谷津 薫	公募に応じた市民
宮崎 清美	公募に応じた市民

[生涯学習課]

5 文化財保護審議会

(令和 4. 11. 1～令和 8. 10. 31)

氏名	備考
石田 年子	文化財に関する学識者 (有形民俗)
大野 要修	文化財に関する学識者 (歴史資料)
川根 正教	文化財に関する学識者 (考古、博物館、醸造)
下津谷 達男	文化財に関する学識者 (考古)
高梨 兵左衛門	文化財に関する学識者 (普及活用)
日塔 和彦	文化財に関する学識者 (建造物)
萩原 法子	文化財に関する学識者 (無形民俗)

[生涯学習課]

6 図書館協議会

(令和 5. 6. 1～令和 7. 5. 31)

氏名	備考
松田 裕二	学校教育の関係者 (千葉県立野田中央高等学校)
下川 泰弘	学校教育の関係者 (小中学校長会)
石山 美代子	社会教育の関係者 (女性団体連絡協議会)
佐藤 清美	社会教育の関係者 (おはなしパレット北)
村越 健志	社会教育の関係者 (公益財団法人興風会)
倉持 京子	社会教育の関係者 (文化団体協議会)

横川 しげ子	社会教育の関係者 (生涯学習審議会)
新田 のり子	家庭教育の向上に資する活動を行う者 (社会教育指導員)
河合 章 男	学識経験のある者 (修士(図書館情報学)、博士(情報学))
川島 信 良	学識経験のある者 (元野田市議会事務局長)
三ツ橋 淑 子	公募に応じた市民
石坂 瑞 子	公募に応じた市民

[興風図書館]

7 青少年問題協議会

(令和 4. 8. 1～令和 6. 7. 31)

氏 名	備 考
飯塚 祐 子	子ども会育成団体を代表する者 (子ども会育成連絡協議会)
芝田 榮太郎	社会福祉法人野田市社会福祉協議会 を代表する者
大久保 富 男	自治会を代表する者 (自治会連合会)
瀧川 雅 子	青少年相談員を代表する者 (青少年相談員連絡協議会)
倉持 和 巳	青少年補導員を代表する者 (青少年補導員連絡協議会)
長島 宏 行	スポーツ団体を代表する者 (スポーツ協会)
石山 美代子	女性団体を代表する者 (女性団体連絡協議会)
政田 和 宏	PTA を代表する者 (小中学校 PTA 連絡協議会)
小俣 悦 子	文化団体を代表する者 (文化団体連絡協議会)
白石 卓 秀	保護司会を代表する者
新家 とし子	民生委員児童委員を代表する者
長谷川 昌 男	生涯学習に関する知識を有する者 (生涯学習審議会)
吉田 健 一	関係行政機関の職員 (野田警察署長)
新 玲 子	関係行政機関の職員 (野田保健所長)
小熊 良	関係行政機関の職員 (柏児童相談所長)
香山 啓	関係行政機関の職員 (松戸公共職業安定所野田出張所長)
伊藤 稔	関係行政機関の職員 (教育委員)
高橋 祐 史	関係教育機関の職員 (小中学校長会)
横川 徹	関係教育機関の職員 (小中学校長会)
三輪 政 道	関係教育機関の職員 (高等学校長)
染谷 篤	教育長
土屋 孝之	市職員(学校教育部長)
吉田 富 昇	公募に応じた市民
小林 悦 子	公募に応じた市民

[生涯学習課]

8 文化センター運営審議会

(令和 4. 11. 1～令和 6. 10. 31)

氏 名	備 考
久保 周 平	文化団体を代表する者 (文化団体協議会)
工藤 達	勤労青少年ホームの利用者を代表する者 (勤労青少年ホーム)
沖田 多恵子	社会福祉法人野田市社会福祉協議会 を代表する者(社会福祉協議会)
清水 拓 司	自治会を代表する者 (自治会連合会)
須賀田 貞彦	高齢者団体を代表する者 (いきいきクラブ連合会)
染谷 智 子	子ども会育成団体を代表する者 (子ども会育成連絡協議会)
野島 洋二郎	労働者団体を代表する者 (連合千葉 野田・流山地区連絡会)
有賀 ヒメ子	商工団体を代表する者 (関宿商工会)
木名瀬 セキ	商工団体を代表する者 (野田商工会議所)
石山 美代子	女性団体を代表する者 (女性団体連絡協議会)
佐藤 文 則	公益財団法人興風会を代表する者 (公益財団法人興風会)
香山 啓	関係行政機関の職員 (松戸公共職業安定所野田出張所)
松田 裕 二	関係教育機関の職員 (市内県立高等学校)
間中 恵 美	関係教育機関の職員 (小中学校長会)
伊藤 龍 雄	公募に応じた市民
片山 浩 誠	公募に応じた市民

[生涯学習課]

9 鈴木貫太郎記念館建設準備委員会

(令和 5. 2. 21～鈴木貫太郎記念館再建に必要な事項に関する協議が終了するまで)

氏 名	備 考
下津谷 達 男	学識経験者
大野 要 修	学識経験者
田中 文 昭	学識経験者(県職員)
福田 健二郎	学識経験者(金融機関)
宮部 仁 志	学識経験者(商工業)
山本 和 也	学識経験者(商工業)
富澤 昇	学識経験者(商工業)
林 正 子	地元を代表する者
筑井 正	記念館を代表する者
鈴木 有	市長
染谷 篤	教育長
宮崎 等	市職員

[生涯学習課]

R5. 4. 1 市長部局に移管

IV 学校教育関係名簿

(1) 校長会

役 職	氏 名	所 属	電 話
会 長	山 田 桂 一	川間中学校	7129-4025
副 会 長	縄 田 浩 子	岩木小学校	7129-5989

(2) 教頭会

役 職	氏 名	所 属	電 話
会 長	中 嶋 勝 則	川間小学校	7129-4003
副 会 長	石 垣 幸 子	七光台小学校	7127-1712
	大 島 惠 子	北部小学校	7122-2748
	田 村 重 行	二川中学校	7196-0004
	吉 村 拓 史	木間ヶ瀬中学校	7198-0218

(3) 野田市教育研究会運営委員会

役 職	氏 名	所 属	電 話
会 長	草 刈 俊 晴	中央小学校	7122-2116
副 会 長	梅 建	みずき小学校	7121-4311
〃	森 功	関宿中学校	7196-0113
運営委員教頭会	今 井 清 人	中央小学校	7122-2116
〃	成 松 明 子	東部小学校	7122-3004
〃	八 代 美 穂	川間中学校	7129-4025
教務主任部会	磯 部 惠 子	二川小学校	7196-0074
研究主任部会	中 村 雅 人	木間ヶ瀬小学校	7198-0204
事務局 長	今 井 清 人	中央小学校	7122-2116
会 計	飯 森 佳 子 村 山 惠	中央小学校	7122-2116
会 計 監 査	小 川 惠 美	宮崎小学校	7122-2362
	谷 中 隆 維	東部中学校	7122-3015

(4) 野田市学校保健会役員名簿

役 職	所 属	氏 名
会 長	医 師 会 代 表	岡 田 一 芳
副 会 長	医 師 会 理 事	畑 野 秀 樹
	歯 科 医 師 会 会 長	伊 東 真 吾
	薬 剤 師 会 会 長	小 沼 惠 一
	小 中 学 校 長 会 会 長	山 田 桂 一
理 事	歯 科 医 師 会 代 表	宮 本 芳 美
	医 師 会 代 表	永 瀬 大
	医 師 会 代 表	荒 山 隆
	薬 剤 師 会 代 表	島 田 恭 光
	野 田 保 健 所 長	新 玲 子
	高 等 学 校 長 代 表	松 田 裕 二
	小 中 学 校 長 会 副 会 長	縄 田 浩 子
	保 健 主 事 代 表	逆 井 奈 保 美
	養 護 教 諭 代 表	高 須 賀 実 紀
	公 立 幼 稚 園 代 表	内 田 光 恵
	私 立 幼 稚 園 代 表	加 藤 英 夫
	保 健 セ ン タ ー 長	峯 崎 光 春
	学 校 教 育 部 長	土 屋 孝 之
学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	小 川 原 一 浩	
監 事	医 師 会	鈴 木 隆 一
	校 長 会	中 村 功

(5) 学校医・学校歯科医・学校薬剤師

(令和 5.4.1～令和 7.3.31)

幼・小・中学校	内科医	眼科医	耳鼻科医	歯科医	薬剤師
中央小学校	小澤 克之助 鈴木 英夫	市岡 弘光	夜久 有滋	染谷 邦男 渡邊 昭	島田 恭光
宮崎小学校	三枝 誠一郎 杉崎 聡一	市岡 弘光	夜久 有滋	過能 博之 木澤 英孝	荒木田 賢市
東部小学校	小島 昌也	齋藤 弘明	夜久 有滋	山崎 裕也	寒河江 隆
南部小学校	山口 仁美 山川 一夫 畑野 秀樹	尾羽澤 実	中村 泰介	林 亨二 今関 時男 長谷川志乃ぶ	竹田 征司
北部小学校	山縣 仁光 荒井 政	齋藤 弘明	永瀬 大	山本 園子	島田 恭光
川間小学校	豊泉 茂	久米 正雄	永瀬 大	秋山 明彦	杉浦 貴史
福田第一小学校	新村 與平	尾羽澤 実	夜久 有滋	中林 隆	峯村 ふみ子
福田第二小学校	新村 與平	齋藤 弘明	夜久 有滋	種村 伴子	坂口 有子
清水台小学校	荒山 隆 岡田 安郎 三枝 誠一郎	市岡 弘光	夜久 有滋	北岡 啓則 宮本 芳美 飯塚 麻紀	寒河江 隆
柳沢小学校	江井 修博 荒井 政光	齋藤 弘明	夜久 有滋	西村 卓也 山本 英三	齊藤 和則
山崎小学校	門倉 正樹 谷口 勲	尾羽澤 実	永瀬 大	大西 克昭 忍足 剛	島田 ゆかり
岩木小学校	岡田 一芳 豊泉 茂 岡田 安郎	久米 正雄	富田 亜紀子	吉田 二良 手島 英貴	荒木田 賢市
尾崎小学校	内田 芳信	久米 正雄	永瀬 大	牧 壽次	伊藤 篤史
七光台小学校	荒山 隆	齋藤 弘明	永瀬 大	土田 隆司	伊藤 篤史
二ツ塚小学校	仲田 房蔵	尾羽澤 実	夜久 有滋	連記 雅伸	峯村 ふみ子
みずき小学校	畑野 秀樹 小澤 克之助	市岡 弘光	中村 泰介	今関 時男 李 永兌	竹田 真弓子
木間ヶ瀬小学校	善方正一	森田 一之	永瀬 大	魚井 希実紀	小沼 恵一
二川小学校	善方正一	森田 一之	永瀬 大	大原 郁輝	稲富 佐斗子
関宿小学校	西川 俊郎	森田 一之	永瀬 大	守川 巧	関谷 秀
関宿中央小学校	善方正一	森田 一之	永瀬 大	藤本 知之	小沼 恵一
第一中学校	荒井 政光 鈴木 隆一 長澤 芳哉	市岡 弘光	中村 泰介	魚井 希実紀 染谷 邦男 木澤 英孝	秋田 茂
第二中学校	門倉 茂樹	市岡 弘光	中村 泰介	渡邊 智実	市川 裕幸
東部中学校	山下 加美	齋藤 弘明	永瀬 大	戸邊 修	武智 環
南部中学校	鈴木 英夫 久保 昌之 小島 昌也	尾羽澤 実	中村 泰介	山崎 安一 馬島 敦夫 井上 照夫	武智 環
北部中学校	内田 芳信 金本 秀之	齋藤 弘明	中村 泰介	戸邊 武一 種村 伴子	島田 恭光
川間中学校	太田 八千穂	久米 正雄	永瀬 大	草間 博	大西 かおり
福田中学校	新村 秀樹	尾羽澤 実	永瀬 大	越智 美和子	片桐 吉隆
岩名中学校	中本 雅久 長澤 芳哉	久米 正雄	中村 泰介	八木 基彰 藤本 知之	荒木田 賢市
木間ヶ瀬中学校	善方正一	森田 一之	永瀬 大	玉木 肇	稲富 佐斗子
二川中学校	善方正一	森田 一之	永瀬 大	甲斐 拓也	稲富 佐斗子
関宿中学校	西川 俊郎	森田 一之	永瀬 大	西村 卓也	篠原 剛
野田幼稚園	岡田 一芳	市岡 弘光	夜久 有滋	松永 詳子	秋田 晴海
関宿中部幼稚園	善方正一	森田 一之	永瀬 大	伊東 真吾	稲富 佐斗子

V 生涯学習関係名簿

(1) 野田市青少年補導員

(令和 5. 6. 1～令和 7. 5. 31)

ブロック		氏名
中央 I ブロック	清水台小学校区	伊藤 友則
	〃	相馬 芳行
	〃	木村 欽一
	柳沢小学校区	長尾 堅介
	〃	田島 楓
	〃	田中 千鶴
	第一中学校区	石河 佳樹
	〃	高橋 宏
	〃	飛島 さなえ
	清水高校	高橋 美砂
	〃	浦澤 愛子
	〃	松尾 和美
	青少年相談員	大滝 幸吾
	中央 II ブロック	中央小学校区
〃		中村 英樹
〃		山形 功
宮崎小学校区		高柴 雅志
〃		田中 暁子
〃		宇佐見 君恵
第二中学校区		今村 浩貴
〃		鈴木 早苗
〃		倉持 和巳
あずさ第一高校		波多野 学
〃		佐生 健一
野田鎌田学園		宮崎 雄太
青少年相談員	古谷 可生	
東 部 ブ ロ ッ ク	東部小学校区	山田 勇樹
	〃	石川 正己
	〃	砂川 学
	東部中学校区	松崎 秀昭
	〃	佐藤 信江
	〃	小林 巖
	青少年相談員	市川 隆敬
南 部 ブ ロ ッ ク	南部小学校区	平澤 要
	〃	山口 勉司
	〃	後藤 将和
	山崎小学校区	野口 翔稀
	〃	佐々木 美佳
	〃	佐藤 朋信
	みずき小学校区	大塚 康弘

ブロック		氏名
南 部 ブ ロ ッ ク	みずき小学校区	朽名 正樹
	〃	田口 英機
	南部中学校区	金重 宣子
	〃	橋本 みゆき
	〃	大塚 啓二
	青少年相談員	千葉 夏奈
北 部 ブ ロ ッ ク	北部小学校区	戸邊 健太郎
	〃	八代 充
	〃	中山 広宣
	岩木小学校区	伊庭 明
	〃	鈴木 宏美
	〃	安部 大樹
	七光台小学校区	川上 智弘
	〃	廣瀬 典史
	〃	橋本 竜也
	北部中学校区	渋谷 京平
	〃	片岡 信行
	〃	関根 弘幸
	岩名中学校区	眞通 凌
	〃	関根 孝一
〃	松本 真由美	
川 間 ブ ロ ッ ク	野田中央高校	平井 健一
	〃	赤坂 美里
	〃	齋藤 直之
	青少年相談員	政田 和宏
	川間小学校区	古谷 大祐
	〃	山本 裕子
	〃	金子 充
	尾崎小学校区	塩井 昭規
	〃	朝倉 隼人
	〃	大戸 雄介
川 間 ブ ロ ッ ク	川間中学校区	古橋 智博
	〃	矢澤 忠幸
	〃	大西 良貴
	西武台千葉高校	山口 純
	〃	横張 政典
	〃	西山 隆
	青少年相談員	飯塚 健一

ブロック		氏名
福 田 ブ ロ ッ ク	福田第一小学校区	小林 大祐
	〃	志田 隆浩
	〃	宮本 武志
	福田第二小学校区	青木 一樹
	〃	松永 有紀
	〃	福地 絵里香
	二ツ塚小学校区	安島 祐治
	〃	山下 裕美
	〃	小池 愛子
	福田中学校区	小川 吉久
	〃	宇佐見 有希
	〃	宇佐見 理恵
木 間 ケ 瀬 ブ ロ ッ ク	青少年相談員	田中 洋介
	木間ヶ瀬小学校区	小沼 望
	〃	山崎 美香
	〃	坂田 智史
	木間ヶ瀬中学校区	加本 美香
	〃	對馬 綾
	〃	中山 洋平
	関宿中央小学校区	鍛冶 遼太
	〃	間中 秀司
	〃	芝田 実千代
	関宿高校	小柳 政博
	〃	伊藤 雅美
二 川 ・ 関 宿 ブ ロ ッ ク	〃	小川 清彦
	青少年相談員	増田 武士
	二川小学校区	寺本 茂
	〃	大西 一雄
	〃	高木 勝
	二川中学校区	岡野 孝太
	〃	大倉 美由紀
	〃	船越 直人
	関宿小学校区	川口 久美子
	〃	後藤 真之介
	〃	篠崎 拓也
	関宿中学校区	伊藤 拓磨
〃	佐藤 清美	
〃	船橋 剛司	
青少年相談員	瀧川 雅子	
〃	平岡 徳丈	

(2) 野田市青少年相談員

(令和4.4.1～令和7.3.31)

地域名	氏名	地域名	氏名	地域名	氏名
中央Ⅰ地域	小林 幸枝	南部地域	大塚 恵	川間地域	高山 新吾
	瀬谷 由香		田口 英機		遊津 弘子
	飛島 さなえ		石塚 麻紀子	福田地域	荒木 大輔
	豊田 友紀		大塚 康弘		田中 洋介
	大滝 幸吾		齋藤 香織		平野 良美
	小林 亮		中村 美和子		増田 守男
	中川 重敏		山崎 由佳子		山崎 早百合
	細井 利樹		田代 武志		横銭 竜祈
	岐部 真史		武藤 利恵子		久保寺 淳子
	浜野 篤		山口 勉司		平井 直幸
	坂田 紀子		柴田 万砂美		小笠原 由崇
	金剛寺 弘之		高橋 真紀		長尾 健司
	坂卷 征和		千葉 夏奈		村松 勝
	齋藤 博史		政田 和宏		平岡 徳丈
中央Ⅱ地域	中山 賢一	北部地域	平塚 和義	関宿地域	大野 寛師
	古谷 可生		金井 伸弥		斉藤 紘輝
	永田 洋		諏訪 徹也		竹内 建一
	染谷 義孝		成田 隆		服部 弘幸
	加藤 健一		張替 敏弘		瀧川 雅子
	金野 康規		遠藤 浩幸		大竹 寿明
	土田 紀子		岡部 成行		田村 観依
	茂木 幸子		村上 知美		千葉 亜希子
	田中 暁子		逆井 義博		猪瀬 剛
	平井 美紀		栗原 基起		野村 等
東部地域	市川 隆敬	川間地域	白石 奈緒子	森山 悟	
	谷津 和紀		中野 茜	荒井 貴大	
	金子 厚		飯塚 健一	増田 武士	
	飯塚 潤		土志田 憲正	鈴木 正勝	
	尾原 諒		内田 幸治	定兼 久美	
	笹川 知樹		岡田 辰徳	本田 恵美	
	瀬戸 遼子		倉持 栄児	林 千明	
	戸谷 龍丸		瀬能 剛	渡辺 好彦	
	園田 憲明		成吉 教子		
	平山 世志人		室岡 美代子		

(3) 文化財保存活用地域計画策定協議会

(令和5.3.20～地域計画の策定に関して必要な協議が終了するまで)

氏名	備考
稲村 弥	千葉県文化財担当職員 (千葉県文化財課長)
杉山 一男	野田市郷土博物館館長
大野 要修	文化財保護審議会委員
川根 正教	文化財保護審議会委員
下津谷 達男	文化財保護審議会委員
高梨 兵左衛門	文化財保護審議会委員
日塔 和彦	文化財保護審議会委員
石田 年子	文化財保護審議会委員
萩原 法子	文化財保護審議会委員
戸邊 卓哉	市職員 (PR 推進室長)
宮崎 等	市職員 (総務課主幹 (市史編さん担当))
中村 正則	市職員 (企画調整課長)
田中 徳寿	市職員 (商工労務課長)
池澤 孝之	市職員 (みどりと水のまちづくり課長)
糸原 清	教育委員会が必要と認める者 (千葉県立関宿城博物館長)

[生涯学習課]

VI 文化財一覧

(1) 指定文化財

	指定年	区分	名 称	所 在 地	所 有 者	備 考
国指定	S. 31	特 別 天 然 記 念 物	コウノトリ	地域を定めず (こうのとのり)	野田市 (管理者) H 24 飼育開始	午前 10:00～正午・ 午後 1:00～3:00 開館 月曜日(祝日と重なった場合 は翌日)、年末年始休館
	S. 44	重 要 文 化 財	旧花野井家住宅	清水 902	野田市	午前 9:00～午後 4:00 開館 月・火・水曜日(祝日と重なっ た場合は開館)、年末年始休館
	S. 51 H. 7	史 跡	山崎貝塚	山崎貝塚町 26-4 ほか	野田市、個人	公園として整備 標柱設置
	H. 13 H. 21	名 勝	高梨氏庭園	上花輪 507 ほか	(公財)高梨本家	公開 解説板
	S. 11	史 跡	野田貝塚	清水 551-1	(株)千秋社	標柱設置
県指定	S. 41	無 形 民 俗	野田のぼっぱか獅子舞	清水 669	バツバカ獅子舞保存会	7月 24 日行事 解説板 標柱設置
	S. 52	有 形	木造伝親鸞聖人坐像	中戸 379	(宗)常敬寺	見学可 (但し要了承) 解説板
	S. 53	有 形	木造阿彌陀如来坐像	中戸 379	(宗)常敬寺	見学可 (但し要了承) 解説板
	S. 57	有 形	絹本着色釈迦涅槃図	下三ヶ尾 545	(宗)普門寺	2月 11 日公開 解説板 標柱設置
	H. 5	無 形 民 俗	野田のつく舞	野田	野田津久舞保存会	野田三ヶ町の夏祭り中日に実 施 解説板
	H. 16	有 形	愛宕神社本殿	野田 725-1	(宗)愛宕神社	常時公開
	H. 21	有 形	刺繍釈迦涅槃図	東金野井 1192-1	(宗)清泰寺	5月 8 日公開 解説板
	H. 31	有 形 民 俗	三ツ堀のどろ祭用具及び関連資料	三ツ堀 146 (香取神社)	三ツ堀香取神社氏子	非公開
市指定	S. 44	史 跡	中根八幡前遺跡	中根新田 140-53	野田市	解説板
	S. 44	有 形 民 俗	算額	清水 914	(宗)金乗院	標柱設置 解説板
	S. 44	有 形 民 俗	野田醤油醸造の図	(郷土博物館)	キッコーマン(株)	午前 9:00～午後 5:00 開館 火曜日 (祝日と重なる日を除 く)、年末年始休館
	S. 44	有 形 民 俗	醤油醸造絵馬	(郷土博物館)	(宗)愛宕神社	午前 9:00～午後 5:00 開館 火曜日 (祝日と重なる日を除 く)、年末年始休館
	S. 46	史 跡	野田の醤油発祥地	野田 688-10	キッコーマン(株)・個人	解説板
	S. 46	有 形	野田町絵図	(興風図書館)	野田市	非公開
	S. 46	有 形	天正文書	(興風図書館)	野田市	非公開
	S. 46	有 形	岡部文書	(興風図書館)	野田市	非公開
	S. 54	無 形 民 俗	下根獅子舞・棒剣術	木間ヶ瀬	下根獅子舞保存会	3年に一度、11月 23 日行事 解説板
	S. 55	無 形 民 俗	武者土囃子	木間ヶ瀬	武者土囃子保存会	海の日行事 解説板
	H. 2	有 形	野田町刻銘地藏供養塔	野田 726	(宗)西光院	常時公開 解説板
	H. 2	有 形	天正 18 年銘文船形八幡懸仏	船形 2280	(宗)八幡神社	非公開 標柱設置
	H. 2	有 形	閻魔大王像	下三ヶ尾 545	(宗)普門寺	常時公開 標柱設置 解説板
	H. 2	有 形	永享 5 年弥陀種子板碑	野田 726	(宗)西光院	常時公開 標柱設置
	H. 2	有 形	須賀神社猿田彦神	野田 31-1	(宗)須賀神社	常時公開 標柱設置
	H. 2	有 形	太子堂句額	上花輪 1358	(宗)長命寺	非公開 (事前了解なら可) 標柱設置 解説板
	H. 7	史 跡	岩名古墳	岩名 326-1 ほか	野田市、個人	古墳公園として常時公開 解説板 標柱設置

	指定年	区分	名 称	所 在 地	所 有 者	備 考
市指定	H. 11	史跡	関宿城跡	関宿町 230-1 ほか	野田市	解説板 標柱設置
	H. 12	有形	関宿城埋門	東高野 94	野田市	解説板
	H. 13	無形 民俗	船形香取神社御社檀御膳献上式	船形	(宗)香取神社 船形香取神社奉賛会	2月11日行事 解説板
	H. 22	有形 民俗	堤台子育延命地藏尊の間引き絵馬	堤台 261	個人	標柱設置 毎月24日公開
	H. 23	無形 民俗	関宿台町の天王祭礼	関宿台町ほか	関宿城下神輿保存会	7月行事 標柱設置

※ 区分は、現在の指定区分により記載しております。

(2) 登録文化財

	登録年	区 分	名 称	所在地	所有者	備 考
国登録	H. 9	有形	野田市市民会館 (旧茂木佐平治家住宅) 主屋	野田 370-8	野田市	見学・午前9:00～午後5:00 貸出・午前9:00～午後9:00 火曜日(祝日と重なる日を 除く)、年末年始休館
	H. 9	有形	野田市市民会館 (旧茂木佐平治家住宅) 茶室	野田 370-8	野田市	見学・午前9:00～午後5:00 貸出・午前9:00～午後9:00 火曜日(祝日と重なる日を 除く)、年末年始休館
	H. 9	有形	興風会館	野田 250	(公財) 興風会	月・第2木曜日、祝日、年 末年始休館
	H. 19	有形	榊田家住宅 主屋	今上 2574-1	個人	非公開
	H. 19	有形	戸邊五右衛門家住宅 主屋	中野台 699-3	個人	非公開
	H. 19	有形	戸邊五右衛門家住宅 土蔵	中野台 702-1	個人	非公開
	H. 19	有形	戸邊五右衛門家住宅 倉庫	中野台 703-1	個人	非公開
	H. 19	有形	戸邊五右衛門家住宅 米蔵	中野台 702-1	個人	非公開
	H. 20	有形	懐石あつ后店舗 (旧茂木房五郎家住宅居住棟)	野田 740-2	(有)小室	原則非公開
	H. 20	有形	懐石あつ后土蔵 (旧茂木房五郎家住宅土蔵)	野田 740-2	(有)小室	原則非公開
	H. 20	記念物	野田市市民会館 (旧茂木佐平治氏) 庭園	野田 370-8	野田市	見学・午前9:00～午後5:00 火曜日(祝日と重なる日を 除く)、年末年始休館
	H. 22	有形	茂木本家住宅 主屋	清水 1087-1	個人	非公開
	H. 22	有形	茂木本家住宅 北蔵	清水 1087-1	個人	非公開
	H. 22	有形	茂木本家住宅 南蔵	清水 1087-1	個人	非公開
	H. 22	有形	茂木本家住宅 旧仕込倉	清水 1087-1	個人	非公開
	H. 22	有形	茂木本家住宅 旧漬物倉	清水 1087-1	個人	非公開
	H. 22	有形	茂木本家住宅 旧米倉	清水 1087-1	個人	非公開
	H. 22	有形	茂木本家住宅 旧門番棟	清水 1087-1	個人	非公開
	H. 22	有形	茂木本家住宅 正門	清水 1087-1	個人	非公開
	H. 22	有形	茂木本家住宅 板塀	清水 1087-1	個人	非公開
H. 22	有形	茂木本家住宅 庭門及び竹木賊張塀	清水 1087-1	個人	非公開	
H. 22	有形	茂木本家住宅 稲荷神社	野田 242-10	個人	非公開	

	登録年	区分	名称	所在地	所有者	備考
国 登 録	H. 22	有形	茂木本家住宅 稲荷神社 水屋	野田 242-10	個人	非公開
	H. 22	有形	茂木本家住宅 煉瓦塀	野田 242-10	個人	非公開
	H. 25	有形	梶田家住宅 不動尊祠	今上 2574-1	個人	非公開
	H. 25	有形	梶田家住宅 土蔵	今上 2574-1	個人	非公開
	H. 25	有形	梶田家住宅 脇門	今上 2574-1	個人	非公開
	H. 25	有形	梶田家住宅 煉瓦塀	今上 2574-1	個人	非公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅主屋	野田 339	個人	非公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅書院	野田 339	個人	非公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅新座敷	野田 339	個人	非公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅本蔵	野田 339	個人	非公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅新蔵	野田 339	個人	非公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅向蔵	野田 339	個人	非公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅奥文庫蔵	野田 339	個人	非公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅穀物蔵	野田 339	個人	非公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅正門	野田 337	個人	非公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅内門	野田 337 他	個人	非公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅煉瓦塀	野田 340-1 他	個人	非公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅書院北・東側土塀	野田 339 他	個人	非公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅書院南側板塀	野田 338-1 他	個人	非公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅琴平神社本殿	野田 339	(宗) 琴平神社	毎月 10 日の一般参拝日に公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅琴平神社神楽殿	野田 339	(宗) 琴平神社	毎月 10 日の一般参拝日に公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅琴平神社額殿(絵馬殿)	野田 339	(宗) 琴平神社	毎月 10 日の一般参拝日に公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅琴平神社手水舎	野田 339	(宗) 琴平神社	毎月 10 日の一般参拝日に公開
	H. 30	有形	茂木七郎右衛門家住宅琴平蔵	野田 339 他	個人	非公開
	R. 元	有形	上原家住宅書院	桐ヶ作 18	個人	非公開
	R. 元	有形	上原家住宅土蔵	桐ヶ作 18	個人	非公開
	R. 元	有形	上原家住宅石蔵	桐ヶ作 18	個人	非公開
	R. 元	有形	上原家住宅表門	桐ヶ作 18	個人	非公開
	R. 2	有形	キノエネ醤油事務所兼主屋	中野台 157 他	キノエネ醤油(株)	非公開
	R. 2	有形	キノエネ醤油旧火入場及び変電室	中野台 157 他	キノエネ醤油(株)	非公開
	R. 3	有形	野田市郷土博物館	野田 370-8	野田市	火曜日(祝日と重なる日を除く)、年末年始・展示替え期間休館
	R. 3	有形	野田市立中央小学校3年館	野田 619-1 他	野田市	原則非公開
R. 3	有形	野田市立中央小学校7年館	野田 611 他	野田市	原則非公開	

	登録年	区分	名称	所在地	所有者	備考
	R. 3	有形	野田市立中央小学校旧正門	野田 629	野田市	公開

(3) 記録選択文化財

	登録年		名称	所在地	所有者	備考
国 選 択	H. 11	無形 民俗	野田のつく舞	野田	野田津久舞保存 会	野田三ヶ町の夏祭り中日に 実施 解説板

Ⅶ 学校施設一覧

小学校

学校名	所在地	電 話	F A X	創立年月日	校 長	教 頭
中央小学校	野田611	7122-2116	7122-2117	明6.2.15	草刈俊晴	今井清人
宮崎小学校	宮崎55	7122-2362	7122-2273	昭32.1.1	小川恵美	川上翔太郎
東部小学校	鶴奉220	7122-3004	7122-3397	明6.2.11	角田敏雄	成松明子
南部小学校	山崎1503	7122-2509	7122-2539	明6.2.20	長妻美孝	鳥居律子
北部小学校	谷津25-1	7122-2748	7122-2679	明6.6.28	中澤清人	大島恵子
川間小学校	中里934	7129-4003	7129-4199	明33.9.10	石山由美子	中嶋勝則
福田第一小学校	三ツ堀1373	7138-2109	7138-2049	明33.12.12	高橋浩一郎	岡田正大
福田第二小学校	西三ヶ尾988	7138-0355	7138-0281	明33.12.12	菅谷光夫	木村弘典
清水台小学校	清水773	7124-1191	7124-1159	昭49.4.1	下川泰弘	瀬戸芳男
柳沢小学校	柳沢139	7124-6234	7124-6499	昭52.4.1	遠藤恵美子	宮嶋理恵
山崎小学校	山崎2733	7125-2938	7125-2758	昭55.4.1	石井徳子	石川智博
岩木小学校	岩名2-12-1	7129-5989	7129-7059	昭55.4.7	縄田浩子	初見憲一
尾崎小学校	尾崎1415	7129-8166	7129-8198	昭59.4.1	渡部英治	間中恵美
七光台小学校	七光台20-1	7127-1712	7127-1706	昭60.4.1	中居章	石垣幸子
二ツ塚小学校	二ツ塚485-2	7138-1677	7138-1699	昭61.4.1	中村悦子	竹下慶
みずき小学校	みずき3-2-3	7121-4311	7121-4312	平15.4.1	梅建	大峽康人
木間ヶ瀬小学校	木間ヶ瀬3640	7198-0204	7198-8561	明6.2.	松藤有里	生田武士
二川小学校	桐ヶ作464	7196-0074	7196-4871	明6.1.28	船橋高志	小倉久宜
関宿小学校	関宿台町171	7196-0112	7196-4831	明6.10.28	高橋祐史	藤澤理
関宿中央小学校	東宝珠花234-1	7198-4321	7198-8571	昭58.11.21	中村功	松島純子

中学校

区分	学校名	所在地	電 話	F A X	創立年月日	校 長	教 頭
公立	第一中学校	野田829-1	7122-5524	7122-5525	昭22.5.10	古矢浩祥	萩原義則
	第二中学校	中根139	7122-5534	7122-5535	昭26.4.1	杉崎哲実	四宮大親
	東部中学校	目吹1500	7122-3015	7122-3371	昭22.5.10	横川徹	谷中隆維
	南部中学校	花井67	7122-2508	7122-7698	昭22.5.10	佐藤裕一	石垣紀雄 中村由美子
	北部中学校	谷津673	7122-2866	7122-2876	昭22.5.10	関志之武	上村智広
	川間中学校	中里136-1	7129-4025	7129-4154	昭22.5.10	山田桂一	八代美穂
	福田中学校	三ツ堀782	7138-1452	7138-1217	昭22.5.10	川崎裕幸	綿引尚人
	岩名中学校	岩名1700	7122-5269	7122-5521	昭62.4.1	井田裕	石原稔
	木間ヶ瀬中学校	木間ヶ瀬3393-1	7198-0218	7198-7705	昭22.5.10	小曾根正典	吉村拓史
	二川中学校	桐ヶ作418	7196-0004	7196-4665	昭22.10.10	廣瀬純也	田村重行
関宿中学校	関宿台町2150	7196-0113	7196-1612	昭22.5.10	森功	田中憲明	
私立	西武台千葉中学校	尾崎2241-2	7127-1111	7127-1138	平4.4.1	須田秀伸	池田有尚

学校給食センター

区分	名称	所在地	電話
公立	野田市学校給食センター	宮崎 210-5	7124-5353
	野田市関宿学校給食センター	柏寺 480-1	7196-0104

幼稚園

区分	園名	所在地	電話	園長
公立	野田幼稚園	野田 793-8	7122-2450	内田 光恵
	関宿南部幼稚園	木間ヶ瀬 3197	7198-2075	—
	関宿中部幼稚園	桐ヶ作 453-1	7196-2324	大久保 幸子
私立	月影幼稚園	中里 492-1	7129-4158	木 孝之
	第二野田中央幼稚園	山崎 2553	7122-2517	茂木 寿美子
	野田中央幼稚園	花井 248	7123-3538	茂木 泉
	野田北部幼稚園	蕃昌 336-7	7129-3920	加藤 英夫
	岩木幼稚園	五木 341-5	7124-7020	小島 宮子
	関宿幼稚園	新田戸 522	7196-0167	海宝 丈生

関宿南部幼稚園は令和5年度より休園

高等学校

区分	学校名	所在地	電話	創立年月日	校長
公立	野田中央高等学校	谷津 713	7125-4108	平 18. 4. 1	松田 裕二
	清水高等学校	清水 482	7122-4581	大 8. 4. 2	三輪 政道
	関宿高等学校	木間ヶ瀬 4376	7198-5006	昭 62. 4. 1	小坂橋 一知
私立	西武台千葉高等学校	尾崎 2241-2	7127-1111	昭 61. 4. 1	須田 秀伸
	あずさ第一高等学校	野田 405-1	7122-2400	平 17. 4. 1	白波瀬 正人

大学

区分	名称	所在地	電話
私立	東京理科大学野田キャンパス (理工学部・薬学部)	山崎 2641	7124-1501

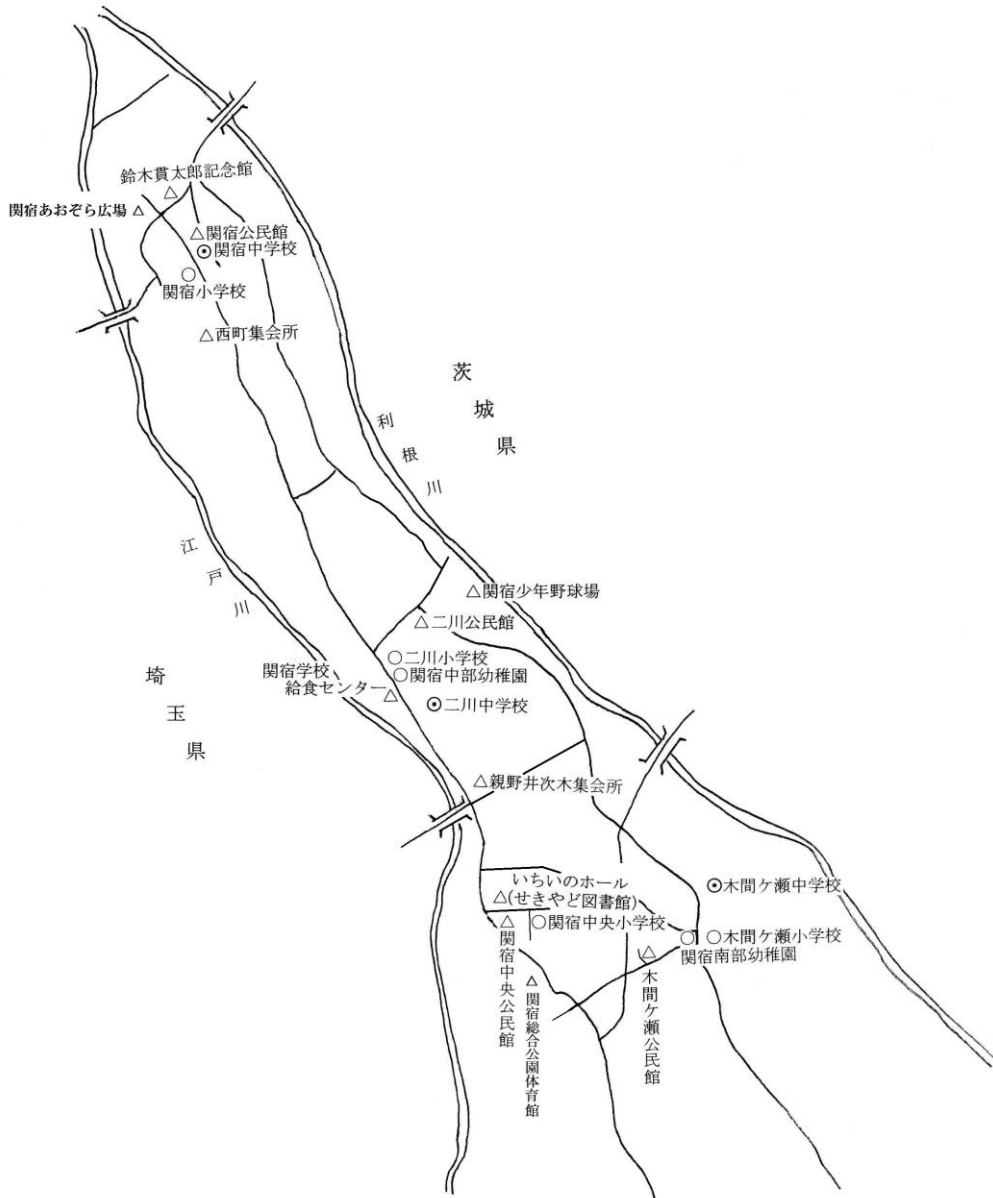
特別支援学校

区分	学校名	所在地	電話	創立年月日	校長
公立	野田特別支援学校	鶴奉 147-1	7122-7270	平元. 4. 1	松本 巖

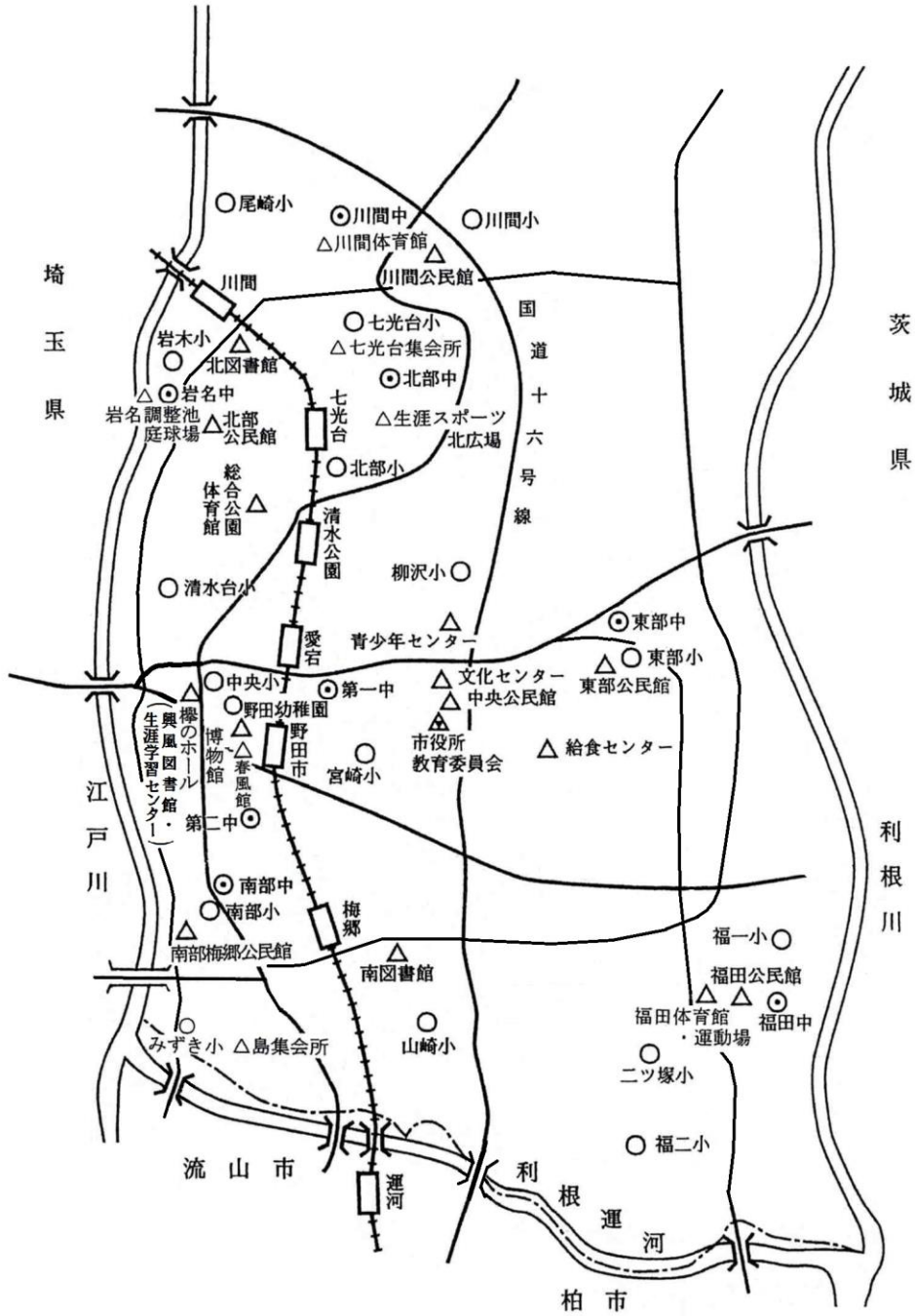
VIII 生涯学習施設一覧

施設名	所在地	開館・開場 改築等年月	敷地面積㎡		電話番号	利用時間 休館（休場）日
			敷地面積㎡	延床面積㎡	F A X	
文化会館 (愛称・野田ガスホール)		昭和49.8	24,664	7124-1555	午前9:00～午後10:00	
			4,757	7124-1557	月曜日(祝日は開館)、年末年始	
勤労青少年ホーム	鶴奉5-1	昭和47.7	—	7122-4548	午前8:30～午後9:30	
			1,357	7124-1557	月曜日、祝日(祝日が月曜日の場合は翌日も休館)、 年末年始	
中央公民館		昭和49.8	—	7124-1558	午前8:30～午後9:30	
			1,535	7124-1557	年末年始	
生涯学習センター	中野台168-1 (樺のホール)	平成10.10	—	7123-7818	午前9:00～午後9:00	
1,134.37			7123-0029	年末年始		
樺のホール 小ホール			—	7123-7818	午前9:00～午後10:00	
			1,330.05	7123-0029	月曜日(祝日は開館)、年末年始	
東部公民館	鶴奉174-4	昭和37.8	4,530	7122-4202	午前8:30～午後9:30	
		平成3.3改築	674	7122-2139	月曜日(祝日は開館)、年末年始	
南部梅郷公民館	山崎1154-1	昭和39.4	2,938	7122-5402	午前9:00～午後9:30	
		平成13.3改築	857	7122-2043	月曜日(祝日は開館)、年末年始	
北部公民館	谷津384	昭和32.5	1,470	7122-3429	午前8:30～午後9:30	
		平成2.3改築	669	7122-3529	月曜日(祝日は開館)、年末年始	
川間公民館	中里720	昭和26.12	3,756.01	7129-4002	午前9:00～午後9:30	
		昭和46.3改築 平成29.1改築・移転	800	7129-0493	月曜日(祝日は開館)、年末年始	
福田公民館	瀬戸970-1	昭和28.6	2,230	7138-2407	午前8:30～午後9:30	
		昭和58.3改築	690	7138-2494	月曜日(祝日は開館)、年末年始	
関宿中央公民館	東宝珠花253-1	昭和49.5	4,089	7198-2166	午前8:30～午後9:30	
			1,125	7198-2167	月曜日(祝日は開館)、年末年始	
関宿公民館	関宿台町2558-1	昭和58.4	2,782	7196-1100	午前8:30～午後9:30	
			527		月曜日(祝日は開館)、年末年始	
二川公民館	桐ヶ作51-1	昭和62.5	4,294	7196-2020	午前8:30～午後9:30	
			801		月曜日(祝日は開館)、年末年始	
木間ヶ瀬公民館	木間ヶ瀬2935	平成2.5	3,300	7198-3171	午前8:30～午後9:30	
			964		月曜日(祝日は開館)、年末年始	
青少年センター	柳沢53	昭和58.4	1,648	7125-2639	午前9:00～午後10:00	
			551	7125-2677	月曜日、祝日、年末年始	
関宿おおぞら広場	関宿町1396	平成19.4	9,971	青少年センター 7125-2639	終日の利用	
			406		多目的広場、体験広場は無休 体験棟は月曜日(祝日を除く)、年末年始	
郷土博物館	野田370-8	昭和34.4	—	7124-6851	午前9:00～午後5:00	
			569	7124-6866	火曜日(祝日は開館)、年末年始	
市民会館		昭和32.1	5,067.21	7124-6851	午前9:00～午後9:00	
			618	7124-6866	火曜日(祝日は開館)、年末年始	
鈴木貫太郎記念館	関宿町1273	昭和38	3,084	7196-0102	午前9:00～午後4:00	
			209		月曜日、木曜日(祝日は開館)、年末年始	
旧花野井家住宅	清水902	昭和46.12移築	1,545	7124-4663	午前9:00～午後4:00	
			142		月・火・水曜日(祝日は開館)、年末年始	
興風図書館	中野台168-1 (樺のホール)	昭和54.4移管 平成10.10移転	—	7123-7611	午前9:00～午後7:00	
			3,003.21	7123-0844	日曜日、祝日は午後5:00まで 月曜日(祝日は開館)、年末年始、システム入替期間	
南図書館	山崎2008 (南コミュニティセ ンター)	平成元.5	—	7125-7981	午前9:00～午後7:00	
			743.99	7125-7983	日曜日、祝日は午後5:00まで 火曜日(祝日は開館)、年末年始、システム入替期間	
北図書館	春日町16-1 (北コミュニティセ ンター)	平成2.4	—	7129-8811	午前9:00～午後7:00	
			748.01	7129-8812	日曜日、祝日は午後5:00まで 火曜日(祝日は開館)、年末年始、システム入替期間	
せきやど図書館	東宝珠花237-1 (いちいのホール)	平成16.4	—	7198-4946	午前9:00～午後7:00	
			1,664.49	7198-5002	日曜日、祝日は午後5:00まで 火曜日(祝日は開館)、年末年始、システム入替期間	
南コミュニティ会館	山崎2008 (南コミュニティセ ンター)	平成元.5	—	7125-7991	午前9:00～午後9:00	
			1,412.36		年末年始	
北コミュニティ会館	春日町16-1 (北コミュニティセ ンター)	平成2.4	—	7129-8822	午前9:00～午後9:00	
			1,375.57		年末年始	
関宿コミュニティ会館	東宝珠花237-1 (いちいのホール)	平成16.4	—	7198-1941	午前9:00～午後9:00	
			567.42		年末年始	

IX 市立教育施設位置図(1)



市立教育施設位置図(2)



令和5年度 野田市教育要覧

発行日：令和5年9月

発行：野田市教育委員会

〒278-8550 野田市鶴奉7番地の1